

香川県立ミュージアム 年報

第 12 号（令和元年度）

香川県立ミュージアム

I 沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5	⑩その他の学校等との連携・・・・・・・・	21
II 事業の概要		⑪体験学習室・・・・・・・・・・・・・・	22
本館		⑫図書コーナー・・・・・・・・・・・・・・	22
1 展示・企画事業		⑬ビデオライブラリー・・・・・・・・・・	22
(1) 館内展示		(2) 地域連携活動	
①歴史展示・・・・・・・・・・・・・・	6	①職員の講師派遣・・・・・・・・・・	23
②常設展示・・・・・・・・・・・・・・	7	②文化財レスキュー・・・・・・・・・・	23
③特別展示・・・・・・・・・・・・・・	10	③ボランティア・・・・・・・・・・・・	25
④ロビー展示・・・・・・・・・・・・・・	15	④香川県資料館協議会・・・・・・・・	25
⑤貸館事業・・・・・・・・・・・・・・	15	(3) 普及活動	
(2) 館外展示・・・・・・・・・・・・・・	15	①ワークショップ・・・・・・・・・・	26
(3) 展示システム		②キッズワークショップ・・・・・・・・	26
①展示案内（委託業務）・・・・・・・・	15	③特別展関連イベント・・・・・・・・	27
②音声ガイドシステム・・・・・・・・	15	④講演会・・・・・・・・・・・・・・	28
(4) 企画・広報		⑤学芸講座・・・・・・・・・・・・・・	28
①広報活動・・・・・・・・・・・・・・	15	⑥ミュージアム・コンサート・・	29
②講演会・・・・・・・・・・・・・・	16	3 調査研究事業	
③学芸講座・・・・・・・・・・・・・・	16	(1) 調査研究活動	
④パスポート事業・・・・・・・・・・	16	①寺社総合調査・・・・・・・・・・	30
(5) 展覧会企画力向上事業・・	17	②収蔵資料の調査研究・・・・・・・・	30
2 地域連携事業		③資料所在等の確認調査・・・・・・・・	30
(1) 学校教育支援事業		④展示に係る調査・・・・・・・・・・	30
①ミュージアム活用研究会・・・・・・・・	18	⑤レファレンス等による調査・・	31
②教員向けの講座		⑥他機関との共同研究・・・・・・・・	32
(ティチャーズプログラム)・・	18	⑦各種研修の受講・・・・・・・・・・	32
③館蔵資料・作品複製教材の		(2) 成果物公表	
制作、貸出・・・・・・・・・・・・	18	①研究成果の公表・・・・・・・・・・	32
④学校への広報・・・・・・・・・・・・	19	②刊行物・・・・・・・・・・・・・・	34
⑤校外学習への協力・・・・・・・・・・	19	4 資料の収集・整理・保管事業	
⑥教員研修会への協力・・・・・・・・	20	(1) 資料収集活動	
⑦職場体験学習・インターンシッ		①購入資料・・・・・・・・・・・・・・	35
への協力・・・・・・・・・・・・	20	②寄贈資料・・・・・・・・・・・・・・	35
⑧大学との連携・・・・・・・・・・・・	21	③寄託資料・・・・・・・・・・・・・・	35
⑨博物館実習・・・・・・・・・・・・	21	④移管・その他・・・・・・・・・・	35
		⑤文献資料の収集・・・・・・・・・・	35

(2)資料整理保管活動	
①収蔵資料管理システム	35
②虫菌害対策	36
(3)館外特別利用状況	
①貸出利用	37
②閲覧利用	38
③画像利用	38

分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

1 展示企画事業	
(1)館内展示	
①常設展示	42
②テーマ展	42
(2)企画広報	
①ホームページほか広報活動	43
2 地域連携学習支援事業	
(1)学校教育支援事業	
①学校との連携	43
(2)地域連携活動	
①職員の講師派遣	43
②文化財レスキュー	44
③ボランティア	44
(3)普及活動	
①れきみん講座	44
②ワークショップ	45
3 調査研究事業	
(1)調査研究活動	
①歴史民俗総合調査・研究	45
②有形民俗資料の調査・研究	45
③無形民俗資料の調査・研究	45
④展示に係る調査	45
⑤レファレンス等による調査	45
⑥教育普及に伴う調査	46
⑦ボランティア館外調査	46
⑧瀬戸内全誌にかかわる調査・研究	46
⑨各種研修の受講	46

(2)成果物公表	
①研究成果の公表	46
②刊行物	47

4 資料の収集・整理・保管事業

(1)資料収集活動	
①寄贈資料	48
②文献資料の収集	48
(2)資料整理保管活動	
①資料整理活動	48
②収蔵資料管理システム	48
③重要有形民俗文化財の修理	48
(3)資料の特別利用	
①貸出利用	49
②閲覧利用	49
③画像利用	49

分館 香川県文化会館

1 展示事業	50
2 貸館事業	
(1)県民ギャラリー	50
(2)芸能ホール	50
(3)和室	50

III 組織と運営

1 組織・職員	
(1)組織図	51
(2)職員名簿	51
2 予算	51
3 香川県立ミュージアム運営協議会	51
4 利用状況	53

IV 施設の概要

本館

1 建築等の概要	54
2 面積	55
3 各階配置図・平面図	56

分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

- 1 建築概要・・・・・・・・・・58
- 2 面積・・・・・・・・・・58
- 3 平面図・・・・・・・・・・59

分館 香川県文化会館

- 1 建築概要・・・・・・・・・・60
- 2 面積・・・・・・・・・・60
- 3 平面図・・・・・・・・・・60

V 条例・規則等

- 香川県立ミュージアム条例・・・・・・・・62
- 香川県立ミュージアム規則・・・・・・・・62
- 教育委員会の権限に関する事務の
委任・・・・・・・・・・66
- 香川県立ミュージアムの管理運営
のための組織規則・・・・・・・・67
- 香川県立ミュージアム使用料規則・・・・68
- 香川県立ミュージアムの歴史、美術
及び民俗に関する資料収集要綱・・・・70
- 香川県立ミュージアムの歴史、美術
及び民俗に関する資料利用要綱・・・・71

- 利用案内・・・・・・・・・・74

I 沿革

		香川県文化会館	瀬戸内海歴史民俗資料館	香川県歴史博物館
昭和39年	10月	建築工事着工		
昭和41年	3月	建築工事竣工		
	4月	開館（1日） 開館記念「第31回香川県美術展覧会」開催 （以後毎年開催）		
昭和47年	1月		建築工事着工	
	4月		香川県教育委員会社会教育課内に設置準備室 設置	
昭和48年	3月		建築工事竣工	
	8月		発足	
	11月		開館（3日）	
			開館記念特別展示「国宝 伝讃岐国出土袈裟襴 文銅鐺」	
昭和50年	5月		日本建築学会賞受賞	
昭和55年	3月		漁撈収蔵庫建築工事竣工	
昭和60年	9月	「県展50周年記念県展回顧展」開催		
		県展50周年記念レセプション開催、「県展 史」発行		
昭和63年	11月	置県百年記念「香川の工芸の100年展」開催		
平成6年	4月			香川県教育委員会に建設準備室設置
平成8年	7月			建築工事起工
平成9年	9月	第1回JIA25年賞受賞		
平成10年	10月		公共建築百選顕彰	
平成11年	3月			建築工事竣工
	11月			開館（16日）
平成12年	4月			開館記念特別展「徳川御三家展」開催
平成15年	7月		開館30周年記念建造物「歴民の灯台」除幕式	
平成19年	4月		瀬戸内海歴史民俗資料館が香川県歴史博物館の分館となる	
		香川県立ミュージアム		
平成20年	4月	香川県歴史博物館と香川県文化会館を統合し香川県立ミュージアム開館（1日）		
		本館（旧歴史博物館）のほか、文化会館と瀬戸内海歴史民俗資料館の2分館体制となる（文化会館は改修工事のため一時休館）		
		開館記念展「静かなる情熱－藤川勇造とロダンの美」開催		
平成21年	4月	文化会館の改修が終わり県民ギャラリーがオープン		
平成22年	10月	県立ミュージアム入館者50万人達成（13日）		
平成24年	9月	本館常設展示室2・4・5、多目的室を改修		
平成25年	10月	県立ミュージアム入館者数100万人達成		
		瀬戸内海歴史民俗資料館が DOCOMOMO Japan「日本におけるモダンムーブメントの建築164」選出		
平成27年	3月	瀬戸内海歴史民俗資料館所蔵品310点が国重要有形民俗文化財に指定される		

II 事業の概要

本館

1 展示・企画事業

(1) 館内展示

① 歴史展示

歴史展示室では、香川県の生い立ちから現代までの歩みを通観できるよう、「かがわ今昔—香川の歴史と文化」と題して、原始・古代・中世・近世・近現代の5つの時代に分け、各時代を計20の大項目にそって展示を行っている。各時代入口には、象徴する建物や景観などを再現したメイン展示とあらましを紹介した映像（歴史ショーステージ）を配し、時代状況を捉えやすくしている。さらに、展示内容をより詳しく紹介するために、各時代の番組をタッチパネル式のモニターで放映している（詳覧映像）。

歴史展示室は固定的な展示物も多いため、その内容が大きく変わることはないが、調査研究の成果を展示に反映するとともに、展示資料の保護と収蔵資料の活用を目的として資料の展示替えを実施している。令和元年度は7月、11月、3月に定期的な展示替えを行った。

また、令和2年3月に原始コーナージオラマ音声機器を更新した。

【展示替え実績】

第1回	令和元年 7月16日(火)	32件45点
第2回	令和元年 11月18日(月)	41件45点
第3回	令和元年 3月3日(火)	37件57点

時代	原始	古代	中世	近世	近現代
歴史ショーステージ	讃岐のあけぼの ガイダンス映像	古代の讃岐 ガイダンス映像	躍動する武士と讃岐 ガイダンス映像	江戸時代の社会と人々の暮らし ガイダンス映像 高松城下を歩く	香川県の成立と発展 ガイダンス映像
メイン展示	狩りをする旧石器時代の人々 縄文の森 堅穴住居	今岡古墳出土埴輪組陶棺 乾漆聖観音坐像 讃岐五大師	志度寺縁起 白峯寺十三重塔 明王寺釈迦堂瓦 蒙古襲来絵詞	江戸講中燈籠 高松塩飽漁場争論裁判状 高松城下図屏風 四国古図 庄屋の蔵 讃岐の生んだ人物	昭和初期の教室 昭和20年代の住宅
詳覧展示	氷河期を生き抜いた人々 旧石器時代の暮らし 石器をつくる 森と海に生きる人々 瀬戸内海の成立 縄文土器 自然の中で生きる(海の暮らし) 自然の中で生きる(山の暮らし) 新しい文化の伝来 米を作る暮らし 弥生の技術 弥生人の祈り 争いとムラの統合	支配者の誕生 前方後円墳の時代 ムラの暮らしと渡来系文化 律令国家と讃岐 讃岐国の成立 条里制 寒早十首の世界 仏教文化の伝来と発展・変容 国分寺と古代寺院 讃岐の高僧たち 仏教の変容と末法思想 律令体制の変容 地方政治の変質と純友の乱	武家政権の成立 崇徳上皇と源平合戦 讃岐の荘園・公領 蒙古襲来 細川氏の支配と文化 細川氏と讃岐 中世の流通 中世讃岐の神仏信仰 信仰の広がり 讃岐の戦国時代 細川氏から三好氏へ 長宗我部元親と讃岐	統一政権と生駒藩 統一政権と生駒藩 生駒氏の讃岐支配 生駒騒動 三藩の成立 高松藩の成立 丸亀・多度津藩の成立 幕府領と朱印地 讃岐三白と廻船 町の暮らし 村の暮らし 讃岐廻船と湊の発達 金毘羅参りと四国遍路 金毘羅参り 四国遍路と旅する人々 幕末の動乱 開国と攘夷のはざままで 幕末外交使節と讃岐人の活躍 明治維新と讃岐の動向	香川県の成立 藩から県へ 博文社と分県独立運動 第三次香川県の成立 文明開化と殖産興業 「開化」と人々の暮らし 博覧会と産業の近代化 デモクラシーと民衆 日清・日露戦争と農村の変化 大衆文化と観光地の発展 民衆運動のたかまり 戦中・戦後の県民生活 15年戦争のはじまり 戦後の復興
詳覧映像	瀬戸内海の2万年 銅鐸絵画の世界	讃岐の古代遺跡 讃岐のみほとけ 菅原道真と讃岐	水主神社の経函 中世の埋納銭	寛政の百姓一揆 讃岐三白 庄屋の蔵ガイダンス映像	香川の近代建築1・2 汽車が電車が香川を走る 戦後の公営住宅

②常設展示

歴史・美術にかかわるテーマの展示を、収蔵品を中心に企画し、展示している。歴史の展示では従来と同様に展示ごとに観覧の補助として、解説シートを作成し、美術の展示では作品鑑賞カードを、それぞれ観覧者へ無料配布した。また、会期中には担当学芸員によるミュージアムトークを実施した（新型コロナウイルス感染防止のため、3月以降は中止）。展示内容・会期等については別表に掲載している。

常設展示室1は、展示室を「高松松平家歴史資料コーナー」「テーマ展示」の2コーナー構成とした。令和元年度は、高松松平家に関わるテーマ展が多く、その場合はコーナーを分けず展示を展開した。

「高松松平家歴史資料コーナー」の展示資料は同時期に開催しているテーマ展示の解説シートに掲載した。

常設展示室1「テーマ展示」では6本の企画を行った。

「重要文化財「志度寺縁起絵」では、修理が完成した志度寺縁起絵全6幅を附属文書等とともに特別公開し、文化財修理の意義についても合わせて紹介した。来館者の多いゴールデンウィークには、「国宝 藤原佐理筆詩懐紙」の特別公開も行った（4月26日～5月12日）。

即位記念として企画した「ゆかりの品々でたどる天皇家と高松松平家」では、歴代高松藩主が天皇家から拝領した品や、明治以降伯爵となった松平家の別邸披雲閣に滞在した皇族からの下賜品など、高松松平家歴史資料から天皇家ゆかりの品々を一堂に公開した。

夏から秋にかけては、瀬戸内国際芸術祭2019に合わせて開催した特別展に関連する常設展を開催した。「水戸東照宮祭礼の世界」は、特別展「祭礼百態」の関連企画で、高松松平家に伝来する「水戸御祭礼図」全5巻を公開し、華やかな近世城下町祭礼の様子を紹介した。「城と城下町」は、特別展「日本建築の自画像」の関連企画で、高松・丸亀の城と城下町の変遷を絵図や記録を使って紹介した。

小学校の社会科の授業へ活用してもらおうと実施している「道具とくらしのうつつかわり」では、例年の内容に加え、地図や写真を使って、高松の鉄道の移り変わりを紹介した。

「高松藩家老・木村黙老とその時代」は、木村黙老の多分野での活躍、曲亭馬琴との交流、黙老ゆかりの資料の成り立ちやその後のゆくえ等について紹介した。

なお、特別展「第66回日本伝統工芸展」の会期中（令和2年1月2日～19日）には、香川県教育委員会と共催で、新しく香川県指定有形文化財に指定された玉楮象谷の漆芸作品3点を「高松松平家歴史資料コーナー」で特別公開した。

常設展示室2は年4回の展示替えを行った。「20世紀

の美術」では、当館が収蔵する西洋美術の作品を紹介した。「描かれた祭」、「建築家たちの見た風景」は、それぞれ特別展「祭礼百態」、「日本建築の自画像」に関連して開催した。

「建築家たちの見た風景」は、建築家・神谷宏治、山本忠司が遺した膨大な写真を紹介するため、複数のプロジェクターを使用し、展示手法を工夫した。

「猪熊弦一郎 色と形の遊び」では、館蔵の猪熊作品を色と形に注目して展示した。

常設展示室3は「空海室」として香川県出身の弘法大師空海を紹介する。展示室は京都東寺の灌頂院の一角を縮小して再現し、曼荼羅と五大尊像を掲出する内陣空間を演出する。「弘法大師空海の生涯と事績」というテーマで常設展示している。曼荼羅と五大尊像は実物の複製と現代に新たに制作されたものを定期的に入れ替えている。

6月20日から12月15日の期間は、特別展会場として使用した。

常設展示室4・5は、令和元年度は特別展会場としての使用が多かったため、常設展の開催は1回のみであった。

アート・コレクション「絵画と文字×比喻と象徴」では、絵画・書・漆芸作品を合わせて展示し、日本文化の精華として位置付けられる書と、戦後日本を代表する比喩的な絵画表現を関連づけて紹介した。



解説シート「修理記念 特別公開

重要文化財「志度寺縁起絵」



常設展示室1「ゆかりの品々でたどる天皇家と高松松平家」
展示風景



常設展示室2「建築家たちの見た風景」展示風景

常設展示一覧 ※表中No. は、解説シート発行番号

	展示名	内容	会期
常設展示室1			
1	高松松平家歴史資料	高松 12 万石を治めた大名高松松平家に伝来する国宝や重要文化財をはじめとする名宝の数々や大名・華族のくらしや文化を物語るさまざまな歴史資料を季節や話題にあわせて紹介した。高松松平家歴史資料を紹介する解説シートを配布した（常設展示1のテーマ展示に合わせて展示品を入れ替え、展示品一覧についてはテーマ展示解説シートに掲載）。展示件数：19 件（テーマ展に含まれるものを除く）	通年（下記テーマ展示に合わせて、展示替え、ミュージアムトークを行った）
2	修理完成記念 特別公開 重要文化財「志度寺縁起絵」一描かれた海辺の情景 祈りの物語 — No.103	志度寺の本尊十一面観音の由来や当寺建立・再興のいきさつなどを描いた志度寺縁起絵（重要文化財）の修理完成を記念した展覧会。志度寺縁起絵6 幅を関連資料とともに特別公開し、その魅力や文化財修理の意義などを紹介する。 展示件数：4 件	4. 26（金）～5. 26（日） ミュージアムトーク 2 回
3	ゆかりの品々でたどる天皇家と高松松平家 No.104	新天皇の即位の年にあたり、初代藩主松平頼重と後水尾上皇の和歌を通じた交流を示す資料や、大正時代に建設された松平家別邸披雲閣に滞在した皇族からの下賜品など、高松松平家に伝来する天皇家ゆかりの品々を一堂に公開する。展示件数：29 件	5. 31（金）～7. 21（日） ミュージアムトーク 2 回
4	水戸東照宮祭礼の世界 No.105	高松松平家に伝わる「水戸東照宮祭礼図絵巻」全 5 巻を一挙公開する。元和 7 年(1621)に創建された水戸東照宮の賑やかな祭礼行列には、各町内から出された人形山車や囃子屋台、仮装行列などが多数描かれている。華やかな近世祭礼の様子を紹介する。展示件数：3 件	7. 26（金）～9. 7（土） ミュージアムトーク 2 回
5	城と城下町 No.106	城が造られ、その周囲に人々が住まうことで生まれた城下町。それらは江戸時代の特徴的な都市のすがたといえる。本展では絵図や文献史料を紹介しながら、瀬戸内海と一体となった城と城下町のつくりや移り変わりを考える。展示件数：29 件	9. 20（金）～12. 15（日） ミュージアムトーク 2 回

6	道具とくらしのうつり かわり No.108	衣・食・住で使われる道具。時の経過とともに変化し、生活を便利にしてきた。この展示ではさまざまな道具を紹介し、人々の生活の移り変わりを考える。小学校の社会科や総合的な学習にも利用できる。 展示件数：46件	R2.1.2(木)～3.22(日) ミュージアムトーク3回
7	高松藩家老・木村黙老と その時代 No.110	曲亭馬琴の小説の愛好家として、馬琴本人と親交を結んだ高松藩家老木村黙老。藩の財政立て直しに尽力したほか、自らも学問や詩画を好んだ文化人であった。その著作や絵画作品、馬琴との交流を伝える資料などを、黙老の生きた時代とあわせて紹介する。 展示件数：33件	R2.3.27(金)～5.17(日)
常設展示室2			
8	アート・コレクション 20世紀の美術	パブロ・ピカソ「編み物をする女とそれを見る人」やジョルジュ・ブラック「楽譜のある静物」などの作品を中心に、20世紀前半のフランス絵画を展示する。展示点数：6件	4.16(火)～6.16(日) ミュージアムトーク2回
9	アート・コレクション 描かれた祭	所蔵作品から、「祭」をモチーフにした作品をとりあげ、作家は「祭」をどのように表現しているのかを紹介する。 展示点数：14件	7.17(水)～9.7(土) ミュージアムトーク2回
10	建築家たちの見た風景— 写真を通した「まなざし」 — No.107	設計から竣工まで、建築家たちは何を見つめていたのか。建築家・神谷宏治(1928～2014年)と山本忠司(1923～98年)の遺した膨大な写真から、建築家のまなざしと思考に迫る。展示点数：289件(パネル・スライド上映による展示)	9.20(金)～12.15(日) ミュージアムトーク2回
11	アート・コレクション 猪熊弦一郎 色と形の 遊び	猪熊弦一郎は1902年高松市に生まれ、フランス、ニューヨークと活動の拠点を移しながら、戦後の新しい美術に独自の表現を見出した。猪熊の色と形にまつわる美的感性を紹介する。 展示点数：23件	R2.1.2(木) ～5.10(日) ミュージアムトーク1回
常設展示室3			
12	弘法大師空海の生涯と 事績	空海の生涯と事績について関連資料を通して紹介。空海ゆかりの国宝・重要文化財など貴重な資料の複製品を中心に、館蔵の四国偏礼図、納経帳など遍路関係資料を展示。曼荼羅図等や遍路関連資料は年3回展示替えを実施した。	I期 H31.3.12～6.16 II期 R2.1.2～2.23 III期 R2.3.10～6.28
常設展示室4・5			
13	アート・コレクション 絵画と文字×比喩と象徴 メタファーとシンボル No.109	日本文化の精華として位置づけられる書とともに、戦後日本を象徴する比喩的な絵画表現に込められた意味を探る展示。 展示点数：27件	R2.1.25(土)～3.22(日) ミュージアムトーク1回

③特別展示

令和元年度は、瀬戸内国際芸術祭 2019 の春・夏・秋会期に合わせ、芸術祭のプログラムの一つに位置づけられた自主企画の特別展を開催した。芸術祭会期中は、夜間開館を増やし、時間も通常より 30 分延長するなどして、芸術祭とタイアップした集客に努めた。

春の「自然に挑む 江戸の超（スーパー）グラフィック—高松松平家博物図譜」では、高松松平家に伝来する博物図譜 4 種 13 帖の全帖を同時に公開し、同時代の作品・資料などとともに松平家図譜の成立背景や表現方法、魅力について紹介した。共催者の NHK 高松放送局が制作した 4K 8K の超高精細映像を会場で上映し、細部まで鑑賞できるようにしたことが来場者に好評であった。

会期中の 10 連休は休館日なしで、20 時までの夜間開館を実施した。入場者数は目標値を大きく上回り、1 日平均の入場者数は約 700 人で、過去最高を記録した。また、図録は会期中に全て完売した。連休中を中心に事前申込なしで参加できるワークショップを開催し、家族連れでにぎわった。

アンケートでは、博物図譜の緻密な表現に感動したという意見が寄せられ、中には、このように素晴らしいものが香川にあることがわかり、県民として誇らしいという感想もあり、香川の歴史・文化を県内外にアピールすることができたと考えている。

画帖形式の博物図譜の展示が大半を占めるため、単調で平面的な展示にならないよう、ガラス面に図譜の中の画像を貼り付けるなど演出にも工夫したが、来館者からは、照明の工夫や、描かれた魚類や植物の名称など解説の充実を求める声も聞かれた。今後の展示に反映していく必要がある。

夏の「祭礼百態—香川・瀬戸内の「風流（ふりゅう）」展では、香川・瀬戸内の多様な祭礼について、意匠や祭礼で使用する道具を、写真や映像を多数交えて紹介した。地元自治会や保存会などの協力を得て、香川の祭礼の特徴である太鼓台や全国一の数を誇ると言われる獅子舞、奴行列などの迫力ある展示に加え、週末には獅子舞やだんじり子供歌舞伎などの実演を行い、香川の祭りを体感してもらうことができた。

入場者数は目標値に届かなかったが、展示やシンポジウムなどの関連行事を通して、変容する地域社会において祭礼や民俗芸能を継承していくために行われている各地域の工夫や努力についても紹介し、地域の祭りの今後の継承についても考えるきっかけになったと考えている。

県外の来場者から、解説パネルなどの香川県内の地名や場所がわからなかったという意見があり、地図などで県外の人にもわかりやすく表示するなどの工夫が必要であった。

秋の「日本建築の自画像：探求者たちのもの語り」展では「日本建築」というイメージを、建築（史）家・建築家・地域の人々という三つの視点による複数のまな

ざし＝「自画像」として紹介した。設計図・写真に加え、建築模型や動画といった 600 点を超える多数の資料を用いた立体的な展示構成から、「日本建築」を取り巻く時代背景や思想にも注目した。さらに瀬戸内や沖縄といった地域からみえる「日本」のありようにも目配りすることで、改めて「日本建築」とは何か、を問いかける内容とした。

関連イベントとしては、開催前の 4 月にプレシンポジウムを、会期中にシンポジウム 2 回、講演会 1 回、連続講座 9 回、ガイドツアー 13 回を開催し、会場では、毎日展示解説を実施して展覧会の内容をより深く理解してもらえるよう努めた。

また、東京藝術大学との連携事業として、関連ワークショップ「居場所を作る—内面から建築することを意識する—」を実施した。

解説パネルには、英文表記も入れて、海外からの来場者にも対応できるようにした。

開展準備がスケジュールより遅れ、事前の広報が行き届かず来場者数が目標値に達しなかったことや、図録の刊行が大幅に遅れ、会期終盤からの販売になってしまったことは反省点である。

その他に、恒例となっている「香川県美術展覧会（県展）」、「日本伝統工芸展」も開催した。第 84 回香川県美術展覧会は、部門の名称を一部変更し、一定の条件のもとで電気や水の使用や書類による応募を認めるなど出品規定を見直し、多様な表現を受け入れ、幅広い年齢層からの出品がしやすい県展を目指した。

前回に続き、会期中の県内審査員のギャラリートークを増やしたり、会場に中学生の作品を合わせて展示したりするなど、来場した方に県展を楽しんでもらえるよう工夫した。また、開催要項のデザインを一新して、新しいイメージを打ち出した。

電気を使用した作品など出品規定の改善を反映した多様な作品が出品された一方、出品者・観覧者は前回より引き続き減少傾向であり、今後も改善を継続していく必要がある。

日本伝統工芸展は、第 65 回で久しぶりに入場者数が増加に転じたが、第 66 回も引き続き 130 人増加した。一日あたりの入場者数も 346 人で、前回より 25 人の増加となった。年始の休みが長かったことや、NHK 高松放送局の協力を得て 開催前の関連番組の再放送や会期中の生中継が実現したことなどが入場者増に結び付いたと考えられる。また、関連行事の講演会は、ほぼ満席で、例年以上に盛況であった。

特別展示一覧

	展示名	内容	会 期	入場者数
1	自然に挑む 江戸の スーパー 超 グラフィック —高松松平家博物 図譜	高松松平家には、魚・鳥・植物の図と名前を まとめた『衆鱗図』『衆禽画譜』『写生画帖』 『衆芳画譜』からなる 4 種 13 帖の博物図譜 が伝来する。これらは、18 世紀半ばに高松藩 主・松平頼恭の命で作られ、計 2,141 図もの 魚、鳥、植物の図は、精緻な描写や多様な色 彩、平面にとどまらない立体的な表現など、 「ここまで描くか!」と思わせる。松平家図 譜がみせる“超グラフィック”の世界を紹介 する。	4. 27(土)～5. 26(日) [27 日間] ミュージアムトーク 11 回 スペシャルトーク 2 回	18, 892 人
2	第 84 回 香川県美術展覧会	県民による美術作品を展覧し、美術に親しむ 機会を提供するため県内公募による総合美術 展を開催。 1 期：彫刻、工芸、書 2 期：日本画、洋画、写真	第 1 期[11 日間] 6. 20(木)～6. 30(日) 第 2 期[11 日間] 7. 5(金)～7. 15(月・祝) [計 22 日間] 県内審査員によるギャラリー トーク 13 回	7, 911 人
3	祭礼百態—香川・瀬 戸内の「風流」	香川・瀬戸内の地域社会で長く培われ、今日 では地域の誇りや人々をつなぐものとしても 強く認識されている、多様な祭礼行事を紹介 する。その発達と多様性に大きな影響を与え た、飾り立てた作り物、趣向を凝らした仮装 練り物・囃子・踊りなどの「祭礼風流(ふりゆ う)」の伝播・受容についても、絵画・歴史資 料などからたどり、特に香川の祭礼を特徴づ ける布団太鼓や獅子舞、奴などに焦点をあて て紹介する。	8. 3 (土) ～9. 7 (土) [31 日間] ※8/15 台風のため臨時休館 ミュージアムトーク 12 回 専門家によるとことん解説会 2 回	5, 108 人
4	日本建築の自画像 探求者たちのもの 語り	「日本建築」というイメージを、建築史家・ 建築家・地域の人々、という三つの視点によ る複数のまなざし=『自画像』として紹介。 設計図・写真に加え、建築模型や動画も用い た立体的な展示構成から、『日本建築』を取り 巻く時代背景や思想 にも注目する。さらに瀬 戸内や沖縄といった地域から見える、『日本』 のありようにも目配りする ことで、改めて 『日本建築』とは何か、を問いかける。	9. 21 (土) ～12. 15 (日) [74 日間]	8, 842 人
5	第 66 回 日本伝統 工芸展	先人から受け継いできた優れた技を磨き、現 代生活に即した新しいかたちを紹介。 重要無形文化財保持者の作品、受賞作品及び 四国在住作家の入選作品を中心に、陶芸、漆 芸、金工、木竹工、人形等約 280 点を展示。	R2. 1. 2(木)～1. 19(日) [18 日間] 作家による陳列品解説 5 回	6, 232 人

スーパー
自然に挑む 江戸の超 グラフィック—高松松平家博物図譜



第84回 香川県美術展覧会

since 1934

84th 2019

第84回 香川県美術展覧会

つくる人もみる人も

6月20日(土) → 6月30日(日)

- 彫刻(立体表現)
- 工芸
- 書

7月5日(土) → 7月15日(日)

- 絵画(日本画)
- 絵画(洋画)
- 写真

より豊かな展覧会に

香川県ミュージアム



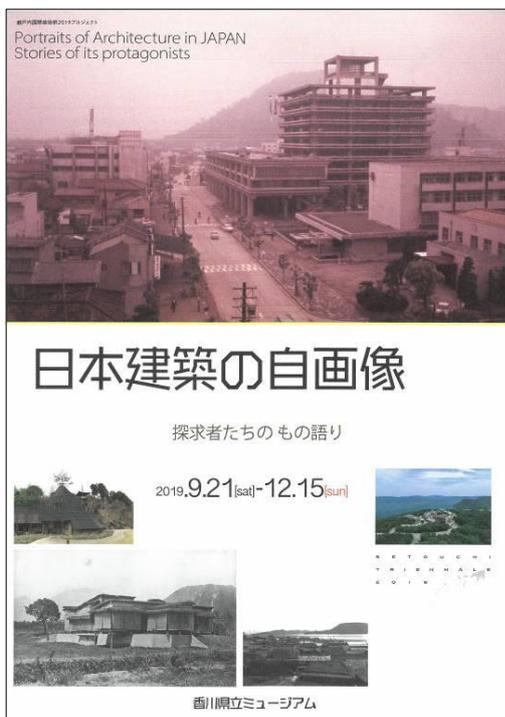
第84回県展展示作品数一覧

	入選 (応募数)	無鑑 査	招待	審査 員	遺 作	展示点数 総数
日本画	48(83)	0	7	2	1	58
洋画	98(211)	1	13	3	2	117
彫刻	12(21)	1	12	2	0	27
工芸	35(59)	0	8	4	0	47
書	203(455)	1	12	4	2	222
写真	142(310)	1	3	2	0	148
合計	538(1139)	4	55	17	5	619

祭礼百態—香川・瀬戸内の「風流」
ふりゆう



日本建築の自画像：探求者たちのもの語り



第66回 日本伝統工芸展

第66回 日本伝統工芸展

令和2年
1月2日(土)
— 1月19日(日)
会期中無休

◆ 陶芸 ◆ 染織 ◆ 漆芸 ◆ 金工 ◆ 木竹工 ◆ 人形 ◆ 諸工芸

変化と不変の、技と心。

The Kagawa Museum
香川県立ミュージアム

開館時間 午前9時—午後5時（入館は午後4時30分まで）
観覧料 一般200円、団体(20名以上)前売300円
*高校生以下、65歳以上の方、身体障害者手帳をお持ちの方は無料
※要予約 香川県立ミュージアム、コンビニエンスストア
(ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、セブンイレブン)の券専用端末

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/>
〒760-0030 香川県高松市五原町15番5号 TEL.087-822-0002(内)



第66回伝統展展示作品数一覧

種別	展示作品数	種別	展示作品数
陶芸	61	木竹工	32
染織	20	人形	16
漆芸	82	諸工芸	41
金工	28	合計	280

④ロビー展示

エントランスのにぎわい作りや作品鑑賞の機会拡大のため、ロビーでの展示を実施。これらの中には当館の活動によるものだけではなく、関係機関とのタイアップなどを目的としたものである。

	期 間	展示内容・テーマ・協力者・連携相手など	場 所
1	通 年	イサム・ノグチコーナ ー	1階図書 コーナー
2	通 年	ミュージアム・コレク ション(剣持勇のデザ イン)	1階多目的 室・図書コ ーナー
3	9. 15 ～R2. 1. 19	博物館実習生による パネル展示	1階エント ランス
4	10. 1～12. 24	「かがわ文化芸術祭 2019 ポスター原画展」	1階エント ランス
5	R2. 2. 18 2. 24	大津波被災文化財保 存修復連携プロジェ クト バナー展示	1階エン トラス・地 下1階
6	R2. 2. 18 ～3. 22	「ミュージアム・ボラ ンティア活動紹介」展 示	2階西ロ ビー

⑤貸館事業

特別展示を行っていない期間について、2 団体が特別展示室を利用して展覧会を開催した。総入場者数は、1,576 人であった。

展 覧 会 名	主 催	会 期	観 覧 者 数
第 51 回 青龍書展	青龍書道会	R2. 2. 20 (木) ～2. 23 (日)	1, 225
第 62 回 新協美術展 香川巡回展	新協美術会 香川支部	R2. 3. 18 (水) ～3. 22 (日)	351 名
合 計			1, 576 名

(2) 館外展示

令和元年度は、館外での展示は実施しなかった。

(3) 展示システム

①展示案内 (委託業務)

展示室での来館者の誘導、展示資料の保守管理、展示見学補助や体験学習室 (1 階) での時代衣装の着付け、

各種器具の保守管理、図書コーナー・ビデオライブラリーでの利用受付などを業務委託して実施している。なお、展示見学補助の主な内容は、各コーナーでの来館者の質問への対応であるが、業務マニュアルにはない専門的な質問については学芸員に連絡をとり対応する態勢をとっている。業務日報は毎開館日の業務終了時に学芸課へ提出され、内容に応じて各担当へ報告される。

②音声ガイドシステム

歴史展示に関する 33 項目について、日本語、英語、中国語、韓国語の解説を聞くことができるポータブル ROM プレーヤー10 台を、歴史展示室入口で貸し出している (無料)。

(4) 企画・広報

①広報活動

香川県立ミュージアムの認知度向上を目標とし、広報活動を「館の活動全般への理解を、広く県内外の方々から得るための活動」と位置づけて展開した。

i) 報道機関等への情報提供

展示事業、地域連携事業だけではなく、調査研究事業の成果や、ボランティア活動など、当館の活動全般について報道機関へ積極的に情報を提供し、新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などの取材や問い合わせに対応した。主な情報提供については以下の通り。

* 広聴広報課 (県政 PRBOX) を通しての情報発信

広報誌「The かがわ」内「みんなの便利帳」

* 報道機関への情報提供

四国新聞「ディープ KAGAWA」(毎週金曜日掲載)

* インターネットでの発信

「香川県 HP」、「楽天ブログ」、「うどん県旅ネット」
「かがわアートナビ」

* 新聞・出版物への原稿執筆

百十四経済研究所「調査月報」に展示・収蔵品紹介
産経新聞「ミュージアムカフェ」

* 地元ミニコミ誌、観光案内誌などへの情報提供

ii) 広報資料の発送

特別展開催前等の時期に、県内の関連機関、学校、公民館、観光施設や、県外の博物館・美術館などを中心に、展覧会をはじめとする館の活動を紹介する宣材を発送した (令和元年度は、年 7 回)。

発送する内容によっては、特定の広報先を設定 (「第 84 回香川県美術展覧会」での県内美術関係者や、「祭礼百態」での県内小学校、「第 66 回日本伝統工芸展」での漆芸関係者など) し、効果的な広報を目指した。主な送付資料は次のとおり。

・ 展覧会スケジュール

・ ミュージアム NEWS

・ 特別展などのポスター・チラシ

【特別送付】

※高松近郊のデイサービス等の福祉施設へ、利用誘致を目的に、春・秋を中心に、展覧会スケジュール・特別展チラシなどを送付。

※県内学校へ、校外学習利用誘致を目的に、3月に展覧会の紹介や団体利用方法についてまとめたパンフレットを送付。また「第66回日本伝統工芸展」関連のワークショップ「うるしにチャレンジ」では県下小学校の4・5・6年生へ配布し、行事への応募や来館を促した。

iii) 有料広報の展開

特別展について、以下の有料広報をおこない、情報発信に努めた。

・新聞広告

特別展「日本建築の自画像 探求者たちのもの語り」(四国新聞 広告2回 全3段カラー)

特別展「第66回日本伝統工芸展」(朝日新聞 全7段白黒、四国新聞 全3段カラー)

・交通広告

JR駅・車内吊掲示(入場引換券販売とタイアップ、マリンライナー車内吊単独)

ことでん車内吊・有人駅ポスター掲示
大川バスラッピング(直島線・引田線)

・パンフレットラックを設置し、館発行の印刷物を掲示(JR高松駅、ことでん高松築港駅)

iv) Web等による発信

館独自のホームページでは、県政記者室への情報提供などとタイミングを合わせて情報発信した。

また、SNSを活用した情報発信を行うため、Facebookの公式アカウントを新たに取得し、既存のTwitterとともに展覧会情報、イベント情報を発信した。

v) その他

学校団体との連携を深めるため、各団体の会議などで内容説明や来館案内を行った。(高等学校教育研究会地歴・公民科部会、美術工芸部会など)

②講演会

特別展に関連したテーマや話題性の高い魅力的なテーマを中心とした講演会やシンポジウム等を計8回実施した。

③学芸講座

当館学芸員が香川の歴史や古美術、日本美術や西洋美術について、特別展や常設展示のテーマ、調査研究等に関連して講座を13回実施した。

④パスポート事業

平成22年度より、パスポート事業を開始している。現在の会員に対し更新の案内をするとともに、新規会員獲得

のための広報を積極的に行った。

平成29年度からは、特別展の観覧料について、2回目以降半額、同伴者1名も半額にするなど、パスポート購入者への特典を充実させ、さらに販売を促進するとともに、館の利用促進を図った。

また、平成29年度から法人特別展観覧券を新設し、県内の法人に広く周知して販売を促進した。

1) 個人パスポート(会員数は令和2年3月31日現在) サービス内容

- ・歴史展示室と常設展示室(一般観覧料410円)を無料で観覧できる。
- ・当館主催の特別展(一般観覧料500円~1,000円)を1回目は無料で、2回目以降は半額で観覧できる。(高校生以下の方、65歳以上の方、身体障害者手帳等をお持ちの方は、いずれも無料)
- ・同伴者一人は半額
- ・講演会、学芸講座、ワークショップ参加でポイント進呈
*10ポイントで記念品贈呈
- ・会員限定のミュージアムトークに案内
- ・当館広報誌、特別展・イベントの案内などを送付する(令和元年度は、広報誌、特別展・常設展やイベントの紹介など、計7回送付)。

金額	対象	会員数
3,130円	一般	43名
1,040円	高校生以下、65歳以上、身体障がい者手帳等所有者	47名
有効期間	購入代金の入金認定日から1年間	

2) 法人メンバーズ(会員数は令和2年3月31日現在)

サービス内容

- ・従業員とその家族が特別展を無料で観覧できる。特別展観覧日に限り、歴史展示室と常設展示室(一般観覧料410円)を無料で観覧することができる。
- ・特別展開会式に案内
- ・特別展覧会図録を進呈
*観覧券綴りの購買冊数に関わらず1法人1冊
- ・学芸員による特別展展示解説
- ・学芸員が企業研修等で無料講義
- ・会員限定のミュージアムトークに案内
- ・当館広報誌、特別展・イベントの案内などを送付する(令和元年度は、広報誌、特別展・常設展やイベントの紹介など、計7回送付)。

金額	対象	会員数
20,000円 (法人特別展観覧券1冊30枚綴り)	従業員を雇用している法人・団体、 個人事業主、法人等の従業員及び その家族	1法人
有効期間	購入代金の入金認定日から1年間	

(5) 展覧会企画力向上事業

美術や歴史に関する展覧会の企画に関し、豊富な経験を持つ学識経験者をアドバイザーに委嘱し、展覧会の企画や施設の活用等について助言を得て、施設の魅力を高め利用者の増加につながるよう、企画力の向上に努めている。

アドバイザー2名

布谷知夫 (三重県総合博物館 特別顧問)

水沢 勉 (神奈川県立近代美術館 館長)

回	月日	内容等	アドバイザー
第1回	5.8(水)～ 9(木)	・展覧会視察 ・特別展の企画について 意見聴取 ・瀬戸内海歴史民俗資料 館視察	水沢勉
第2回	5.17(金) ～18(土)	・展覧会視察 ・地域連携事業について 意見聴取 ・ボランティア全体会での 講演	布谷知夫
第3回	8.25(日)	・展覧会視察 ・地域連携事業について 意見聴取	布谷知夫
第4回	12.11(水)	・特別展覧会視察 ・香川県美術展覧会の改 善について意見聴取 ・次年度以降の特別展に ついて指導・助言	水沢勉
第5回	R2.3.17 (火)	・香川県美術展覧会の改 善について意見聴取	水沢勉

令和2年3月2日(月)には、情報発信アドバイザーとして、小西智都子氏(Roots BOOKS代表)を招き、当館の情報発信、広報戦略について指導・助言をいただいた。

2 地域連携事業

博物館と学校教育との連携や生涯学習等、ミュージアムの学習支援事業に加え、地域との関係や協働にも積極的に取り組んでいる。

講演会・講座、ボランティア活動などの生涯学習や、学校団体の案内、館蔵資料をはじめとする館が有する情報を利用した教材開発とその貸出しといった学校教育への支援、文化財レスキュー計画への参画とそれに伴う地域資料保全に関わる活動等、多彩な事業を行っている。

(1) 学校教育支援事業

①ミュージアム活用研究会

学校教育支援事業について当館職員と学校教員8名が意見を交換した。当館と学校との実質的な連携を促進し、当館の展示や美術作品、歴史・民俗資料を活用した学習プログラムを充実させることで、児童・生徒の学習に寄与することを目的に活動した。

グループ	研究テーマ
歴史グループ	・館蔵資料等を利用した学習方法案作成 第二次世界大戦中、戦後の学習教材の開発
美工グループ	・所蔵品等を題材とした学習教材の開発 高松松平家博物図譜を題材とした学習教材の開発

ミュージアム活用研究会 歴史



ミュージアム活用研究会 美術



②教員向けの講座 (ティーチャーズプログラム)

館蔵資料・作品を教材として活用することを目的に、教員を対象とした専門研修(歴史資料活用講座・美術鑑賞講座)を各1回実施した。

	月日	テーマ	受講者
1	8.6 (火)	歴史資料活用講座 ・学習教材「信長・秀吉・家康と讃岐」の紹介 ・学習教材「丸亀藩の参勤交代」の紹介 ・特別展「祭礼百態—香川・瀬戸内の風流」の解説	10人
2	8.7 (水)	美術鑑賞講座 ・「松平家図譜の技」制作 ・「アートカード」の紹介 ・特別展「祭礼百態—香川・瀬戸内の風流」の解説	10人

③館蔵資料・作品の複製教材の制作、貸出

歴史資料の複製教材と、美術・工芸作品鑑賞学習教材を希望する学校に貸出した。また、小学校3年生社会科の体験学習として、希望があれば石臼体験を行った。

教材リスト

教材名	原資料
○「城下町」学習教材 ・8分割シート ・14分割パズル	●「高松城下図屏風」 *県指定有形文化財 高松松平家歴史資料
○「坂出墾田図」教材	●「坂出墾田之図」
○「信長・秀吉・家康と讃岐」教材	●丸亀市塩飽勤番所蔵 「織田信長・豊臣秀吉・徳川家康朱印状」
○「丸亀藩の参勤交代」教材	●丸亀市山北八幡神社蔵 「山北神社奉納京極侯参勤交代御船絵馬」
○「イサム・ノグチ物語」	●(制作物)
○アートカード	●館蔵美術工芸作品
○漆工芸見本	●館蔵品
○石臼	●館蔵備品

貸出状況

○「城下町」学習教材

期 間	学 校 名	学年	利用者数
6.29(土)～7.6(土)	香川県立高松西高等学校	2年	41人
9.7(土)～9.12(木)	高松市立屋島西小学校	6年	66人
9.7(土)～9.14(土)	丸亀市立郡家小学校	6年	128人
R2.3.5(木)～3.31(火)	徳島文理大 橋詰教授	教材研究	1人

○「丸亀藩の参勤交代」学習教材

期 間	学 校 名	学年	利用者数
9.7(土)～9.14(土)	丸亀市立郡家小学校	6年	128人
9.19(木)～9.27(金)	徳島文理大 橋詰教授	講座	8人

○アートカード

期 間	学 校 名	学年	利用者数
6.22(土)～7.20(土)	香川大学教育学部附属坂出小学校	5・6年	136人
8.7(水)～9.1(日)	高松市立玉藻中学校	1年	188人
10.6(日)～12.8(日)	高松市立玉藻中学校	1年	188人
R2.1.18(土)～3.21(土)	香川大学教育学部附属坂出小学校	3・5・6年	206人

○イサム・ノグチ物語

期 間	学 校 名	学年	利用者数
4.12(金)～5.10(金)	県立香川東部養護学校	高等部3年	26人
8.31(土)～10.5(土)	高松市立香東中学校	1年	133人
9.15(日)～10.26(土)	観音寺市立豊浜中学校	3年	49人
10.6(日)～12.8(日)	高松市立玉藻中学校	1年	188人

○石臼体験

月日	学校	学年	利用者数
10.18(金)	丸亀市立城北小学校	3年	36人
10.18(金)	さぬき市立白鳥小学校	3年	29人

11.8(金)	さぬき市立長尾小学校	3年	73人
---------	------------	----	-----

④学校への広報

ミュージアムでできる学習内容や教員向け講座、貸出教材を紹介したパンフレットを3月末までに作成し、県内の各学校に送付した。



⑤校外学習への協力

各学校の校外学習を積極的に受け入れ、児童・生徒の歴史・美術学習を支援している。

学校団体利用一覧

校種	学校団体名	総人数 (引率者含)	月 日
幼稚園・保育所のべ1園28人	1 みどり保育園	28	10.10(木)

校種		学校団体名	総人数	月日
小学校 のべ 29校 2000人	1	高松市立花園小学校6年	36	4.19(金)
	2	坂出市立林田小学校6年	59	4.19(金)
	3	高松市立円座小学校6年	134	4.23(火)
	4	丸亀市立城東小学校6年	115	4.23(火)
	5	綾川町立羽床小学校6年	27	4.25(木)
	6	高松市立香南小学校6年	69	4.26(金)
	7	高松市立大野小学校6年	79	4.26(金)
	8	坂出市立東部小学校6年	72	4.26(金)
	9	高松市立新番丁小学校6年	140	5.8(水)
	10	高松市立栗林小学校6年	204	5.10(金)
	11	高松市立林小学校6年	143	5.24(金)
	12	高松市立一宮小学校6年	131	5.24(金)
	13	高松市立木太小学校6年	86	5.29(水)
	14	丸亀市立栗熊小学校5年	15	9.26(木)
	15	多度津町立多度津小学校5年	54	9.26(木)
	16	まんのう町立琴南小学校4~6年	41	10.2(水)
	17	丸亀市立城北小学校3年	40	10.18(金)
	18	東かがわ市立白鳥小学校3年	31	10.18(金)
	19	善通寺市立竜川小学校5	68	10.24(木)
	20	東かがわ市立本町小学校5年	35	10.25(金)
	21	三木町立白山小学校4年	43	10.25(金)
	22	坂出市立瀬居小学校1~6年	18	10.30(水)
	23	善通寺市立南部小学校5年	33	11.1(金)
	24	さぬき市立長尾小学校3年	77	11.8(金)
	25	坂出市立府中小学校5年	25	11.8(金)
	26	高松市立亀阜小学校6年	28	11.19(火)
	27	高松市立牟礼小学校6年	51	R2.2.19(水)
	28	さぬき市立さぬき南小学校6年	49	R2.2.20(木)
	29	高松市立十河小学校6年	97	R2.2.21(金)
中学校 のべ 5校 57人	1	坂出市立瀬居中学校1年	4	6.14(金)
	2	高松市立勝賀中学校生徒会	6	8.6(火)
	3	直島町立直島中学校美術部	3	8.7(水)
	4	高松市立香川第一中学校美術部	26	8.9(金)
	5	直島町立直島中学校	18	12.10(火)
高等 学校 のべ 10校 620人	1	岡山県立岡山工業高等学校	42	4.26(金)
	2	香川県立高松工芸高等学校	33	4.26(金)
	3	香川県立高松工芸高等学校美術科2年	26	5.23(木)
	4	香川県立高松工芸高等学校美術科1年	26	5.24(金)
	5	香川県立高松工芸高等学校美術科3年	26	6.28(金)
	6	台湾忠信学校	12	7.4(木)
	7	香川県立高松工芸高等学校デザイン科1・2年	63	7.5(金)
	8	香川県立高松工芸高等学校美術科1・2年	46	7.12(金)
	9	本郷高等学校	172	10.24(木)
	10	本郷高等学校	174	10.24(木)

特別支 援学校 のべ 6校 175人	1	香川県立善通寺養護学校	3	9.25(水)
	2	香川県立香川西部養護学校中等部	15	10.17(木)
	3	香川県立豊学校小学部	2	11.8(金)
	4	香川県立香川丸亀養護学校小学部	15	R2.2.7(金)
	5	香川県立香川丸亀養護学校中等部	43	R2.2.7(金)
	6	香川県立香川東部養護学校	97	R2.2.21(金)
大学・ 短期大 学・高等 専門学 校・専門 学校 のべ 16校 277人	1	四国学院大学	6	5.11(土)
	2	香川大学・コロラド大学	10	5.26(日)
	3	韓国レイナン大学	18	6.8(土)
	4	徳島文理大学文化財学科	5	6.8(土)
	5	香川大学・チェンマイ大学	12	7.7(日)
	6	愛媛大学	13	8.27(火)
	7	早稲田大学名所古跡研究会	18	8.27(火)
	8	愛媛大学	14	8.28(水)
	9	香川大学医学部	15	10.4(金)
	10	高松大学	14	11.16(土)
	11	徳島文理大学	28	11.21(木)
	12	香川大学工学部	64	11.22(金)
	13	徳島文理大学	8	11.27(水)
	14	高等技術学校リフォーム科	17	12.3(火)
	15	ワシントン大学	25	12.11(水)
	16	香川大学・台湾国立嘉義大学	10	R2.2.12(水)

⑥教員研修会への協力

令和元年度の実施はなかった。

⑦職場体験学習・インターンシップへの協力

令和元年度は、県内の中学校・高等学校計6校18人が当館で職場体験学習・インターンシップを実施した。

日程	学校名・学年	参加者
7.9(火)～ 7.12(金)	香川県立高松工芸高等学校	5
10.1(火)～ 10.2(水)	高松市立龍雲中学校	2
10.8(火)～ 10.9(水)	高松市立一宮中学校	3
12.11(水) ～12.12(木)	高松市立桜町中学校	3
R2.1.21(火) ～1.22(水)	高松市立高松第一中学校	3
R2.1.22(水) ～1.24(金)	香川県立津田高等学校	2



高松市立一宮中学校職場体験学習

⑧大学との連携

○館内見学等受入

月日	大学	種別	人数	備考
5.11 (土)	四国学院大学	学芸員資格単位取得	11人	再掲
6.8 (土)	徳島文理大学	学芸員資格単位取得	6人	再掲

○館外講師派遣

月日	大学	テーマ	派遣職員	備考
6.8 (土)	徳島文理大学	博物館運営の実際	野村美紀	
7.26 (金)	香川大学	社会教育主事講習「博物館の運営」	御厨義道	
9.2(月)～6(金)	四国学院大学	博物館資料保存論	野村美紀 御厨義道 上野進 田口慶太 鹿間里奈	博物館学

⑨博物館実習

当館では、博物館学芸員資格の取得課程の一環として、大学からの依頼により実習生を受け入れている。令和元年度は、9月10日(火)～14日(日)の5日間に、10名の実習生の受け入れを行った。漆芸作品の展示企画と作品解説作成を行い、作品解説を、1階エントランスホールにて展示した。

<実習生の大学別内訳>

愛媛大学2名、神戸女子大学3名、高知大学1名、岡山大学1名、多摩美術大学1名、京都女子大学1名、都留文科大学1名

月日	実習内容
9.10(火)	オリエンテーション、館内見学、展示企画について
9.11(水)	館蔵作品の調査、調査まとめ、展示企画・作品紹介案作成
9.12(木)	フィードバック、展示企画・作品紹介再考
9.13(金)	香川県漆芸研究所、高松市美術館、展示企画・作品紹介見直し
9.14(土)	展示企画発表、作品紹介展示

⑩その他の学校等との連携

○香川大学教育学部附属高松小学校との連携

同校が新たに取り組んだ教育プログラム「創造活動」(通常授業の道德・特別活動・総合的な学習を合わせたプログラム)について、学校側の要請をうけて連携・協力を行った。

「創造活動」は、クラスごとの活動と学年を横断して構成されるタテ割りクラスの活動があり、この内タテ割りクラスの白1組が取り組んだ「ミニチュアワールド」について、児童が制作した作品の展示を実施した。作品は身のまわりにある品をミニチュアの人形と組み合わせることで風景や活動情景に見立てたり、ジオラマを作成したりして、タブレット端末で撮影したもの。

児童の作品をミュージアムで展示したいと学校側から要望があり、担当教諭と協議を重ね、企画立案から展示の実施までを児童が主体的に行い、ミュージアム職員が助言・指導をすることとした。

ミュージアム職員が小学校を訪問し、展示を企画するにあたっての考え方や方法について助言・指導を行い(3回、1/9、1/31、2/7)、展示企画の立案・場所の確認のため児童がミュージアムを訪れた(1/21)。

展示は、ミュージアム1階図書コーナーを会場とし、2/16に作業を児童および担当教諭で行い、2/17～24の期間で開催した。



附属高松小学校による展示風景

○かがわ総合リハビリテーションセンターとの連携

かがわ総合リハビリテーションセンターと協力して、あそびの広場「ミュージアムへ行こう」を実施した。本事業は、障がいをもつ子どもたちとその保護者に対し、博物館・美術館施設等を訪れる機会をつくらうとするものである。県立ミュージア

ムでは、平成30年度に引き続いて実施した事業。

実施する行事は2回で、1回目はセンターで館の紹介とワークショップを実施し、担当職員と参加する子どもとの交流をはかり、2回目にミュージアムを訪問し、展示見学およびワークショップを実施した。実施した行事内容は次のとおり。

	日程・参加人数	行事内容	会場
1	11.24(日) 10:00~12:00 4組11人	ミュージアムの紹介 アートカードで遊ぼう おさかな釣っちゃおう(衆麟図の図を用いた釣りゲーム)	かがわ総合リハセンター
2	12.15(日) 10:00~12:00 5組13人	特別展「日本建築の自画像—探 究者たちのもの語り」見学 ヘンテコタワーをつくらう (各自が紙箱を用いて工作し、 最後に持ち寄って組立てタワ ーにする)	県立ミュージアム

○オノノコプロダクション(香川県中学校美術教育研究会)との連携

「オノノコプロジェクト」は香川県の中学生在が主体となって、美術を通じて社会貢献を旨とする活動である。今年度は「瀬戸内国際芸術祭2019」にオノノコプロダクションとして参加し、「オノノコプロジェクト2」を実施した。本事業は香川県教育委員会委託事業「未来のアーティスト育成事業～芸術って楽しいな!」として実施した。本館は本事業の共同主催として携わった。実施内容は次のとおり。

	日程・参加校数	行事内容	会場
1	6.1(土) 9校	大制作会 鬼瓦等の制作	県立ミュージアム
2	7.22(月) 17校	大搬入	鬼ヶ島大洞窟
3	夏会期 秋会期 17校	ワークショップ	女木島各所
4	冬	記録集の作成	-

⑪体験学習室

体験学習室では、近年見かけることが少なくなった伝統的な玩具が用意され、昔の遊びを体験できる。また、十二単や甲冑の試着ができるコーナーもあり、外国人観光客などにも人気である。遠足で訪れる学校団体に好評で、クラスで数名が試着し、皆で囲んで記念撮影を行っている。

本年度は、県ホームページの「知事への手紙」に投稿された利用者の意見を受けて、撮影時の背景となるよう、物入れ扉に襖絵をイメージした垂れ幕を設置した。

体験学習室備品一覧

衣装	十二単	桧扇
	甲冑	弓
	貫頭衣	古墳時代の甲冑 (厚紙製)
遊具	盤双六	絵双六
	けん玉	ヨーヨー
	お手玉	投扇興

楽器	将棋	囲碁
	こま	力士ごま
	かわりごま	駒まわし台
	ベーゴマ	ベーゴマ台
	めんこ	ビー玉
	おはじき	だるま落とし
	かるた	百人一首
	土器パズル	絵パズル
	組み木パズル	貝合わせ
	トントンずもう	紙芝居用舞台
むかしばなし		
帽子	篠笛	龍笛
	能管	尺八
	ひちりき	カンカン石
	神楽鈴	小鼓
帽子	折烏帽子	張貫立烏帽子
	御冠	
その他	姿見	源内のぞきめがね
	千両箱	箱枕
	高松張子	箱膳
	張子の虎	奉公さん
	十二支パズル	獅子頭
	みとり(綿繰り機)	竹製水鉄砲
	昔遊びの本	香川県を探せパズル
	香川県のパズル	十二支パズル
	マナーフィッシュ	

⑫図書コーナー

図書コーナーは体験学習室に隣接して、設置している。約4,000冊の蔵書(歴史、民俗、美術に関係するもの)を常備し、利用者が自由に閲覧できるようにしている。

⑬ビデオライブラリー

ビデオライブラリーでは2種類の映像公開を行っている。ビデオテープ閲覧コーナーでは314本のビデオテープを常備し、来館者は希望すれば映像を閲覧できる。また、3階の歴史展示室内の詳覧映像や香川県の民俗表示の映像(下記一覧表参照)を自由に選べるタッチパネル操作のモニター画面を設置している。

令和2年3月には、ビデオブース4台のうち2台について、従来のパソコンを用いて映像を再生する方式から、メディアプレーヤーを用いる方式に改め、機器を更新した。

<ビデオライブラリー制作番組一覧>

ジャンル	考古	発掘調査に挑戦 銅鐸絵画の世界 瀬戸内海の2万年 讃岐の古代遺跡
	歴史	讃岐の古代仏教 若き日の弘法大師 空海 菅原道真と讃岐 悲劇の上皇

		崇徳院 志度の玉取り伝説 水主神社の経函 中世の埋納銭 ヤジさんキタさん金毘羅へいく 江戸の科学 寛延の百姓一揆 讃岐三白 香川の近代塩業 戦後の公営住宅 汽車が電車が香川を走る 坂出・宇多津vari ゆく郷土 香川の近代建築1・2
美術		香川の国宝 讃岐のみほとけ
民俗		肥土山農村歌舞伎 安田おどり 坂本念仏踊 滝宮の念仏踊り～雨乞奉納～・～常例奉納～ 櫃石ももて祭 北条念仏踊 綾南の親子獅子舞 庵治締太鼓 祇園座 勅使本村の獅子舞 直島女文楽 虎頭の舞 尺経獅子舞 南川太鼓 家浦二等獅子舞 生里ももて祭 賀茂神社長床神事 さいさい踊 田野々雨乞踊 吉津夫婦獅子舞 和田雨乞踊 綾子踊 神野神社湯立神事(神楽) 蹴鞠 木熊野神社特殊神事 シカシカ踊り 垂水神社湯立神事(神楽) 南鴨念仏踊 弘法大師信仰 讃岐雨乞物語
香川県全域		水とくらし

10. 12 (土)	櫻木拓	『宇宙の日』記念行事「全国小・中学生 作文・絵画コンテスト」の審査	香川県社会福祉センター	8
10. 16 (水)	御厨義道	高松城下町のすがた	香川県社会福祉センター	50
10. 19 (土)	御厨義道	サテライトシンポジウム「瀬戸内の近世城郭」事例報告3「高松城」(特別展開関連事業)	今治市みなと交流センター	140
11. 24 (日)	御厨義道	福祉センターの文化教室事業	かみけ総合リハビリテーション福祉センター	9
11. 26 (火)	御厨義道	第17回 香川県測協スキルアップセミナー 久米通賢の活動について(仮)	サンメッセ香川 2F 大会議室	90
11. 30 (土)	田口 慶太	東山魁夷の生い立ちと、彼の絵画の世界について	四国中央市土居文化会館コーホール	50
12. 10(火)	渋谷 啓一	さぬきの古代史	丸亀城北コミュニティセンター	30
12. 15 (日)	御厨義道	福祉センターの文化教室事業	香川県立ミュージアム	10
R2. 1. 8 (水)	御厨義道	讃岐の大名	香川県立ミュージアム 地下1階講堂	184
R2. 1. 8 (水)	谷川洋朗	日本伝統工芸展	香川県立ミュージアム 地下1階講堂	184
R2. 1. 10 (金)	御厨義道	讃岐の大名	香川県立ミュージアム 地下1階講堂	59
R2. 1. 10 (金)	佐々木 麻衣	日本伝統工芸展	香川県立ミュージアム 地下1階講堂	59
R2. 1. 10 (金)	野村美紀	香川県の独立と中野武宮	観音寺市大野原中央公民館 2階 研修室	37
R2. 1. 21 (火)	渋谷啓一	古代の那珂郡-出土木簡などから考える-	丸亀市生涯学習センター	35
R2. 2. 12(水)	野村美紀	香川県の独立と中野武宮	観音寺共同福祉施設	91
R2. 2. 24 (月)	御厨義道	栗林公園のしられざる歴史と魅力など そうなのか! 栗林公園	岡山後楽園内 鶴鳴館	60

(2) 地域連携活動

①職員の講師派遣

月日(曜)	講師氏名	テーマ・内容	場所	参加者数(単位:人)
4. 6 (土)	田口慶太	アメリカNと瀬戸内に関わるアーティスト 5トークセッション	サンポート高松	100
5. 21 (火)	野村美紀	伊賀小四郎について	綾川町立生涯学習センター	40
5. 23 (木)	上野進	志度寺縁起について	香川県立ミュージアム 研修室	40
5. 26 (日)	渋谷啓一	讃岐氏、時代を動かす	さぬき市大川公民館	65
6. 1 (土)	野村美紀	松平家墓所の調査について	玉藻公園波雲閣大書院	180
6. 27 (木)	渋谷啓一	讃岐の近代医学の萌芽 歴史資料からのアプローチ	香川県立保健医療大学 101講義室	30
7. 26 (金)	御厨義道	令和元年度四国地区社会教育主事講習 「博物館の運営」	香川大学	30
8. 4 (日)	上野進	令和元年度おんろつかさ養成講座 「江戸時代のへんろ」	おんろろ交流サロン	27
9. 19 (木)	櫻木拓	令和元年度青少年健全育成「家庭の日」 作品審査会	香川県庁本館12階第7会議室	6
9. 24 (火)	櫻木拓	令和元年度愛鳥週間ポスター原画 コンクール審査会	香川県庁北館4階 サークル室	7
9. 27 (金)	櫻木拓	令和元年度緑化ポスター原画コンクールの審査	香川県東部林業事務所 会議室	5

②文化財レスキュー(地域の文化資源保全活用)

平成30年度より県文化芸術振興計画が新しく策定され、あわせて当館の中期活動計画も改訂された。文化芸術振興計画中の「文化財や文化遺産の整備保存と積極的な活用」、中期活動計画の「地域の文化資源の掘り起こし・磨き上げ・活用」に沿った活動として以下の活動を実施した。文化財レスキューは、地域の文化資源を保全・活用に含まれる活動として位置付けている。令和元年度は、月1回程度の頻度で、県立ミュージアム、瀬戸内海歴史民俗資料館、生涯学習・文化財課、埋蔵文化財センターの担当職員が集まり、地域の文化資源の保全・活用に関する情報・意見交換を行った。また、生涯学習・文化財課が中心となって策定している香川県文化財保存活用大綱について討論した。(6/28、7/19、8/23、11/22、1/24、3/27)。

月1回程度ずつ、地域資料の所在把握調査のモデル地区とした多度津町において、有志によって行われている合田邸における所在資料の整理作業や活用活動に当館職員も協力した。昨年

度から実施してきた地券内容を整理する活動は、ほぼ終了した。地券内容を記録したカードは、今後合田家の所有地、経済活動等を分析する資料となる。

2018年7月に発生した西日本豪雨災害で被害をうけた地域資料(宇和島市吉田町旧立間町役場文書)を愛媛大学が受け入れ、冷凍保存している。同大学ではこの資料を解凍し、乾燥させる作業に取り組んでいるが、平成30年度に引き続き、当館ボランティア(資料整理グループ)の力を借りて、乾燥作業に用いる新聞紙の裁断作業を行い、愛媛大学に送付した。

瀬戸内海歴史民俗資料館が実施した学校施設・公民館収蔵民俗関連資料の収蔵状況調査の成果に基づき、旧豊島中学校校舎を利用し、民俗資料の展示を実施した。企画・運営の中心を瀬戸内海歴史民俗資料館が担い、県立ミュージアム職員は設営・運営について協力した。

国庫補助事業「津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト」の実行委員に香川県立ミュージアムが加わり、大津波による被災文化財の救済方法に関するワークショップを2月18日(火)・19日(水)の日程で香川県立ミュージアム(地下1階研修室)を会場に開催した。実行委員会は岩手県立博物館を中核館とし、陸前高田市立博物館、別府大学、香川県立ミュージアム、女子美術大学、東京国立博物館、東京藝術大学、昭和女子大学、光荣貴財団法人日本博物館協会、NPO 法人文化財保存支援機構で構成されている。

ワークショップの内容は以下のとおり。

R2.2.18 (火)	講義 東日本大震災から8年	神庭信幸(東京国立博物館名誉館員)
	ワークショップ 水濡れした押し葉標本の応急処置	鈴木まほろ(岩手県立博物館主任専門学芸員)
	質疑応答	司会 神庭信幸
R2.2.19 (水)	陸前高田市立博物館における被災資料救出と安定化処理	浅川崇典(陸前高田市立博物館主事兼学芸員)
	救出された民具の安定化処理—除泥及び脱塩	荒木優(株式会社共立メンテナンス学芸員)・浅川崇典
	アクリル画の安定化処理と課題	土屋裕子(東京藝術大学教授)・齋藤順子・小関那央子(東京藝術大学教育研究助手)

参加者数 21館32名(参加者の募集は、香川県資料館協議会加盟館の他、市町文化財担当部局、県内美術館・文書館に対して行った)

同事業の実施については、産経新聞、NHK 高松、テレビせとうち、瀬戸内海放送、西日本放送の取材が入り、報道された。

ワークショップの開催にあわせ、大津波プロジェクトの活動

を紹介するバナー展示を開催した(2/18~24、1階ロビー、地下1階研修室前)。



ワークショップ



バナー展示

奈良大学文化財学科魚島純一教授(保存科学)の「誰でも実践できる虫害防除のための文化財保管環境の創出に関する実験的研究」(科学研究費助成 基盤研究C)に協力し、多度津町合田邸の蔵、観音寺市ふるさと学芸館において、ビニール製保存袋を使用した保存方法のデータ採取を行った。保存袋に入れることで防虫効果があり、加えて安定した湿度環境を実現できる方法として開発中の技術であり、実地における試用の意味がある。方法が確立されれば、収蔵庫環境を整えることが困難な施設や個人宅でも一定の安全な環境を創出することができるようになる。



保存袋に資料箱を収納する作業

③ボランティア

令和元年度のボランティア登録人数は、18名の新規応募を含め90名（休止13名）であった。

当館ボランティアは、解説、ギャラリートーク、普及、資料整理、分館の5つのグループに分かれて活動している。他のグループへの異動や複数グループへの登録も可能で、グループ別の活動のほか、全グループが参加できる活動も行っている。

令和元年度のボランティア全体に係る活動は次のとおり。

- ・特別展開連ワークショップ補助
「自然に挑む 江戸の超グラフィック—高松松平家博物図譜」
「衆鱗図つり堀」(5月1日(水・祝)・2日(木・休)・12日(日)・26日(日))
「なんちゃって「衆鱗図」を作ろう!!」(5月3日(金・祝)・4日(土・祝)・19日(日))
「チャレンジ!松平家図譜の技」(5月5日(日・祝)・6日(月・休)・25日(土))
「祭礼百態—香川・瀬戸内の「風流」」
「変身仮面—お祭をかぶっちゃおう!」(8月10日(土))
- ・全体会
前年度の活動報告、本年度の活動予定の調整、意見交換(5月18日(土))
- ・ロビー展(令和2年2月18日(火)～3月22日(日))
各グループの活動をパネルで紹介。会場は当館2階ロビー

各グループの活動

*各グループの所属人数については、複数グループの登録者がいるため、合計数が登録実人数90名より多くなっている(各グループの人数は休止を除いている)。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、3月は活動の多くを中止した。

<解説グループ> 18名

3階歴史展示室にて、毎週土曜日の13時30分～16時、および特別展会期中の土・日曜日の13時30分～16時に、希望者を対象に展示解説を実施した。総回数73回、のべ165人が活動し、来館者250組503人に解説を行った。あわせて、夏休み期間中の土・日曜日には、子ども対象に、ワークシート「れきしはかせにチャレンジ!」への取り組みをサポートした。

このほか、毎月1回、第4土曜日を中心に定例会を開き(8月は中止)、活動状況などに関する情報交換を行うとともに、グループ員が持ち回りで興味関心をもったテーマについて研究報告する勉強会を実施し、県内の歴史や民俗等に関する知識を深めた。

<ギャラリートークグループ> 15名

2階常設展示室にて、日曜日の11時00分～12時に、美術に関する展示会の展示内容紹介(ギャラリートーク)を行った。また、特別展「第66回日本伝統工芸展」で展示品解説を行った。活動日数19日間、活動のべ人数38名で、274名の来館者に対

して解説を実施した。

毎月1回、第2土曜日に定例会を開催し、活動計画や活動状況報告、勉強会等を行うほか、館外研修としてイサム・ノグチ庭園美術館(高松市牟礼町)を訪ね知識を深めた(令和元年6月8日実施、9名参加)。

トークを行った展覧会名

- ・常設展 アート・コレクション 描かれた祭(7～9月の毎日曜日11:00～12:00)
- ・特別展「第66回日本伝統工芸展」(1月4日～19日の土日祝日の10:30～12:00)
- ・常設展 アート・コレクション 猪熊弦一郎 色と形の遊び(1月～2月の毎日曜日11:00～12:00)

<普及グループ> 11名

館の各種行事で準備・補助を行うとともに、いくつかの行事を主体となって企画・運営した。主体事業として、ミュージアムワークショップ「高松張子づくり」、キッズワークショップ「立体地図をつくろう—香川県の戦国城あと編—」、「戦争中は何を食べていたの?—すいとん編—」を実施した。それぞれの事業で歴史的背景や作成手順を資料にまとめ、試作会を行うなど、当日の運営までを行った。活動日数は合計10日である。

また、平成17年からミュージアムが実施する調査の一環として、あらかじめ定めた地点から継続的に写真撮影を行い、景観の変化等を記録し資料化する定点観測を実施している。定点観測調査はミュージアム職員と普及グループ員が実施しており、本年度は11月17日に実施した。なお、常設展示1「道具とくらしのうつりかわり」において定点観測結果を用いて平成18年度と元年度を比較するパネル展示を行った。

毎月1回、第3日曜日には定例会を開催し、行事に向けての準備、打ち合わせを行った。

<資料整理グループ> 23名

毎月2回の定例活動日(第1日曜日・第3土曜日)に資料等の整理を行った。歴史資料の整理を行ったほか、全国から発送されてくる博物館・美術館の展覧会チラシや寄贈図書の整理、刊行物の封入作業補助を行った。整理された展覧会チラシは都道府県別にファイリングし、来館者が閲覧できるように整理して2階ロビーに設置した。また、災害で浸水した歴史資料を脱水するために古新聞を切るなど、文化財レスキューの資材作りを行った。

<分館グループ> 37名

活動内容の詳細は分館事業ページに掲載。

④香川県資料館協議会

香川県資料館協議会は、当館が中核館となり、県内市町等の資料館・博物館の各館職員の資質向上のための研修や、情報交

換をはじめ、展示企画・教育普及・調査研究・資料管理にかかる加盟館相互の交流を図るため、年2回の会議・研修等を実施している。令和元年度の加盟館は42館で、事業は以下のとおり。

①第1回会議

月日：令和元年6月12日（水）13:30～16:30
 場所：県立ミュージアム（地下1階研修室）
 参加館：18館28名
 議事：平成30年度事業報告、令和元年度事業計画、各館情報・意見交換
 研修：御厨義道（香川県立ミュージアム）
 「資料の取り扱い（2）―「調書」の作成―」
 視察：県立ミュージアム常設展・歴史展示室

②第2回会議

月日：令和元年11月21日（木）
 場所：観音寺市ふるさと学芸館
 参加館：11館20名
 議事：大津波プロジェクト被災資料安定化処理ワークショップについて、各館情報・意見交換
 視察：観音寺市ふるさと学芸館施設見学（保存袋を使用した防虫および安定した環境創出の試用状況の紹介）

「香川県資料館協議会会則」

（名称）

第1条 本会は、香川県資料館協議会という。

（組織）

第2条 本会は、香川県内の資料館及びこれに類する施設をもって組織する。

（事務局）

第3条 本会の事務局は、香川県立ミュージアムに置く。

（目的）

第4条 本会は、香川県の資料館事業の普及発達を図り、もって地域文化の発展に寄与することを目的とする。

（事業）

第5条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ①資料館相互の連絡及び情報交換
- ②資料の調査、収集、保存、展示などに関する協力
- ③資料館事業に関する研究会、講演会及び講習会などの開催
- ④その他本会の目的達成に必要な事業

（役員）

第6条 本会に、会長1名及び副会長1名を置く。

- 2 会長は、香川県立ミュージアム館長の職にある者をもって充てる。
- 3 会長は、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長があらかじめ指名する。任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期満了後、新役員が選任されるまでは、なお、その職務を行う。役員任期途中において、人事異動その他のやむを得ない事由により退任した場合

合は、当該役員の所属する施設の後任者をもってその任にあてるものとする。この場合の任期は当該役員の残任期間とする。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。

（会議）

第7条 会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 会議は、年2回開催し、別に臨時会を開くことができる。

3 議決を要する事項は、出席会員の過半数で決する。

4 会議を招集するいとまがなく緊急に処理を要する事項は、会長が決する。

（経費）

第8条 事業にともない経費が必要となった場合は、臨時に徴収することがある。

（委任）

第9条 この会則に定めるものの他、本会の運営について必要な事項は、会長が別に定める。

附則

- 1 本会則は、昭和59年5月22日から実施する。
- 2 本会則は、平成10年7月30日に一部改正する。
- 3 本会則は、平成13年4月1日に一部改正する。
- 4 本会則は、平成14年7月18日に一部改正する。
- 5 本会則は、平成20年4月1日から施行する。
- 5 本会則は、平成21年4月1日から施行する。

附則（平成21年4月1日）

上記の規定にかかわらず、平成21年3月31日に監事の職にあるものは、平成21年度決算が承認されるまでその職務を行うこととする。

(3) 普及活動

①ワークショップ

ボランティアが主体的に運営する一般向けの体験講座を1回実施した。

	月日	テーマ	講師	参加者 (申込者)	受講料
1	R2.2.15 (土) R2.2.16 (日)	「高松張子づくり」	当館ボランティア・職員	15人 (18人)	500円

②キッズワークショップ

子どもたちに体験活動を通して、歴史や美術に親しむ機会を提供することを目的として実施した。内容は、調理、工作など。講師は、当館職員やボランティアが務めた。

	月日	テーマ	講師	参加者 (申込者)	受講料
1	7.28 (日)	「立体地図を作ろう —香川県の戦国城あ と編—」	当館ボラン ティア・職員	19人 (76人)	400円
2	8.4 (日)	「戦争中は何を食 ていたの?—すいと ん編—」	当館ボラン ティア・職員	8組18人 (19組46人)	200円

③特別展関連イベント

特別展に関連して、展示解説やワークショップの他、多彩な行事を企画し実施した。特別展「自然に挑む 江戸の超グラフィック」では、講師を迎えてのスペシャルトーク、「祭礼百態」では地域の民俗芸能団体による公演、「日本建築の自画像」では高松市内の建築をめぐるガイドツアーを行った。

	日程	テーマ	講師	参加者 (申込者)	受講料
特別展「江戸の超グラフィック—高松松平家博物図譜—」関連					
1	4.28(日) ・29(月)	スペシャルトーク	三中信宏氏(国立研 究開発法人農業・食 品産業技術研究機 構農業環境変動研 究センター専門員)	約70人 約20人 計約90人	観覧料
2	5.1(水) ・2(木) ・12(日) ・26(日)	ワークショップ 「衆鱈図つり堀」	当館職員・ ボランティア	50人・ 44人・ 20人・ 55人 計169人	100円
3	5.3(金) ・4(土) ・19(日)	ワークショップ「な んちゃって『衆鱈 図』を作ろう!!」	当館職員・ ボランティア	38人・ 36人・ 37人 計111人	200円
4	5.5(日) ・6(月) ・25(土)	ワークショップ「チ ャレンジ!『松平家 図譜』の技」	当館職員・ ボランティア	54人・ 36人・ 60人 計150人	200円
5	4.27(土) ・28(日) ・5.4(土) ・6(月) ・10(金) ・11(土) ・12(日) ・17(金) ・18(土) ・25(土) ・26(日)	ミュージアム トーク (昼4回夜6回パス ポート会員1回)	当館職員	60人・ 15人・ 13人・ 20人・ 6人・ 15人・ 25人・ 10人・ 50人・ 25人・ 35人 計274人	観覧料

第84回香川県美術展覧会関連					
1	6.22(土)	日本画ワークショ ップ「とのっ!でき ました!!衆鱈図 に挑む	香川県美術展覧会 日本画招待作家他	7名	500円
「祭礼百態 —香川・瀬戸内の風流—」関連					
1	8.4(日)	民俗芸能公演「釣東自治会」・ 「東かがわだんじり子供歌舞伎」		120人	
2	8.11(日)	民俗芸能公演「家浦二頭獅子舞」・ 「尺経獅子舞」		100人	
3	8.18(日)	民俗芸能公演「虎頭の舞」・「和藤内獅子」・ 「横内八幡太鼓」		130人	
4	8.25(日)	民俗芸能公演「綾南の親子獅子舞」・ 「立石十二社神社奴組」		100人	
5	9.1(日)	民俗芸能公演「吉津夫婦獅子舞」・ 「牛川獅子組」		130人	
6	9.7(土)	民俗芸能公演「坂元大獅子」		90人	
7	8.10(土)	ワークショップ 「変身仮面 お祭 りをかぶっちゃお う!」	杉本公和氏(造形作 家)	午前の部 8人 午後の部 13人	400 円
8	8.24(土)	ワークショップ 「讃岐のり染め 獅子ゆたん柄の ハンカチづくり」	大川原誠人氏(県伝 統工芸士)・大川原 亜紀子氏	18人	1800 円
9	8.25(日)	現地見学会「滝宮の念仏踊り」・ 「坂元念仏踊り」		25人	
10	8.3(土) ・10(土) ・11(日) ・12(月) ・13(火) ・16(金) ・17(土)3回 ・24(土) ・31(日) ・9.1(日) ・7(土)	ミュージアム トーク	田井静明・ 水野一典氏(香川民 俗学会理事)	20人・ 8人・ 4人・ 6人・ 3人・ 6人・ 6人・ 20人・ 8人・ 15人・ 40人・ 9人・ 5人・ 20人 計184人	観覧料
「日本建築の自画像」関連					
1	9.21(土) ・28(土) ・10.5(土) ・12(土) ・11.2(土) ・9(土) ・10(日)	ガイドツアー 「高松の建築を 歩く」 ①戦後モダニズム コース4回 ②和風建築コース 2回	当館職員 ④は高松市歴史資 料館と共催	2人・ 5人・ 3人・ 9人・ 8人・ 7人・ 10人	各 1000 円

	16(土)・ 23(土)・ 30(土)・ 12.7(土) ・8(日)・ 14(土)	③庭園コース 2回 ④デザインコース 1回 ⑤高松城コース 2回 四国村コース ・明治建築と香川 の石文化 ・四国の原風景をめ ぐる		2人・ 7人・ 2人・ 11人・ 9人・ 7人 計82人	
2	会期日 毎日	ミュージアム トーク	当館職員	計444人	観覧 料
3	11.30(土) 12.1(日)	東京藝術大学 × 「日本建築の自画像」展ワークショップ「自分の居場所を作る」	東京藝術大学職員・学生 当館職員	17人	無料
「第66回伝統工芸展」関連					
1	R2.1.12 (日)	うるしにチャレンジ!	石原 雅員 (漆芸家)	27組54人	1000 円

④講演会

特別展に関連したテーマや話題性の高い魅力的なテーマを設定し講演会やシンポジウムを計8回実施した。

	月日	テーマ	講師	受講者
1	4.29 (月)	「建築における瀬戸内のもの」	・松隈洋氏(京都工芸繊維大学教授) ・青井哲人氏(明治大学教授) ・多田善昭氏(建築家) ・庄子幸佑(香川県建築技師) ・佐藤竜馬(当館学芸課長)	150 人
2	5.11 (土)	「松平頼恭と博物学大名のネットワーク」	今橋理子氏(学習院女子大学教授)	141 人
3	8.11 (日)	シンポジウム 「香川の太鼓台・獅子舞・奴」	・尾崎明男氏(観音寺太鼓台研究グループ代表) ・高嶋賢二氏(伊方町町見郷土館長) ・福持昌之氏(京都市文化財保護課技師) ・水野一典氏(香川民俗会理事) ・コーディネーター 田井静明(瀬戸内海歴史民俗資料館長)	107 人

4	9.1 (日)	「高松石清尾八幡宮祭礼図巻と大坂砂持祭礼図一恒例と臨時の祭礼一」	福原敏男氏(武蔵大学教授)	105 人
5	10.6 (日)	「建築の自画像―丹下健三に至るまで」	藤森照信氏(東京大学名誉教授・東京都江戸東京博物館館長)	210 人
6	10.20 (日)	シンポジウム「瀬戸内建築の魅力語る」	・松隈洋氏(京都工芸繊維大学教授) ・秋元雄史氏(東京藝術大学大学美術館館長) ・宮畑周平氏(瀬戸内編集デザイン研究所代表)	110 人
7	11.17 (日)	シンポジウム「大江宏の建築を語る」	・富永謙氏(法政大学名誉教授) ・種田元晴氏(文化学園大学助教) ・石井翔大氏(法政大学教務助手)	70 人
8	R2. 1.11 (土)	「今右衛門の色鍋島の伝統」	今泉今右衛門氏(重要無形文化財保持者)	217 人

⑤学芸講座

当館学芸員が香川の歴史や古美術、日本美術や西洋美術について、特別展や常設展示のテーマ、調査研究等に関連して講座を13回実施した。

	月日	テーマ	講師	受講者
1	5.19(日)	「松平家図譜の魅力」	鹿間里奈	48人
2	5.25(土)	「博物図譜を作ったお殿様―松平頼恭」	御厨義道	95人
3	8.18(日)	「香川・瀬戸内祭礼百態」	田井静明	64人
4	9.21(土)	「日本のモデルとしての香川県庁舎」	佐藤竜馬	25人
5	9.29(日)	「建築家のまなざし」	日置瑤子	17人
6	10.5(土)	「瀬戸内 間の建築」	住宅課 庄子幸佑	23人
7	10.19(土)	「北方世界の建築 アイヌから近代まで」	佐藤竜馬	23人
8	11.2(土)	「沖繩建築 今昔」	渋谷啓一	29人
9	11.16(土)	「城郭のたどった近代」	信里芳紀	40人
10	11.23(土)	「香川県庁舎南庭のこれから」	建築指導課 大平達也	41人
11	11.30(土)	「民家の屋根」	一柳友子	31人
12	12.7(土)	「建築の根源へ」	佐藤竜馬	43人
13	R2.2.23 (日)	「スーパー・プレゼンテーション プロフェッショナル：博物館で働く魅力」	館長 窪保彦 渋谷啓一 芳澤直起 酒井将年	39人

⑥ミュージアム・コンサート

今年度は「かがわ文化芸術祭」の公演「讃岐八景」（11月17日）にて上演された「オペラ 二十四の瞳」を、香川県立ミュージアムの図書コーナーにて再演した。本コンサートでは、当館3階歴史展示室内の《岬の分教所》にて展示している机・椅子・教卓を舞台装置として使用した。

月日 12月8日（日）

テーマ ミュージアムコンサート オペラ「二十四の瞳」

演奏者 林 里美氏（ソプラノ）、
香川オリーブ少年少女合唱団、
大山 まゆみ氏（ピアノ）、大山 晃氏（指揮）

演奏曲 オペラ「二十四の瞳」

（脚本：山本 恵三、作曲：大山 晃、演出：林 里美）

場所 1階図書コーナー

参加者 60人

3 調査研究事業

調査研究事業は、香川県立ミュージアム規則第2条第3項「資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと」とあるとおり、種々のミュージアム事業を展開していく上でも、その原動力となるものである。

当館では、前身の歴史博物館時代より県内寺社調査や歴史資料の所在確認調査を行い、『調査研究報告』でその成果を公表してきた。また文化会館の美術部門では、県ゆかりの作家・作品の調査を行い、展示に反映させてきた。歴史博物館と美術館の機能が一体となったミュージアムにおいては、更に多角的に調査・研究活動を行い、失われつつある歴史や民俗、先人の残した優れた作品を掘り起こし、本県文化の新たな創造に寄与することを目指している。

(1) 調査研究活動

① 寺社総合調査

令和元年度は善通寺（善通寺市）の資料調査を実施。

○ 善通寺古文書・古記録調査

善通寺総合調査は平成12年度より5カ年計画で開始し、宝物館を中心に諸堂に所在する彫刻、書画、工芸品、古記録類ほか什物の調査を行った。すでにその成果は「特集 善通寺総合調査報告(1)(2)(3)」(『調査研究報告』第2、3、4号/香川県歴史博物館発行)はじめ、平成18年度特別展『創建1200年 空海誕生の地 善通寺』等で公表してきた。

平成18年度より、土蔵内の数万件にのぼる古文書・古記録類の調査を開始し、その成果を『ミュージアム調査研究報告』で継続的に公表してきた。令和元年度は、古文書・古記録類の資料調査を愛媛大学・香川大学ほかの協力を得て実施し、約200件のデータを採取。研究用データとして406件のデジタルカメラによる撮影を行った。

② 収蔵資料の調査研究

収蔵資料について、学術的な意義や歴史的な位置づけ、作家・作品の特徴などを明確にするため、より詳しい調査研究に取り組んだ。

○ 高松松平家博物図譜の総合調査

高松松平家に伝来する4種13帖の「博物図譜」について、自然系人文系に偏らない視点をもちつつ、各専門分野による研究を総合的にすすめるため、本図譜の歴史的文化的な価値を明らかにしようとするものである。令和元年度は昨年度に引き続き、九州国立博物館の協力を得て彩色材料の科学分析調査を実施した。

○ 常設展示開催にかかる調査

常設展示「重要文化財「志度寺縁起絵」一描かれた海辺

の情景 祈りの物語―「ゆかりの品々でたどる 天皇家と高松松平家」「アート・コレクション 描かれた祭」「水戸東照宮祭礼の世界」「城と城下町」「建築家たちの見た風景―写真を通した「まなざし」」「道具とくらしのうつりかわり」「アート・コレクション 猪熊弦一郎 色と形の遊び」「アート・コレクション 絵画と文字×比喩と象徴 メタファーとシンボル」「高松藩家老・木村黙老とその時代」の開催にあたり、収蔵資料等の調査に取り組み、いずれも展示解説シートにその成果を反映させた。

とくに「建築家たちの見た風景」展では、預託されている個人所蔵の写真を調査し、また「絵画と文字×比喩と象徴」展では、館所蔵の美術作品を分野横断で現代美術の流れを考察し、「高松藩家老・木村黙老とその時代」展では、館所蔵の資料の伝来調査を実施した。それぞれの成果を『NEWS』調査研究ノートに掲載した。

③ 資料所在等の確認調査

○ 県内外にある香川県の歴史・美術に関する資料調査

千葉県 東京都 京都府 高松市 丸亀市 善通寺市
さぬき市 小豆島町 綾川町ほか

④ 展示に係る調査

常設展示及び特別展示の開催などに係る調査を次表のとおり、実施した。これらの調査成果によって展示を企画し、館外から資料借用をしたほか、展示図録・解説シート・パネル・ラベルの解説などに反映させた。

展示名	主な調査先
特別展「祭礼百態」	県内各地、大阪府立中之島図書館、大阪城天守閣、大阪天満宮、杭全神社（大阪市）、兵庫県立歴史博物館、赤穂市立歴史博物館、播磨国総社射楯兵主神社、阿間神社（播磨町）、広島県立文書館、広島市立中央図書館、福山城博物館、下関市立歴史博物館、山口市歴史民俗資料館、花岡八幡宮（下松市）、愛媛県歴史文化博物館、宇和島市立伊達博物館
特別展「日本建築の自画像 探求者たちのもの語り」	東かがわ市～さぬき市の草葺屋根家屋、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、四国家博物館、大倉精神文化研究所、東京藝術大学大学美術館、東京都公文書館、東京都慰霊協会、東京都江戸東京博物館、東京都立中央図書館、日本建築学会、防衛省防衛研究所、前川建築設計事務所、マギーズ東京、早稲田大学図書館、川崎市立日本民家園、東御市教育委員会、富士見町井戸尻考古館（長野県）、静岡市登呂博物館、愛知県庁、名古屋市役所、金沢工科大学、大阪城天守閣、大阪市公文書館、奈良県立吉野高等学校、中宮寺、慈光院（奈良県）、法泉寺（岡山県）、広島県立文書館、呉市役所、新勝寺（福山市）、徳島県立博物館・鳥居龍藏記念博物館、神山町（徳島県）、鳴門市文化会館、西条市禎瑞新田、高知県庁、高知市役所、高知工科大学、大豊町、豊楽寺（高知県）
常設展「重要文化財「志度寺縁起絵」―描かれた海辺の情景 祈りの物語り―」	志度寺
常設展「ゆかりの品々でたどる天皇家と高松松平家」	（公財）松平公益会
常設展「水戸東照宮祭礼の世界」	徳川博物館、水戸東照宮
常設展「高松藩家老・木村黙老とその時代」	鎌田共済会郷土博物館
次年度以降特別展、常設展	東京文化財研究所、東京藝術大学大学美術館、島根県立美術館、久留米市立美術館 個人（東京都）、神奈川県相模原市、金沢市、鳥取県、

⑤レファレンス等による調査

一般的には図書館業務として知られるレファレンスサービスであるが、当館においても、歴史・民俗・美術と取り扱う分野が幅広く、当館がもつ専門性を利用者に提供する機能としても重要な業務である。当館利用者の多くは展示観覧者であり、展示資料や作品に関する質問が日々寄せられ、展示案内員や学芸課職員が対応したその

内容は日報に記録される。また、収蔵資料などの特別利用に関する質問も多くあり、「香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗に関する資料利用要綱」の規定に基づいて対応している（4 資料の収集・整理・保管事業（4）資料の特別利用）。

開催中の展示内容や展示品及び特別利用にかかわる質問のほかを、本項における「レファレンス」として取扱っている。各レファレンスの内容はメモに記録し課内での引継ぎを確実にし、迅速に回答するように努めている。レファレンスには、質問のほか、寄贈・寄託の希望、調査依頼などがあるが、レファレンスを通じて価値ある資料や資料情報の把握に至る例も少なくない。

i) レファレンス対応

レファレンスは資料の特別利用にかかわるものをのぞき、内容に応じて「質問」「寄贈・寄託希望」「調査依頼」「資料情報」「その他」の5項目に分けて記録している。令和元年度のレファレンス対応記録は56件であった。例年同様「質問」が最も多い。内容は一般的なものから専門的なものまで幅広くあるが、専門性を要する質問については各専門分野の担当者の協力を得て回答には精度を保つようにしている。民俗にかかわる質問については分館・瀬戸内海歴史民俗資料館への照会も行うなどしている。

＜令和元年度レファレンスの内容別件数＞

項目	件数
質問	44
寄贈・寄託希望	4
調査依頼	2
資料情報	3
その他	3

合計 56 件

※このうち、ホームページ「質問コーナー」を利用したレファレンスは5件。

ii) 資料の寄贈・寄託の申し出に伴う調査

令和元年度には、レファレンスとして寄贈・寄託の申し出が寄せられたのは4件であった。資料（作品）の寄贈・寄託の申し入れについては「香川県立ミュージアムの歴史、芸術及び民俗に関する資料収集要綱」「同要領」に基づき、資料の概要や性格などの基本情報を踏まえて、原則は現物資料のコンディションを実地調査によって把握し、収蔵後の活用価値などを見極めて対応している。

iii) 自治体・他機関などからの依頼

このほか、以下の機関から依頼を受けて、調査または調査指導・助言などを行った。

- ・香川県教育委員会生涯学習・文化財課
- ・坂出市史編さん所
- ・さぬき市教育委員会生涯学習課

⑥他機関との共同研究

i) 共同研究・分担など

○上野進・御厨義道・渋谷啓一

基盤研究(B) (一般) 研究課題名「四国遍路の学際的総合研究―地域資料によるその実態解明と国際比較―」(研究代表者 愛媛大学 寺内浩)

ii) 自治体や他機関からの委嘱など

野村美紀

- ・坂出市史編さん調査委員
- ・三豊市公文書等管理委員会委員

御厨義道

- ・坂出市史編さん調査委員

渋谷啓一

- ・坂出市史編さん調査委員

上野進

- ・坂出市史編さん調査委員

芳地智子

- ・坂出市史編さん調査委員

⑦各種研修の受講

博物館事業の充実と質の向上に努めるため、以下の研修等に職員を派遣した。

5.20～21 令和2年度四国地区博物館協議会総会(香川県立ミュージアム) 森格也・佐藤竜馬・上野進ほか

6.20 公開承認施設担当者会議

6.21 国宝・重要文化財防災防犯対策研修会

(文部科学省<主催:文化庁>)

野村美紀

7.10～12 第8回全国歴史民俗系博物館協議会研究集会

(北海道博物館)

谷川洋朗

9.4～5 ICOM2019 京都大会、全国博物館大会(主催:日本博物館協会)

御厨義道

10.6～11 文化庁指定文化財企画・展示セミナー(九州国立博物館)

一柳友子

10.31 美術館連絡協議会総会(よみうり大手町ホール)

佐藤竜馬・鹿間里奈

10.28～29 第26回大名道具収蔵館研究会(高知県高知城歴史博物館)

御厨義道

R2.1.30～31 日本博物館協会研究協議会(徳島・大塚国際美術館)

窪保彦 酒井将年

(2) 成果物公表

①研究成果の公表

i) 『ミュージアム調査研究報告 第11号』の刊行
(*館外研究者)

目次

・四国新道構想具体化までの道のり

―大久保謙之丞関係資料の調査報告― 松村祥志
資料翻刻「国道開鑿雑書」「南海道路開鑿雑誌」
大久保家資料目録(CD-ROM)

・善通寺調査(11)

善通寺文書調査について(10)

善通寺文書目録(CD-ROM)

・高松藩朝敵事件をめぐる資料について 御厨頼道

・五疋の子供が描かれた薬広告

―広告デザインと広報戦略― 長井博志(*)

・瀬戸内海の手練りゴチ網漁について 真鍋篤行

・衆鱗図と衆鱗手鑑 鹿間里奈

ii) 特別展図録の刊行

○『自然に挑む 江戸の超グラフィック 高松松平家博物図譜』

○『祭礼百態―香川・瀬戸内の「風流」』

○『日本建築の自画像―探求者たちのもの語り―』

iii) 展覧会記録集の刊行

・『「自画像」は、どう探求されたか―特別展「日本建築の自画像 探求者たちのもの語り」記録集―』

iv) 論文・報告・紹介など

※以下の公表業績にかかる掲載事項は、すべて各人の申告による。

〈学術的著述〉

佐藤竜馬

・「コラム1 塩飽大工の近代」、「コラム3 「建築哲学」に始まるもの」、「コラム4 二つの「日本文化私観」、「コラム6 なぜ長野県で復元が盛んだったか」、「コラム8 大東亜建設忠霊神域計画を構想地から眺める」、「コラム11 香川県庁舎南庭の設計プロセス」、「コラム13 日本のモデルとしての香川県庁舎」、「コラム14 ピロティの役割 「前川建築」と「丹下建築」の間」、「コラム19 金属板葺の民家」、「コラム22 民家型構方覚え書き」、「コラム25 直島 リサーチからプランへ」(聞き取り)、「コラム29 聞き書きコープタウン松が谷」、ほか章解説、作品解説(図録『日本建築の自画像―探求者たちのもの語り―』R元.12.5)

信里芳紀

・「コラム7 近世城郭が迎えた近代」、「コラム17 山寺の立地と建築の多様性」、「コラム23 首里城の保存と鎌倉芳太郎」、「コラム28 坂出人工土地と土地の履歴」

ほか作品解説 (図録『日本建築の自画像—探求者たちのもの語り—』R元.12.5)

御厨義道

・「松平頼恭—高松松平家博物図譜を創った藩主—」ほか章解説、作品解説 (図録『自然に挑む 江戸の超グラフィック 高松松平家博物図譜』H31.4.26)

渋谷啓一

・「コラム5 大倉桑馬と伊曾乃神社」、「コラム21 来訪者を土地に根付かせる民家」、「コラム24 名護市庁舎に流れ込む「伝統」」ほか9-2、10-1、10-2章解説、作品解説 (図録『日本建築の自画像—探求者たちのもの語り—』R元.12.5)

上野進

・「讃岐国白峯寺の成立と展開—中世～近世初期における地方顕密寺院の動向—」(『戦国・近世初期 西と東の地域社会』岩田書院、R元.6.)

・「作品解説」(図録『祭礼百態』第2章 R元.8.20)

・「四国遍路と札所寺院—香川県の札所寺院調査から—」(『四国遍路と世界の巡礼』5 愛媛大学法文学部附属四国遍路・世界の巡礼研究センター R2.3.25)

・「神恵院・観音寺の歴史」(『四国八十八ヶ所霊場第六十八・六十九番札所 神恵院・観音寺調査報告書 第2分冊』香川県・香川県教育委員会、R2.3.31)

一柳友子

・「コラム20 民家たちのもの語り」、ほか作品解説 (図録『日本建築の自画像—探求者たちのもの語り—』R元.12.5)

鹿間里奈

・「超グラフィック—高松松平家博物図譜—」ほか章解説、作品解説 (図録『自然に挑む 江戸の超グラフィック 高松松平家博物図譜』H31.4.26)

〈普及的著述 (館内)〉

田口慶太

・「調査研究ノート vol.31 絵画と文字×比喻と象徴—メタファーとシンボル—」NEWS47号

・「アート・コレクション 絵画と文字×比喻と象徴 メタファーとシンボル」常設展示解説シート109

野村美紀

・「ゆかりの品々でたどる天皇家と高松松平家」常設展示解説シート104

御厨義道

・「城と城下町」常設展示解説シート106

上野進

・「修理完成記念特別公開 重要文化財「志度寺縁起絵」—描かれた海辺の情景 祈りの物語—」常設展示解説シート103

・「調査研究ノート vol.32 木村黙老のファミリーヒストリー—黙老ゆかりの資料を求めて—」NEWS第48号

・「高松藩家老・木村黙老とその時代」常設展示解説シート110

藤田順也

・「道具とくらしのうつりかわり」常設展示解説シート108

日置瑤子

・「調査研究ノート vol.30 建築家と写真」NEWS第46号

・「建築家の見た風景—写真を通した「まなざし」—」常設展示解説シート107

高嶋良子

・「ミュージアムガイダンス 県立ミュージアムとオニノコプロダクションの挑戦」NEWS第45号

佐々木麻衣

・「水戸東照宮祭礼の世界」常設展示解説シート105

〈普及的著述 (館外)〉

以下、香川経済研究所『調査月報』は『調査月報』、『産経新聞』ミュージアムカフェは『産経MC』、『四国新聞』掲載の特別展作品紹介は『四国』作品紹介、『四国新聞』ディープKAGAWAは『四国DK』、『朝日新聞』掲載第66回日本伝統工芸展作品解説は『伝統解説』と略す。

佐藤竜馬

・「建築における瀬戸内のなもの」を考える(『四国DK』R元.5.24付)

・「日本建築の自画像(1)・(4)・(7)」(『四国DK』R元.9.6、9.27、10.18付)

田口慶太

・「絵画と文字×比喻と象徴 メタファーとシンボル」(『調査月報』395号 R2.2.3)

・「籃胎蒔醬箱「さくら」」(『伝統解説』(1) R2.1.4付)

野村美紀

・「天皇と松平家(上)・(中)・(下)」(『四国DK』R元.5.31、6.7、6.14付)

・「和歌色紙 久瀨宮良子女王筆」(『調査月報』387号 R元.6.3)

信里芳紀

・「日本建築の自画像(2)・(3)・(5)・(6)」(『四国DK』R元.9.13、9.20、10.4、10.11付)

・「日本建築の自画像 探求者たちのもの語り」(『調査月報』392号 R元.11.1)

御厨義道

・「高松松平家博物図譜と五代藩主頼恭」(『産経MC』R元.5.10付)

・「栗林古図」(『四国』作品紹介 R元.5.16付)

渋谷啓一

・「日本建築の自画像(8)」(『四国DK』R元.10.25付)

上野進

・「修理終えた志度寺縁起絵」(『産経 MC』R 元.5.17 付)

藤田順也

・「お殿様の飽くなき好奇心」(『産経 MC』R 元.5.3 付)

櫻木拓

・「香川県美術展覧会 (1)・(2)・(3)・(4)」(『四国 DK』R 元.6.21、6.28、7.5、7.12 付)

・「堆漆象嵌蝦夷之小箆笥」(『伝統解説』(6) R2.1.13 付)

谷川洋朗

・「籃胎蒟醬油水指「黎明」」(『伝統解説』(4) R2.1.8 付)

・「蒟醬草花文八角箱」(『伝統解説』(5) R2.1.10 付)

一柳友子

・「猪熊弦一郎《ニースの女》」(『調査月報』396号 R2.3.2)

・「彩切貝蒔絵乾漆笥「月の韻」」(『伝統解説』(3) R2.1.6 付)

鹿間里奈

・「江戸の「超」グラフィック」(『産経 MC』H31.4.26 付)

・「江戸の超 (スーパー) グラフィック (上)・(中)・(下)」(『四国 DK』R 元.5.3、5.10、5.17 付)

・「春毎月「衆鱗図 第三帖」」(『調査月報』386号 R 元.5.7)

・「鯨「衆鱗図 第一帖」より」(『四国』作品紹介 R 元.5.9 付)

・「夏ミカン・スタヂ『衆芳画譜 花果 第五』」(『四国』作品紹介 R 元.5.23 付)

・「青白磁長皿「汀」」(『伝統解説』(9) R2.1.17 付)

日置瑤子

・「建築家のまなざし」(『調査月報』390号 R 元.9.2)

・「有線七宝花器「下萌」」(『伝統解説』(8) R2.1.15 付)

高嶋良子

・「アート・コレクション 猪熊弦一郎 色と形の遊び」(『調査月報』393号 R 元.12.2)

・「青白磁刻文花瓶」(『伝統解説』(7) R2.1.9 付)

佐々木麻衣

・「山装う蒟醬箱」(『伝統解説』(2) R2.1.5 付)

〈自治体史編纂〉

野村美紀 ほか共同執筆

・『坂出市史 通史 下 近代篇』

・『坂出市史 通史 下 現代篇』(坂出市史編さん所 R2.1.)

〈口頭発表〉

佐藤竜馬

・「中世の港湾施設をめぐって」(中世学研究会準備会研究報告 R2.2.14 上智大学)

上野進

・「江戸時代のへんろ」(さぬき市観光協会 R 元.8.4 おへんろ交流サロン)

芳地智子

・「久米通賢による坂出塩田構想の変遷 一文政・天保期

の再開地割図から」(日本科学史学会第 66 回年会 R 元.5.26 岐阜大学)

・「江戸時代の科学技術者久米通賢 一天体を観る・海岸を測る・塩田を開く」(第 31 回「測量の日」記念講演会 R 元.5.30 JR ホテルクレメント高松)

②刊行物

i) 香川県立ミュージアム展覧会スケジュール

平成 31 年度 (令和元年度) に開催する展示情報を掲載。館内で配布するほか、県内の博物館・資料館、文化・教育施設や、全国の関係機関に配布した。

・2019.4~2020.3(H31.4~R2.3)

A2 変形判屏風折 カラー刷 50,000 部

ii) 常設展示解説シート 各 2,000 部または 3,000 部
平成 31 年度 (令和元年度) に開催の常設展示に関する内容を紹介した解説シートを展示ごとに印刷、発行した。

規格は A3 判・2 ツ折、カラー刷・モノクロ刷 (展示タイトル、内容については II-1(2) 常設展示の項参照)

iii) 特別展解説シート・パンフレット等

・「第 84 回香川県美術展覧会」目録

A3 三枚継 (A2+A3) カラー 両面 8,500 部

・「第 66 回日本伝統工芸展」パンフレット

A4 判カラー 8 ページ 7,000 部

iv) 図録等(展覧会・その他)

・「自然に挑む 江戸の超グラフィック—高松松平家博物図譜—」A4 横版 全カラー 128 ページ

1,400 冊 平成 31 年 4 月 26 日発行

・「祭礼百態—香川・瀬戸内の『風流』」A4 縦版 全カラー 170 ページ 1,200 冊 令和元年 8 月 20 日発行

・「日本建築の自画像—探求者たちのもの語り—」変形 B5 版 巻頭カラー 24 ページ 本文白黒 370 ページ 3,000 冊 令和元年 12 月 5 日発行

v) 特別展『日本建築の自画像—探求者たちのもの語り—』記録集「自画像」は、どう探求されたか

A4 横版 冒頭カラー・白黒 114 ページ 1,000 冊 令和 2 年 3 月 27 日発行

vi) 香川県立ミュージアム NEWS

A4 判カラー 8 ページ

・第 45 号(夏号) 令和元年 6 月 14 日発行 5,000 部

・第 46 号(秋号) 令和元年 8 月 9 日発行 7,000 部

・第 47 号(冬号) 令和元年 11 月 13 日発行 3,000 部

・第 48 号(春号) 令和 2 年 3 月 10 日発行 5,000 部

vii) ミュージアム調査研究報告 第 11 号

A4 判 120 ページ・CD-ROM 付 650 冊

令和 2 年 3 月 31 日発行 (再掲)

4 資料の収集・整理・保管事業

香川県の歴史および文化、芸術を理解するうえで必要な資料を収集し、体系的に整理し、保存のために必要な処置を行い、最適な条件で保管することは博物館の最も基本的な機能である。

当館では「香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗に関する資料収集要綱」に基づき、歴史、芸術及び民俗に関する実物のほか、標本・模写・文献・図表・写真・フィルム・レコード等多岐にわたり、購入・寄贈・寄託等の方法で資料を収集している。寄贈や寄託の申し入れがあった資料については、調査に出向いて、資料を預かり、調査・整理作業の結果、収蔵すべきであると判断されたものについて手続きを行う。受け入れ後は殺虫処理をし、引き続き詳しい調査研究・整理を行って資料目録を作成し、順次、館蔵品データ検索システムに登録、また『収蔵資料目録』に掲載し、県内外の関係機関に配布し、展示をはじめ、館外からの特別利用に応じる等、収蔵資料の公開活用を行っている。

資料収集状況（令和2年3月末現在）

	平成30年度 末まで	令和元年度 手続分	合計
購入	22,228	166	22,394
寄贈	202,708	351	203,059
寄託	54,058	1	54,059
移管・その他	40,659	0	40,659
合計	319,653	518	320,171

(1) 資料収集活動

①購入資料	計 8件 166点
石井磬堂作堆朱硯箱 菊鳳凰之図	1件 1点
軍人会館競技設計図集	1件 1点
小林萬吾旧蔵資料	1件 159点
建築関係図書資料	5件 5点

②寄贈資料	計 340件 351点
池田利枝資料	24件 24点
池田文明資料	29件 37点
三野伸子資料	2件 2点
六車健資料	2件 2点
山下靖人資料	1件 1点
小森秀雲資料	5件 8点
横井信子資料	2件 2点

篠原充資料	273件 273点
松田房徳資料 (4)	2件 2点

※掲載の順序は、手続き順による

③寄託資料	1件 1点
上松徹資料	1件 1点

④移管・その他	なし
----------------	----

⑤文献資料の収集

文献資料は、調査研究をはじめ展示や学習支援事業をより豊かなものにするために必要不可欠なものである。事典、辞書、香川県に関する地方史誌、史料集、芸術・美術に関する書籍などを中心に収集している。また、最新の研究動向の情報を収集するため、学術雑誌を逐次購入している。全国の博物館や美術館、研究機関が刊行する図録、紀要、事業報告、広報誌も交換、恵与により収集を続けている。

- ・逐次刊行物など受付冊数 2,907冊
- ・購入雑誌

月刊文化財、季刊考古学、日本歴史、日本史研究、古文書研究、歴史評論、歴史学研究、史学雑誌、國華、ミュゼ、芸術新潮、美術手帖、MUSEUM、文化財発掘出土情報、木簡研究、美術大鑑

(2) 資料整理保管活動

①収蔵資料管理システム

平成26年度に、早稲田システム開発(株)の「I.B.MUSEUM SaaS」を導入し運用することで、収蔵品についての情報の一元管理をしている。これにより、職員各自に配備されたPCによる操作が可能となり、データの入力・整備や収蔵品の検索などに利用されている。

【データベースの内容】

- ・収蔵資料の管理
収蔵資料について、名称・年代・法量・資料内容・画像から、収蔵場所・所蔵、時系列で記録される展示・貸出・修理などの履歴など、その資料・作品に係るほとんど一切の情報を一元的に登録している。資料・作品の管理のみならず展示準備等でも利用される。
- ・図書、視聴覚資料、アルバムの管理
資料・作品だけでなく、館蔵の図書データ入力も進めている。他にもビデオ、フィルムなどの視聴覚資料、写真アルバムの管理も可能であり、順次進めていく予定である。
- ・一般公開のデータについて

収蔵資料のデータベースは、インターネット公開機能を利用し、館のHPにリンクを貼ることで公開している。検索はキーワードのほか、歴史資料では資料群、美術作品では作家ごとの一覧から選択することもでき、資料の基本情報（名称、数量、時代、寸法、概説、画像等）を閲覧することができる。データの公開は画像・解説文等公開のための条件を満たした資料・作品について、漸次進めている。

②虫菌害対策

i) 資料等の殺虫・殺菌処理

収集した資料や借用した資料は、必要がある場合、一時保管庫に搬入、仮収蔵し、適期に殺虫・殺菌した後、収蔵庫へ搬入、また展示等に活用している。

今年度は、業者委託による二酸化炭素を用いた殺虫処理を写真撮影室にて2回実施した。第1回は、5月8日～24日まで、30 m³ (w=3m、d=5m、h=2m)のテントを仮設し、収蔵資料を対象に実施とした。第2回は、7月10日～26日まで、54 m³ (w=3m、d=9m、h=2m)のテントを仮設し、特別展「祭礼百態」展示資料対象に実施した。なお、小規模な二酸化炭素殺虫処理は、職員により実施した。

ii) モニタリング

展示室、収蔵庫等、館内数ヶ所に粘着トラップ等を設置し、定期的に観察して館内における生物発生状況を調査している。

また、収蔵庫・展示室を中心とした館内各所について、年間3回（7月、10月、令和2年1月）の虫・カビ調査、および年間7回（5月、6月、8月、9月、11月、12月、令和2年2月）の虫の生息調査を、専門業者に委託して実施した。

(3) 館外特別利用状況

① 貸出利用

番号	資料名	点数	利用者	目的	貸出期間
1	猪熊弦一郎「葉をくわえた女」	1	石川県立美術館	脇田和と猪熊弦一郎～モダンの展開～	H31.4.9～ R元.6.21
	猪熊弦一郎「絵を描くN氏」	1			
	猪熊弦一郎「ニースの女」	1			
	猪熊弦一郎「月と猫達」	1			
	猪熊弦一郎「太陽の環境」	1			
	猪熊弦一郎「秩序と町」	1			
	猪熊弦一郎「風景PB」	1			
	猪熊弦一郎「四つの隣人」	1			
	猪熊弦一郎「赤い大きな美しい色面」	1			
	猪熊弦一郎「違った形象の集落」	1			
	猪熊弦一郎「都市の中の黒い三角」	1			
	猪熊弦一郎「指の遊び」	1			
	猪熊弦一郎「鳥たちの朝」	1			
	猪熊弦一郎「顔のドラマ」	1			
2	秋山泰計「牛市(B)」	1	高浜市やきもの里かわら美術館	平面→立体→カラクリ展 ー秋山泰計の世界ー	R元.6.13～ R元.9.27
	秋山泰計「ロゼオ」	1			
	秋山泰計「佛誕」	1			
	秋山泰計「Venus(ヴァーナス)誕生」	1			
	秋山泰計「Uzoo(渦)」	1			
	秋山泰計「Yaoyorozoo(八百萬)」	1			
	秋山泰計「Zoological Cameo」	1			
	秋山泰計「Casa de zoomorphismo」	1			
	秋山泰計「夢の旅(群鳥)」	1			
	秋山泰計「夢の旅(象・鬼牡丹)」	1			
	秋山泰計「夢の旅(富士見逆さま)」	1			
秋山泰計「おびからくり」「真鯛・黒鯛」ほか	136				
3	水車模型	1	高松市香南歴史民俗郷土館	水と生きる一水を活かす道具たちー	R元.7.2 ～ R元.9.25
	道具箱	1			
	水車部品 軸心	1			
	水車部品 曲部	5			
	水車部品 格子部	3			
	水車部品 歯車	1			
4	香川日日新聞	1	東かがわ市歴史民俗資料館	帝国海軍の至宝 極端 久利雄	R元.7.11～ R元.10.8
5	大藪雅孝「瀬戸の朝明」	1	だて歴史文化ミュージアム	大藪雅孝展「アトカタ」	R元.7.19～ R元.9.30
	大藪雅孝「大師の恵」	1			
6	石井馨堂「狭貫彫 堆朱料紙文庫 菊桐鳳凰之図」	1	香川県漆芸研究所	石井馨堂・音丸耕堂展	R元.7.27～ R元.8.21
	石井馨堂「狭貫彫 堆朱硯箱 菊桐鳳凰之図」	1			
	音丸耕堂「彫漆 紅花緑葉 料紙文庫」	1			
	音丸耕堂「彫漆 紅花緑葉 硯箱」	1			
	音丸耕堂「堆黒 游蟹図 料紙文庫」	1			
	音丸耕堂「堆黒 游蟹図 硯箱」	1			
	音丸耕堂「彫漆溪の秋手箱」	1			
	音丸耕堂「彫漆菊水指」	1			
	音丸耕堂「彫漆延齢草手箱」	1			
7	高松藩飛龍丸船明細切絵図 惣図【香川県指定有形民俗文化財】(高松松平家歴史資料)	1	愛媛県歴史文化博物館	瀬戸内ヒストリーー芸予と備讃を中心にー	R元.8.20～ R元.12.28
8	小林萬吾「渡舟」	1	島根県立美術館	黄昏の画家たちー近代絵画に描かれた夕日・夕(巡回)	R元.8.25～ R元.11.8
9	(ポスター) 第4回香川県写真・デザイン展覧会	1	高松市歴史資料館	心を豊かにするデザインー讃岐モダンへのあゆみー	R元.9.1～ R元.11.12
	(ポスター) 香川県第8回写真・第5回デザイン展覧会	1			
	(ポスター) 香川県第9回写真・第6回デザイン展覧会	1			
	(ポスター) 香川県第10回写真・第7回デザイン展覧会	1			
	山田正照「村のお巡りさん」	1			
	西岡優「鳩」	1			
	和田邦坊「韋駄天」	1			
	剣持勇「県立体育館木製丸椅子」	2			
剣持勇「椅子(スタッキング)」	2				
10	小林萬吾「渡舟」	1	神戸市立小磯記念美術館	黄昏の画家たちー近代絵画に描かれた夕日・夕(巡回)	R元.11.8～ R2.2.14
11	太刀 銘 真守造【重要文化財】(高松松平家歴史資料)	1	春日大社国宝殿	最古の日本刀の世界 安綱・古伯着展	R元.12.4～ R2.3.10
12	谷文晁「香爐山金碧山水図」(高松松平家歴史資料)	1	高松市歴史資料館	墨景礼讃～山水に遊ぶ～	R2.1.21～ R2.3.18
	長町竹石「五剣山図」(高松松平家歴史資料)	1			
	長町竹石「小養秋晚図」	1			
	谷文晁(画)柴野栗山(賛)「富士図」(高松松平家歴史資料)	1			
	長町竹石「讃岐名勝図屏風」	3			
	長町竹石「富士図」	1			
13	太田儔「籠胎蒔藪 春想 色紙箱」	1	香川県漆芸研究所	籠胎蒔藪の世界 太田儔展	R2.2.19.～ R2.3.24
	太田儔「籠胎蒔藪 盛器「熱帯魚」」	1			
	太田儔「籠胎存清短冊箱「昼顔と虫」」	1			
	太田儔「籠胎蒔藪手箱「ほおずき」」	1			
	太田儔「籠胎蒔藪茶器「露虫」」	1			
	太田儔「籠胎蒔藪茶箱「春風」」	1			

②閲覧利用

番号	資料名	利用者	目的
1	太刀 銘 真守造【重要文化財】(高松松平家歴史資料) 1件1点	春日大社	平成31年末に春日大社国宝殿にて開催「日本刀の源流 安綱・古伯耆展」に関連する資料調査のため
2	香川日日新聞(渡瀬一郎資料)、アルバム(入船直三郎資料)等 3件3点	東かがわ市歴史民俗資料館	東かがわ市歴史民俗資料館特別展「帝国海軍の至宝 極端久利雄」開催に伴う資料調査のため
3	軍司令部許可済 陸軍特別大演習(特製)(家傳膏藥安藤道啓堂資料(2))、書状(讃岐習俗参考館資料)ほか、全6件6点	個人	大正11年陸軍特別大演習と地域社会の関わりについて調査研究するため
4	香爐山金碧山水図(高松松平家歴史資料)、月下観瀑図(平成9年度購入資料)ほか、全11件11点	高松市歴史資料館	高松市歴史資料館企画展にかかるとる資料調査のため
5	(ポスター) 香川県第8回写真・第5回デザイン展覧会 1件1点	高松市歴史資料館	高松市歴史資料館企画展にかかるとる出品資料の撮影のため
6	賀茂神社文書、笏、扇 等 3件218点	立命館大学文学部	三豊市仁尾地域及び賀茂神社の史料調査のため
7	宗門改帳(佐伯家文書) 等 149件151点	個人	宗門改帳の分帳形態化・記載様式の研究に係る資料調査のため
8	太刀 銘 元重【重要文化財】(高松松平家歴史資料) 1件1点	公益財団法人日本美術刀剣保存協会	月刊誌『刀剣美術』『名刀鑑賞』に掲載する押形採取のため
9	変形神獸鏡(石清尾山石船塚古墳出土・文化庁蔵)、ほか、全3件3点	島根大学法文学部	科研費基盤研究B『器物の「伝世」・「長期保有」・「復古再生」の実証的研究と倭における王権の形成・維持』にかかるとる研究のため
10	十二首和歌絵屏風、源氏物語画帖(高松松平家歴史資料)ほか、全7件10点	和泉市久保惣記念美術館 館長 河田昌之	令和2年度特別展「土佐派と住吉派ーやまと絵の展開と流派の個性」にかかるとる資料調査のため
11	田畑免斗代覚帳(新延家文書) 等 6件6点	大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館	科学研究費補助金基盤研究(B)に関わるとる資料調査のため
12	彩色蒔醬料紙硯匣(玉椿象谷作) 等 2件3点	株式会社 日経映像	文化庁工芸技術記録映画「蒔醬 ー 山下義人のわざ ー」にて、蒔醬の歴史や山下義人氏の作品を紹介するため
13	日記(多度津藩政資料) 50件50点	東京大学 地震火山史料連携研究機構	歴史資料による安政南海トラフ前後の有感地震の調査
14	さぬきの道者一円日記(ポジフィルム・原資料は冠纒神社所蔵) 1件1点	同朋大学仏教文化研究所	中近世における伊勢御師の経済活動についての研究のため
15	讃岐国高松領拾式万石郷帳(写)(高松松平家歴史資料) 1件1点	個人	近世における郷村の石高変遷についての研究のため

③画像利用

番号	資料名	利用者	目的	
1	松平頼聰像(高松松平家歴史資料)、小夫兵庫正容肖像画、高松藩知事任命書、絵葉書、紀元二千六百年 林田村 記念写真帖(3点)、上海事変出動記念、国民精神総動員ポスター「堅忍持久」、(レコード)「支那事変国民精神総動員/我々国民ノ覚悟」、後証綴、新嘉坡陥落記念写真帖、防空頭巾、「主婦之友」第28巻第7号 7月号、あたらしい憲法のはなし	坂出市史編さん所	『坂出市史通史 下』への掲載	掲載
2	『高松藩主松平家墓所調査報告書』より、「初代頼重墓(1)正面」、「3代頼豊墓(2)正面」「3代頼豊墓(2)南東より」「4代頼恒墓(8)正面」「6代頼真墓(22)正面」「7代頼起墓(12)正面」「8代頼儀墓(14)正面」「11代頼聰墓(19)正面」「12代頼壽墓(20)正面」「初代正室万墓(5)正面」「2代正室松墓(4)正面」「8代正室藤墓(18)正面」「元祖上人塔(7)正面」「染信院墓(15)正面」「高井角右衛門墓(23)正面」「法津院墓(26)正面」「芳梢院墓(33)正面」「釈迦如来像(37)正面」「勝乘院墓(56)正面」「房墓(69)正面」「多宝塔(79)正面」「竹松墓(82)正面」「轍之助墓(106)正面」(画像提供)	高松市教育委員会	「高松藩主松平家墓所国指定史跡指定記念シンポジウム」のポスター・チラシ掲載	掲載
3	龍集説考、筐底秘記、聞まゝの記総目録(以上、高松松平家歴史資料)、アイヌ図	個人	論考「木村黙老の蔵書目録攷」での掲載	掲載
4	猪熊弦一郎「顔のドラマ」	石川県立美術館	「脇田和と猪熊弦一郎〜モダンの展開〜」展にかかるとる広報として新聞、テレビ、雑誌、看板等の広報媒体への掲載	掲載

5	小林萬吾「渡舟」	島根県立美術館	「黄昏の絵画たち—近代絵画に描かれた夕日・夕景」展図録に掲載するため	掲載
6	秋山泰計「ロデオ」、「Casa de zoomorphismo」、「佛誕」、「赤鯛・黒鯛」、「緋鯉から真鯉」、「白菜・豹」、「兎・マンドリル」、「秋山泰計アルバム・写真」	高浜市やきものの里かわら美術館	企画展「平面→立体→カラクリ展 —秋山泰計の世界—」のチラシおよびポスター掲載	掲載
7	象山靈宝録、書状	さぬき市教育委員会	さぬき市文化財保護協会総会に伴う記念講演会での軒原庄蔵の功績を紹介	掲載
8	衆鱗図(第1帖、第3帖)(高松松平家歴史資料)	個人	「日本動物分類学会第55回大会」の口頭発表使用	その他(パワポ)
9	弘法大師像(善通寺御影)	山陽放送	四国遍路を紹介するテレビ番組で使用	放映
10	火縄銃 銘 日本清堯(高松松平家歴史資料)、(全体、部分拡大)	株式会社 天夢人	雑誌「週刊 日本刀」(デアゴスティーニ刊)7号掲載	掲載
11	展覧会「秋山たいけいのからくり」報告書より、「変形の過程画像」	高浜市やきものの里かわら美術館	企画展「平面→立体→カラクリ展 —秋山泰計の世界—」のチラシおよびポスターに掲載するため	掲載
12	『高松藩主松平家墓所調査報告書』より、「3代頼豊墓(2)」「頼重墓(法然寺墓所、東より)」「頼常墓(靈芝寺(日内山)墓所、南より)」「般若台(南より、手前が歴代藩主墓道、奥に頼重墓・頼豊墓)」「十王堂」「二王門」「二尊堂裏石段」「初代頼重墓」「3代頼豊墓」「4代頼恒墓」「5代頼恭墓」「6代頼真墓」「7代頼起墓」「8代頼儀墓」「元祖上人塔」「般若門」「白犬」「本堯寺頼該墓覆い屋」「本堯寺頼該墓」「三仏堂」「靈芝寺墓所平面図」「頼恕墓」「頼常墓」、特別展図録『讃岐異界探訪』より「40.十王堂」「28.二河白道図(法然寺蔵)」「35.来迎堂」、高松城下図屏風、『仏生山来迎院法然寺』より「3Dレーザー計測で描いた頼重公(右)と頼豊公(左)の墓の俯瞰図」、「日鑑文政十二年文書」	高松市教育委員会	「高松藩主松平家墓所国指定史跡指定記念シンポジウム」のポスター・チラシ、パンフレット、市広報誌への掲載	掲載
13	四国辺路中萬覚日記(佐伯家文書)	個人	古文書同好会の教材として使用	掲載
14	藤六・姫夜叉女子息売券(賀茂神社文書)	仁尾のええとこ探偵団	仁尾町賀茂神社文書 藤六・姫夜叉女子息売券の絵本制作	掲載
15	衆鱗図(第3帖より、金魚・ランチュウ・(付札ナシ))(高松松平家歴史資料)	株式会社 ヨシダ	創立200周年パンフレットへの掲載	掲載
16	那珂郡吉野上村深田池諸林自分林仕別画図	株式会社 NHKエデュケーショナル	放送大学番組「開発経済学:アジアの農村から」に使用	放映
17	秋山泰計「緋鯉・白菜」「真鯉・豹」、展覧会「秋山たいけいのからくり」報告書より、「変形の過程画像」	高浜市やきものの里かわら美術館	企画展「平面→立体→カラクリ展 —秋山泰計の世界—」にかかる広報として各種媒体への掲載	掲載
18	歌川国芳「讃岐院眷属をして為朝をすくふ図」	田原市博物館	企画展「浮世絵展」における複製物の作成と展示	掲載
19	高松城下図屏風(全体、部分)(高松松平家歴史資料)	香川県広域水道企業団(高松市水道資料館)	高松市水道資料館での旧御殿水源地内を紹介する展示パネルへの掲載	掲載
20	赤楽茶碗 銘 木守(高松松平家歴史資料)	株式会社 淡交社	月刊茶道誌『淡交』2019年増刊号「つくろわれた名品」(淡交社編集局/編)に挿図として掲載	掲載
21	玉楮象谷「紅花緑葉饌盒」、「彩色蒔醬御料紙硯匣」(高松松平家歴史資料)	個人	香川歴史学会『香川史学』第46号に掲載	掲載
22	玉楮象谷「紅花緑葉饌盒」、「彩色蒔醬御料紙硯匣」(高松松平家歴史資料)、磯井如真「雙色紙笥喜鶴之図」(部分)	個人	美術史学会『美術史』第187号に掲載	掲載
23	鎌倉芳太郎「型絵染山水文上布長着」	株式会社 あすなる書房	『沖縄の美しい紅型』(仮)(著者:中川なをみ)に掲載	掲載
24	特別展図録『海に開かれた都市』より、高松湾「関係地名図」(p.74)	古高松郷土誌編纂委員会	『(新)古高松郷土誌』(仮)に掲載	掲載
25	総合案内『かがわ今昔』より、「狩りをする旧石器時代の人々(現在の坂出市付近から岡山県を望む)」(p.12)、「西谷藤兵衛像」(多聞院蔵、p.58)、「延命遺跡 青磁椀、青磁皿」(香川県埋蔵文化財センター蔵、p.53)、特別展図録『海に開かれた都市』より、「景観復元図(仁尾、15~16世紀)」(p.36)、住吉丸絵馬(瀬戸内海歴史民俗資料館)	三豊市詫間町民俗資料館・考古館	常設展示パネルに掲載	掲載
26	衆鱗図(第1帖、第2帖、第3帖)、衆芳画譜(葉木第三)(高松松平家歴史資料)	瀬戸内全誌準備委員会	『瀬戸内全誌中間報告書』への掲載	掲載
27	太刀 銘 真守造(高松松平家歴史資料)	春日大社	特別展「日本刀の源流安綱・古伯耆展」(仮称)展示図録に掲載	掲載
28	太刀 銘 真守造(高松松平家歴史資料)	春日大社	特別展「日本刀の源流安綱・古伯耆展」(仮称)にかかる広報として新聞、テレビ、雑誌等の広報媒体に掲載	掲載
29	秋山泰計「兎・マンドリル」、「西瓜から兎と亀」	高浜市やきものの里かわら美術館	企画展「平面→立体→カラクリ展 —秋山泰計の世界—」関連事業配布の記念品に使用	掲載

30	衆鱗図(第一帖のうち、鯛 牡、鯛 牝、インカ) (高松松平家歴史資料)	個人	報告書「Toward the Future: Museums and Art History in East Asia, Proceedings of the 2019 CIHA Colloquium in Tokyo」掲載論文の図版として使用	掲載
31	冷蔵庫	高松市小学校社会科研究会	高松市内小学校3年生向け社会科副読本に掲載	掲載
32	高松藩飛龍丸船細切絵図 惣図、高松城下図屏風(全体・部分)(高松松平家歴史資料)	愛媛県歴史文化博物館	特別展「瀬戸内ヒストリー—芸予と備讃を中心に—」における展示パネル及び図録掲載	掲載
33	『高松百年史 上巻』(口絵p.3)より、「大正2年高松商業跡が市役所となる」(瀬戸内海歴史民俗資料館蔵)	高松市小学校社会科研究会	高松市内小学校3年生向け社会科副読本に掲載	掲載
34	玉楮象谷「堆朱鼓箱」(高松松平家歴史資料)	香川県教育委員会	小学校道徳 香川県地域教材「新ふるさとの心 小学校高学年」に掲載	掲載
35	弘法大師像(善通寺御影)	セーラー広告株式会社	株式会社STNet顧客向け広報誌に掲載	掲載
36	猪熊弦一郎「太陽と月の住むところ」	香川県県民ホール(指定管理者 穴吹エンタープライズ株式会社)	令和元年度全国公立文化施設協会 中四国支部「業務管理研究会」での配布記念品に使用	掲載
37	松平頼聡肖像写真(個人蔵)	彦根城博物館	展示図録『雑と雑道具』に掲載	掲載
38	箱(松平頼胤書「五言絶句」「五字書 松竹三益友」「五字書 静眠松上鶴」、箱(徳川斉昭書「和歌懐紙」、伏見宮文秀女王書「和歌懐紙」、徳川慶恕書「七言律詩」、松平家伝来長持、松平家伝来 松枝舎文箱、赤染茶碗 銘木守、領知宛状案(以上、高松松平家歴史資料)	個人	論文「大名家文書の構造と伝来過程」への掲載	掲載
39	本木栄之進書状	公益財団法人平賀源内先生顕彰会	会報『文化サロン源内』vol.22への掲載	掲載
40	脇差 無銘 切刃貞宗(高松松平家歴史資料)	株式会社 天夢人	雑誌「週刊 日本刀」(デアゴスティーニ刊)23号掲載	掲載
41	本山寺五重塔 相輪模型、基壇模型	個人	「考古学講座」(香川県埋蔵文化財センター主催)で使用	掲載
42	藤原佐理筆詩懐紙(部分)	光村図書出版株式会社	書道関連テキスト「書の古典と理論」に掲載	掲載
43	脇差 無銘 切刃貞宗(高松松平家歴史資料)	株式会社ホビージャパン	雑誌『歴史探訪』vol.9に掲載	掲載
44	源平合戦図屏風(部分)	個人	論文「湊川合戦図屏風と源平合戦図屏風の共通性について」(仮)への掲載	掲載
45	束帯天神像(菅原道真像)、菅家文草 巻第三	NHK高松放送局	讃岐国府史跡指定関連ニュースで使用	放映
46	原在中・長谷川賀一筆「両界曼荼羅図」(全図・部分図)(総本山善通寺蔵)	総本山善通寺	複製品の製作	掲載
47	原在中・長谷川賀一筆「両界曼荼羅図」(全図・部分図)(総本山善通寺蔵)	総本山善通寺	書籍『原在中・長谷川賀一筆 両界曼荼羅図』(仮)に掲載	掲載
48	唐箕2点	個人	論文「文政拾貳年」墨書唐箕と五枚扇・六枚扇唐箕」に掲載	掲載
49	『瀬戸内海論』、日本八景名所図絵	瀬戸内全誌準備委員会	『瀬戸内全誌中間報告書』への掲載	掲載
50	イサム・ノグチ「ジョレ・レヴィの肖像」	個人	書籍『Julien Levy: The man; His Gallery; His Legacy』に掲載	掲載
51	谷文晁「香爐山金碧山水図」、長町竹石「五剣山図」、長町竹石「小蓑秋晚図」、谷文晁(画)柴野栗山(賛)「富士図」(以上、高松松平家歴史資料)、長町竹石「讃岐名勝図屏風」、長町竹石「富士図」	高松市歴史資料館	第78回企画展「墨景礼讃～山水に遊ぶ～」図録、チラシに掲載	掲載
52	太刀 銘 元重(高松松平家歴史資料)	公益財団法人日本美術刀剣保存協会	公益財団法人日本美術刀剣保存協会発行『刀剣美術』「名刀鑑賞」に掲載	掲載
53	脇差 無銘 切刃貞宗(高松松平家歴史資料)	株式会社ベストセラーズ	雑誌「歴史人」(2020年2月号)掲載	掲載
54	弘法大師像(善通寺御影)、和名類聚抄	NHK高松放送局	香川県内向け番組「さぬきドキッ!」での使用	放映
55	有舌尖頭器(丸亀市郡家一里屋遺跡出土)	個人	四国新聞連載記事「ディープKAGAWA」での利用	掲載
56	太刀 銘 真守造(両面)(高松松平家歴史資料)	株式会社 ホビージャパン	「歴史探訪」特別号「刀剣探訪(仮)Vol.1」に掲載	掲載
57	奉納経四国記(漆原家文書)、納経帳(森家文書)	個人	既存の執筆論文をまとめた学術研究書への掲載	掲載
58	高松城下図屏風(部分)、旧高松御城全図(部分)(以上、高松松平家歴史資料)	高松市教育委員会	高松城石垣修理工事見学会 現地説明資料に掲載	掲載
59	丸亀城下図	株式会社 碧水社	雑誌『週刊 日本の城』160号に掲載	掲載
60	脇差 無銘 切刃貞宗(高松松平家歴史資料)	株式会社 ホビージャパン	歴史探訪別冊シリーズ『明智光秀と戦国の名称たち』(仮)に掲載	掲載
61	絵葉書「披雲閣 蘇鉄の間」(高松松平家歴史資料・預託資料)	一般財団法人 住総研	清水組『住宅建築図集』の現存住宅調査研究委員会の調査研究報告書掲載	掲載
62	衆鱗図(第1帖、第3帖)(高松松平家歴史資料)	個人	「国友一貫齋科学技術研究会 研修会」での講演で使用	掲載
63	衆鱗図(第3帖)、衆禽画譜(水禽)	個人	「衆鱗図」および「衆禽画譜」の転写図の比較研究に使用	掲載

64	藤原佐理筆詩懷紙	株式会社 天来書院	『シリーズ書の古典30 離洛帖他 藤原佐理』に掲載	掲載
65	衆鱗図(第1帖)(高松松平家歴史資料)	香川県交流推進部県産品振興課	テレビ朝日の番組「食彩の王国」で使用	放映
66	満濃池御普請所絵図、満濃池絵図、讃岐琴平名所絵葉書、讃岐写真帖	まんのう町教育委員会	名勝満濃池パンフレットへの掲載	掲載
67	玉椿象谷「蒟醬料紙箱及び硯箱」、「堆朱鼓箱」(以上、高松松平家歴史資料)、玉椿象谷「存清鏡箱」(円通寺蔵)	高松市歴史民俗協会	会報(第30号)表紙への掲載	掲載
68	松平頼重公坐像、松平頼重公坐像(倚座)、皓月院坐像、法然寺三仏堂本尊、木造釈迦如来坐像、木造弥勒菩薩坐像、木造天弓愛染明王坐像、木造天弓愛染明王坐像台座、木造天弓愛染明王坐像面部、木造天弓愛染明王坐像耳部(以上、法然寺蔵)、木造不動明王立像、木造五大尊立像、木造軍荼利明王立像耳部(以上、根香寺蔵)陶製松平頼重公坐像(高松松平家歴史資料、松平公益会蔵)	高松市歴史民俗協会	講演録冊子への掲載	掲載
69	衆鱗図(第1帖、第2帖、第3帖)	株式会社 乃村工藝社	四国水族館の環境演出としてアートウォールに掲載	掲載
70	戦後の住宅(歴史展示室風景より)	株式会社 山川出版	文部科学省検定済教科書(高等学校歴史総合)に掲載	掲載
71	赤楽茶碗 銘 木守(高松松平家歴史資料)	四国新聞社広告局企画開発部制作課	四国新聞「第2回讃州玉藻茶会」特集で掲載	掲載
72	藤原佐理筆詩懷紙	光村図書出版株式会社	令和4年度版高等学校芸術科『書1』教科書、拡大教科書及び教授用資料に掲載	掲載
73	邨田丹陵筆 屋島合戦画帖(高松松平家歴史資料)	株式会社 パイインターナショナル	書籍『時代別 日本の配色事典』に掲載	掲載
74	玉椿象谷「狹貫彫堆黒翁香器」(高松松平家歴史資料)	個人	著作『カラヤンと中野武宮』に掲載	掲載
75	衆芳画譜(菓草第二のうち「甘草」)(高松松平家歴史資料)	学校法人名城大学	ウェブサイト連載企画「漢方随想録」第10回、菓草の「甘草」を紹介	掲載Web
76	高松城下図屏風(部分)(高松松平家歴史資料)	高松市教育委員会	広報パンフレット「むかしの高松」第32号に掲載	掲載
77	高松城下図屏風、松平頼重像(高松松平家歴史資料)	テレビ朝日映像株式会社ビジネス総局	テレビ番組をDVD化した冊子「日本の城DVDコレクション」付属DVDにおいて、番組内で使用した資料画像を再使用	その他
78	高松城下図屏風(高松松平家歴史資料)	高松市教育委員会	『高松市埋蔵文化財発掘調査報告書第209号 高松城跡(丸の内地区)』に掲載	掲載
79	イサム・ノグチ「あかり」	株式会社ネクサス	テレビ東京「開運!なんでも鑑定団」でイサム・ノグチの経歴をまとめたガイドVTRに使用	放映
80	藤原佐理筆詩懷紙	教育出版株式会社	令和4年版書道用教科書『書道Ⅰ』に掲載	掲載
81	小林萬吾「渡舟」	神戸市立小磯記念美術館	冊子『美術フォーラム21』所載の論考「図像の誕生と伝播における若干の事例考察—北斎からスプレーの落書きまで—」の挿図として掲載	掲載
82	特別展図録『海に開かれた都市』より、「景観復元図(野原、12世紀~13世紀前葉)」(p.48)、「中世前半の荷揚げの様子(復元図)」(p.49)	香川県埋蔵文化財センター	令和2年度四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展「四国の風土と暮らし~海と人々2 古墳時代から近世~」の展示パネル・パンフレットに掲載	掲載
83	香川日日新聞	東かがわ市歴史民俗資料館	特別展展示図録『帝国海軍の至宝 極端 久利雄』に掲載	掲載
84	讃岐国那珂郡満濃池近郷御料私領絵図(部分)	個人	「第37回歴史地震研究会(伊賀大会)」要旨集及びパワーポイント、冊子「歴史地震第35号Vol. 35(2020)」に掲載	掲載その他
85	衆鱗図(第1帖)(高松松平家歴史資料)	九州国立博物館	九州国立博物館開館15周年記念特別展「海幸山幸—祈りと恵みの風景—」図録および広報チラシに掲載	掲載
86	太刀 銘 元重(全体・切先・茎)(高松松平家歴史資料)	株式会社 美和企画	雑誌『週刊 日本刀(48号)』に掲載	掲載

分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

1 展示企画事業

(1) 館内展示

①常設展示

常設展示として第1展示室から第8展示室において、瀬戸内海の漁業や島々の暮らし、船大工用具、廻船などの瀬戸内海の家運、香川の自然環境に育まれた讃岐三白、ため池などの水利用具、稲作用具、そして祭りや芸能に関わる資料を展示し、瀬戸内の里海文化、香川の里山文化を紹介した。

また、第8展示室「祭りと芸能」のコーナーに季節展示として精霊流船・遍路資料などを、第2休憩室には釣り針や石錘資料などを展示替えしながら、館蔵資料の活用を図った。また昨年に引き続き、第1展示室の「漁撈用具」のコーナーに精巧に製作された瀬戸内の魚の剥製を展示し、漁撈道具の使用法などについてわかりやすい展示をめざした。

そのほか、当館職員や自然史研究者に依頼し、展示している民俗資料と水産や自然環境との関わりについて紹介した解説シートを8種作成し常置した。

各展示室のテーマ構成

第1展示室	第2展示室	第3展示室	第4展示室
【瀬戸内の里海文化】			
瀬戸内海の漁撈用具と船、島々の暮らし [国重有民]	瀬戸内海の船大工用具と木造船の製作現場 [国重有民]	瀬戸内海の家運と海の家信仰 [国重有民ほか]	宇高連絡船と機帆船 瀬戸内海国立公園
第5展示室	第6展示室	第7展示室	第8展示室
【香川の里山文化】			
讃岐三白と養蚕	ため池・水利炭焼きと里山	香川の農具(稲作用具)	香川の祭りと芸能

収蔵展示

収蔵展示として背負運搬具と木造船に関する資料を展示し、随時公開しており、令和元年度は教育団体等の来館や視察、ワークショップなどで公開した。

収蔵庫1	収蔵庫2
背負運搬具コレクション [国重有民]	さまざまな日本各地の船(船のルーツを考える)

②テーマ展示

第9・10展示室を利用し、館蔵資料の積極的な公開をめざし以下のテーマ展を実施した。

瀬戸内国際芸術祭にあわせて、当館草創期の専門職員が収集した漁撈用具や昭和50年前後の瀬戸内のような写真を撮影した写真などを通じて瀬戸内文化を紹介した。

また、文化財レスキュー事業の一環として、香川県高校理化・生地部会と協力して高校に保管されている理科教育史上貴重な実験器具や標本などの展示を行い、今後の保存活用などについて考えた。

その他、当館が継続的に研究してきた、瀬戸内の海難についての展示を行い、航海の安全をテーマに展示した。なお、後者の2展示は、外部機関から助成を受けた。

出張展示として、文化財レスキュー事業・瀬戸芸関連企画として豊島小・中学校に保管されていた昔の道具を紹介する「豊かな恵みを受けて一昔の道具からたどる豊島のくらし」展を、旧豊島中学校を会場に開催した。

	期 間	展示テーマ	展 示 内 容
1	H31. 3. 21 (木・祝) ~ 5. 26 (日)	情熱をもち瀬戸内文化を探り、考え記録した人—高橋克夫展—	当館草創期の専門職員高橋克夫が収集した資料(漁撈用具)や聞き取り調査での記録、各地域で撮影した写真などを展示し、昭和50年前後の瀬戸内文化を紹介した。
2	7. 27(土) ~ 8. 25(日)	懐かしの高校理科実験器具と標本—人体模型からプラスチックまで—	香川県高等学校理化・生地部会の協力のもと、所在確認調査を行った高校保管の理科実験器具や標本などを広く知っていただくことを目的とした展示。一部の機具に触れていただきながら、理科や自然科学への関心を高め、今後の保存活用について考えた。
3	9. 21 (土) ~ 11. 24 (日)	板子一枚下は地獄—瀬戸内海の家難—	自然の脅威にさらされ、危険が伴った江戸時代の海上交通について海難文書や神社に奉納された船絵馬など、航海の安全祈念に関する資料を展示し、当時の海上

			交通や海難に立ち向かい防止策を講じた人びとの様子を展示した。
巡回展示	6.8(土)～ 6.23(日)	[巡回展示/ 香川県みどり保全課] まちかど生き物標本展～生き物を見て・感じる～	香川県の豊かな自然とその保全について考えるきっかけづくりとして、身近に生息する「水辺」、「草原」、「森林」の生き物の標本展を香川県みどり保全課との共催で開催した。
出張展示	10.26(土) ～ 11.4(月・祝)	[出張展示/ 豊島/土庄町教育委員会共催] 豊かな恵みを受けて一昔の道具からたどる豊島のくらしー	文化財レスキュー事業、瀬戸芸関連企画として、かつて豊島の住民から小学校に寄贈され学校教育に使われていた島の昔の道具を展示し、道具を通して、豊かだった豊島の環境や生業などについて、島内外の方々に紹介した。



テーマ展「情熱をもち瀬戸内文化を探り、考え記録した人—高橋克夫展—」展示解説風景

(2) 企画広報

①ホームページほか広報活動

館独自のホームページを30回38頁更新し、アクセス数の増加を図った。令和元年度のホームページトップページへのアクセス数合計は13,473件で、前年度(12,171件)より増加した。

2 地域連携学習支援事業

(1) 学校教育支援活動

①学校との連携

令和元年度の学校団体利用は、大学・高校・高技学校6団体141人であった。日本建築学会賞を受賞した当館を会場に、ワークサポート香川による多度津高校建築科生徒への職業教育の機会を提供した。

また、豊島での出張展示中には、土庄町立豊島小中学校と連携し、「昔の道具からたどる豊島のくらし」の授業を実施するとともに、小中学校児童生徒への展示解説を行った。

その他、高松市立亀阜小学校の総合学習において、地元の石清尾八幡宮の祭礼についての特別授業を行った。

(2) 地域連携活動

①職員の講師派遣

令和元年度は各団体主催の11回の講演会・講座等に職員を派遣し、364人の聴講者があった。

	月日	講師名・演題	主催	聴講者数
1	4.23(火)	田井静明 祭礼百態-高松市域の祭礼風流の特徴-	高松市文化財保護協会	35人
2	5.17(金)	芳澤直起 自然災害記録の伝承	観音寺市文化財保護協会	33人
3	6.1(土)	織野智子 細川四天王香西氏上香西氏の諸相-香西文六を中心に-	勝賀城保存会	41人
4	6.20(木)	芳澤直起 瀬戸内海の大難	塩飽史談会	18人
5	9.16(月・祝)	田井静明 高原水車	高松市香南歴史民俗郷土館	20人
6	11.24(日)	田井静明 香川の祭礼 現状と課題	高松市文化財保護協会	15人
7	R2. 1.23(木)	川西 敦 香川の主な魚の利用	屋島コミュニティセンター	16人
8	R2. 1.25(土)	川西 敦 魚と民俗	県環境管理課(里海大学)	20人

9	R2. 2.9(日)	芳澤直起 自然災害記録の 伝承	綾川町立図 書館	37人
10	R2. 2.11(火・ 祝)	田井静明 香川・瀬戸内の 祭礼風流	観音寺市経 済部ちょう さ会館	64人
11	R2. 2.15(土)	田井静明 祭りと道具	獅子舞王国 讃岐実行委 員会	65人

②文化財レスキュー

i) 研究協議

文化財レスキュー事業の一環として、県立ミュージアム、生涯学習・文化財課、埋蔵文化財センターの担当職員が毎月1回程度集まり、地域の文化資源の保全・活用に関する情報・意見交換を行った。また、生涯学習・文化財課が中心となって策定している香川県文化財保存活用大綱について討論した。

ii) 豊島小中学校保管の昔の道具調査・展示

平成30年度に引き続き、土庄町教育委員会と共催で、土庄町立豊島小・中学校の倉庫に保管されている民俗生活用具を、瀬戸芸の開催に合わせて展示・公開した。また、豊島観光協会と豊島の歴史や文化の勉強会を行った。

iii) 香川県高等学校理化・生地部会との連携

文化財レスキュー事業の一環として、同部会と連携して、県内高等学校に保管されている理科実験器具や模型、標本などの展示を行い、今後の保存活用について考えた。

③ボランティア

県立ミュージアム文化ボランティアの分館グループとして活動しており、令和元年度の登録者数は37名。

令和元年度は、館蔵図書の整理や寄贈予定の資料整理、無形民俗資料の現地記録や動画編集を中心に活動した。また当館所蔵の漁網資料の再調査・整理などの確認調査などを行った。

i) 展示案内

- ・来館者に対して、第1展示室の展示案内を土・日・祝日に実施。3名のボランティアが年間で25回65組152名の来館者に説明を行った。

ii) 資料整理

歴史・民俗資料の整理

近代の漁業関係資料、館蔵図書整理、無形民俗資料の動画編集、漁網法量計測等の整理作業を行う。23名のボランティアがのべ179回活動。

iii) 館外調査

- ・県内における祭礼行事等の撮影を行った。2名のボ

ランティアがのべ18回活動。

- ・ボランティア研修を兼ねて小豆郡土庄町豊島を訪ねる企画を実施。8名が参加した。

iv) 館行事(イベント) 補助

- ・ワークショップ「瀬戸内の島を訪ねる」「れきみん建築・収蔵庫ツアー」の補助やれきみん講座の受付などを18名のボランティアがのべ16回行った。

v) 環境整備

- ・5名のボランティアが1回、館敷地内の雑木の伐採や草刈り、手入れなどを行った。

内容	活動者計	活動者数	活動回数とのべ人数
展示案内	37名	3名	25回・25人
資料整理		23名	179回・237人
館外調査		2名	18回・18人
館行事補助他		18名	16回・54人
環境整備		5名	1回・5人
		合計	236回・339人

(3) 普及活動

①れきみん講座

当館専門職員が、専門分野の調査・研究成果をわかりやすく紹介する「れきみん講座」を、分館研修室を会場として4回実施した。

	日時	テーマ	担当	聴講者数
1	5.12 (日) 13:30~ 15:00	情熱をもち瀬戸内文化を探り、考え記録した人、高橋克夫氏をおいにかけて	香川県立高松西高等学校教諭(旧職員)木内英博	32人
2	10.12 (土) 13:30~ 15:00	江戸時代異国漂流譚	芳澤直起	36人
3	11.16 (土) 13:30~ 15:00	瀬戸内の盆行事	田井静明	25人
4	R2.1.18 (土) 13:30~ 15:00	香川における魚の利用の歴史	川西 敦	31人



第4回講座「香川における魚の利用の歴史」実施風景



「れきみん建築・収蔵庫ツアー」実施風景

②ワークショップ

猫の島として海外からも来島する人気の島や、瀬戸内国際芸術祭の舞台となった島を紹介するワークショップを実施した。瀬戸内海の島々の歴史や民俗について、当館職員や島に育った方を講師に島を案内し、島文化の理解を深めた。また、日本建築学会賞などの各種建築賞を受賞している当館建築や普段公開していない収蔵庫を紹介するツアーを実施した。

	日時	テーマ	担当	参加人数
1	4. 22 (月)	瀬戸内の島を訪ねる① —佐柳島—	佐柳島住民 当館職員	29 人
2	10. 27 (日)	瀬戸内の島を訪ねる② —豊島—	豊島住民 当館職員	13 人
3	12. 21 (土)	れきみん建築・ 収蔵庫ツアー	鈴木清一氏 当館職員	21 人



「瀬戸内の島を訪ねる①—佐柳島—」実施風景

3 調査研究事業

(1) 調査研究活動

①歴史民俗総合調査・研究

平成30年度に引き続き2か年事業として、香川県及び瀬戸内地方の祭礼行事、民俗芸能等について、記録撮影、参与観察するとともに、関連する史資料や絵画資料、古文書資料などを集成し、県立ミュージアムにおいて、特別展を開催するべく調査研究を行った。成果の公開は、同特別展展示図録で行った。

②有形民俗資料の調査・研究

収蔵している民俗資料の再確認調査を実施し、一部を当館休憩コーナー等で展示公開した。また、収蔵している網漁具について、地元漁師やボランティアとともに再確認調査を実施するとともに、瀬戸内の現行の網漁の記録調査を行い、調査成果を県立ミュージアム調査研究報告に掲載した。

③無形民俗資料の調査・研究

「瀬戸内全誌調査」の一環として、島や沿岸部の現況調査や香川県内の行事調査などを実施した。

④展示に係る調査

テーマ展「懐かしの高校理科実験器具と標本—人体模型からフラスコまで—」、「板子一枚下は地獄—瀬戸内海の高難—」、「[出張展示/豊島/土庄町教育委員会共催] 豊かな恵みを受けて—昔の道具からたどる豊島の暮らし—」に関する調査を行った。

⑤レファレンス等による調査

i) レファレンス対応

令和元年度に対応したレファレンスは以下のとおり。

項目	件数
質問	61件
寄贈・寄託希望	13件
調査依頼	5件
資料情報	2件

その他	24件
合計	105件

ii) 資料の寄贈・寄託の申し出に伴う調査

令和元年度は、13件の寄贈申込みを受けて調査した。そのうち、丸亀市の農具、丸亀市の祭礼用具、坂出市のミカン関連用具、瀬戸内海域の海図資料、兵庫県明石市の櫓舵製作用具などの寄贈手続きを行った。

⑥教育普及に伴う調査

れきみん講座に関連した調査を行い、これらの調査成果を講座内容に反映させた。

⑦ボランティア館外調査

本年度はワークショップの下見を兼ねて豊島（土庄町）のフィールドワークを行った。また、平成29年度から始まった県内の祭り行事のビデオ・写真による記録撮影を本年度も行った。

⑧瀬戸内全誌にかかわる調査・研究

瀬戸内国際芸術祭事業の一環として、瀬戸内海の魅力を発信する『瀬戸内全誌』調査事業として、広島県の佐木島・小佐木島・百島・情島、山口県の八島・端島・黒島・野島、愛媛県の大島・小島などを訪れ、島のくらしや漁業、戦争遺産などについて調査した。

また、『瀬戸内全誌中間報告書』の刊行に向け、執筆者会議ならびに校正等の調整を行い、『中間報告書』を刊行に協力した。

⑨各種研修の受講

みなとの博物館ネットワークフォーラム研修会が香川県で開催され、当館で研修講座を実施するとともに、香川県立ミュージアム、海の科学館、金刀比羅宮の視察等があり、3名が参加した。

また、香川県庁のドローン講習会に職員1名が参加した。

(2) 成果物公表

①研究成果の公表

i) 論文・報告・紹介など（館外）

田井静明

- ・「八兵だんじり」四国新聞「祭礼百態」列品解説(上) R元. 8. 8
- ・「黒島神社の獅子頭」四国新聞「祭礼百態」列品解説(中) R元. 8. 15
- ・「成合神社の湯立神楽絵馬」四国新聞「祭礼百態」列品解説(下) R元. 8. 22
- ・「香川県の祭礼を賑わすもの」四国新聞ディープKAGAWA R元. 7. 19
- ・「「祭り」から「祭礼」へ」四国新聞ディープKAGAWA R元. 7. 26
- ・「「祭礼風流」の地方伝播」四国新聞ディープKAGAWA R元. 8. 2

- ・「香川県の奴振り」四国新聞ディープKAGAWA R元. 8. 9
- ・「小豆島の太鼓」四国新聞ディープKAGAWA R元. 8. 16
- ・「賀智孝獅子と岩黒小中学校の獅子舞」四国新聞ディープKAGAWA R元. 8. 23
- ・「脈々と受け継がれる「風流」の趣向」四国新聞ディープKAGAWA R元. 8. 30
- ・「高松城下の往時の祭礼を伝える「讃岐国香川郡野原庄石清尾八幡宮祭礼図巻」114 経済研究所『調査月報』No.389 R元. 8. 1
- ・「観音寺市域の祭礼資料—香川県立ミュージアム特別展『祭礼百態』展示資料から—」観音寺市文化財保護協会『文化財協会報』第14号 R2. 3. 1
- ・『文化史さかいでシリーズVI さかいでの民俗』(共著) R2. 2.
- ・『瀬戸内全誌中間報告書—「間」からみる瀬戸内—』(共著) R2. 3. 20
- ・「石を巡る信仰」せとうち備讃諸島日本遺産推進協議会『せとうち石の島 日本遺産ガイド養成用マニュアル』 R2. 3.
- ・「資料収集・保管活用の責務」國學院大學博物館学研究室『院友学芸員』No.13 R2. 3. 31
- ・「香川県の祭礼」四国民俗学会月例会口頭発表 R元. 8. 10
- ・県立ミュージアムシンポジウム「香川の太鼓台・獅子舞・奴」パネルディスカッション『「香川の太鼓台・獅子舞・奴」の特徴とは何か」コーディネーター R元. 8. 11
- ・県立ミュージアム学芸講座「香川・瀬戸内祭礼百態」 R元. 8. 18

真鍋篤行

- ・「第三回内国勸業博覧会に出品された網漁具図」(『坂出市史研究』第6号 R元. 6.
- ・「コラム 絵図から分かる明治期の網漁具図」(『坂出市史 通史 下 近代』R2. 1.
- ・「瀬戸内海のタイシバリ網漁の聞き取り調査の緊急性」(『人と海洋の共生をめざして 150人のオピニオンDX』笹川平和財団海洋政策研究所 R元. 9.
- ・「網漁具は魚を捕るだけの道具?—意味と知覚の媒体としての次元を探る—」四国民具研究会口頭発表 R元. 8.
- ・「網漁の大絵馬について」第44回日本民具学会大会口頭発表 R元. 11. 10
- ・「備讃瀬戸の鯛大網漁について～明治・大正時代の鯛大網図を中心に～」香川歴史学会談話会第1回 R2. 1.

- ・「愛媛県北灘のイワシカケビキ網漁と漁場」『民具集積』第21号 四国民具研究会 R元. 11.
- ii) 自治体や他機関からの委嘱など
 - 田井静明
 - ・坂出市史編さん委員
 - ・国立歴史民俗博物館基礎研究プロジェクト「地域における歴史文化研究拠点の構築」共同研究者
 - ・「多度津町本通等の伝統的町並み調査」調査員
 - 川西 敦
 - ・「かがわ里海の幸」ワーキンググループ委員
- iii) 当館刊行物及び香川県立ミュージアム刊行物
 - 田井静明
 - ・香川県立ミュージアム特別展図録『祭礼百態—香川・瀬戸内の風流—』（共著） R元. 8. 20
 - 木内英博
 - ・歴民テーマ展解説シート H31-1「情熱をもち瀬戸内文化を探り、考え記録した人—高橋克夫展—」
 - 芳澤直起
 - ・歴民テーマ展解説シート R1-2「懐かしの高校理科実験器具と標本—人体模型からプラスチックまで—」
 - ・歴民テーマ展解説シート R1-3「板子一枚下は地獄—瀬戸内海の手繰り網漁—」
 - ・歴民テーマ展解説シート R1-3-1「板子一枚下は地獄—瀬戸内海の手繰り網漁—」【小学生版】
 - 織野智子
 - ・歴民テーマ展解説シート R1-4「豊かな恵みを受けて —昔の道具からたどる豊島のくらし—」
 - 真鍋篤行
 - ・「瀬戸内海の手繰り網漁について」香川県立ミュージアム『ミュージアム調査研究報告』第11号 R2. 3. 31
 - ・「瀬戸内海歴史民俗資料館建築解説」 R2. 3. 24
 - 川西 敦
 - ・「第一展示室展示品解説 瀬戸内海の魚と漁業」 R2. 3. 24
- iv) 『香川県立ミュージアムNEWS』での調査研究・資料紹介等
 - 香川県高等学校理化部会・生地部会/瀬戸内海歴史民俗資料館
 - ・「懐かしの高校理科実験器具と標本—人体模型からプラスチックまで—」（歴民だより・NEWSvol. 45）
 - 田井静明
 - ・「祭礼百態—香川・瀬戸内の「風流」」（特集・NEWSvol. 45）
 - ・「令和元年度の展示活動報告—開館50年に向けて—」（歴民だより・NEWSvol. 48）
 - 芳澤直起
 - ・「津田村北山の勝之助、異国に漂流」（歴民だより・

NEWSvol. 46)

- ・「瀬戸内海歴史民俗資料館職員、子ども時代を大いに語る」（調査研究ノート・NEWSvol. 48）
- 真鍋篤行
 - ・「海の文化の情報発信—網の再整理・調査を通して—」（歴民だより・NEWSvol. 47）

②刊行物

i) テーマ展解説シート

令和元年度に開催したテーマ展「情熱をもち瀬戸内文化を探り、考え記録した人—高橋克夫展—」・「懐かしの高校理科実験器具と標本—人体模型からプラスチックまで—」・「板子一枚下は地獄—瀬戸内海の手繰り網漁—」・「板子一枚下は地獄—瀬戸内海の手繰り網漁—」【子ども版】・「[出張展示/豊島/土庄町教育委員会共催] 豊かな恵みを受けて」に関する内容を紹介した解説シートを印刷、刊行した。規格はA3判・2ツ折、モノクロ刷、各2,000部。

ii) その他解説シート

日本建築学会賞などを受賞した当館の建築について概要を説明した「瀬戸内海歴史民俗資料館建築解説」、第1展示室に展示する漁具と香川県の漁業(水産)について解説した「第一展示室展示品解説 瀬戸内海の魚と漁業」を印刷、刊行した。規格は前者がA3判・2ツ折、モノクロ刷、後者がA3判・2ツ折、カラー刷で、各3,000部。

4 資料の収集・整理・保管事業

(1) 資料収集活動 (令和2年3月末現在)

令和元年度収集数

部門	購入	寄贈	寄託	移管	計
民俗	0	85	0	4	89
歴史	0	0	0	0	0
資料	0	1	0	4	5
計	0	86	0	8	94

令和元年度末累計

部門	館蔵(購入・寄贈・移管)	寄託	計
民俗	26,591	0	26,591
歴史	84,662	12,573	97,235
考古	253	947	1,200
資料	76	0	76
計	111,582	13,520	125,102

①寄贈資料(掲載の順序は、原則採納手続き順による)

i) 民俗資料

宇高連絡船絵葉書	8点
丸亀市の生活用具	1点
坂出市の生活用具	1点
丸亀市の農具資料	1点
坂出市のミカン関連用具資料	14点
兵庫県明石市の櫓舵製作関係資料	3点
基準手動天秤(移管資料)	4点
丸亀市の祭礼用具	1点
瀬戸内海域の海図資料	51点
小豆郡土庄町大部の船具資料	5点

計 89点

ii) 資料

魚の剥製関係資料	1点
漁具模型(移管資料)	4点

計 5点

②文献資料の収集

- i) 報告書・図書等の寄贈点数 334点
- ii) 購入雑誌 『日本民俗学』、『民具研究』 5点
- iii) 購入受贈図書 瀬戸内関係図書(福岡県・大分県の市町史誌等) 23点

(2) 資料整理保管活動

①資料整理活動

簡易目録化を終えた高橋克夫資料について、寄贈手続きのための確認作業を実施している(継続中)。また、荘内半島地主資料の整理を継続している。

②収蔵資料管理システム

県立ミュージアムのデータベースシステムを、当館でも運用している。国重要有形民俗文化財約500点を入力した。

③重要有形民俗文化財の修理

重要有形民俗文化財「瀬戸内海及び周辺地域の漁撈用具」のうち、「釣り船」(大分・佐賀関)1隻の保存修理を、国宝重要文化財等保存整備事費補助金を活用して、平成30年度からの2か年事業で実施し、本年度完了した。

(3) 資料の特別利用

利用区分一覧 利用申請 計26件

利用区分	件数	点数	
貸出	3	154	
閲覧	6	109	
画像利用	出版	16	398
	放映(再放送を含む)	0	0
	掲出(パネル展示等)	1	1
	WEB等掲載	0	0
	DVD掲載	0	0
	撮影・複写・紙焼等	0	0
複製製作	1	14	
その他	0	0	

※一申請で複数の利用区分がある場合があるため、利用総数と区分別の総数は異なる。

①貸出利用

番号	資料名	利用者	目的	利用
1	東讃新報 1点	東かがわ市歴史民俗資料館	「帝国海軍の至宝 橋端久利雄」展にて展示	R元. 7. 11~10. 8
2	オオダマアバ 1点	国立歴史民俗博物館・大韓民国国立民俗博物館	昆布とミョクー潮香るくらしの日韓文比較文化誌-」展にて展示	R元. 7. 19~R2. 6. 17
3	デザイン家具 計152点	高松市歴史資料館	「心を豊かにするデザイナー-讃岐モダンへのあゆみ-」展にて展示	R元. 9. 14~11. 4

②閲覧利用

番号	資料名	点数	申込者	利用目的	区分
1	三宅家文書における武芸関係資料	27	個人	新当流に関する研究のため	閲覧
2	三宅家文書における漁場争論関係資料	49	個人	地域史研究のため	閲覧
3	阿野郡南陶村東福家資料	6	個人	阿野郡南陶村東福家家の調査研究のため	閲覧
4	漁撈関係資料	22	岡山理科大学生物地球学部	瀬戸内海の漁業の通史的な研究のため	閲覧
5	目下家文書における四国遍路関係資料等	4	個人	地域史研究のため	閲覧
6	テグス船	1	個人	テグス船の壁画を作成するため	閲覧

③画像利用

番号	資料名	点数	申込者	利用目的	区分
1	三宅家文書「天明元丑年十二月廿四日直嶋高田浦大火事済口一件讃岐国直嶋絵図 兵右衛門 天明元年」	1	三分一博志建築設計事務所	パネル印刷をし、瀬戸内国際芸術祭2019直島会場にて展示のため	掲出
2	大山家文書「回覧板（電力1ワットは血の一滴）」	1	坂出市史編さん所	『坂出市史 通史下』への掲載のため	出版
3	農具・漁撈・生活資料	35	坂出市史編さん所	『文化史さかいでシリーズVI『さかいでの民俗』に掲載のため	出版
4	三宅家文書「摂津播磨阿波土佐伊予讃岐島々御浦触請印帳写」	1	個人	歴史研究所への掲載のため	出版
5	『本四架橋に伴う島しょ部民俗文化財調査報告（第1次）』掲載写真	20	坂出市史編さん所	文化史さかいでシリーズVI『さかいでの民俗』に掲載のため	出版
6	草薙金四郎文庫「観光浦島」	1	香川県埋蔵文化財センター	香川県埋蔵文化財センター考古学講座に伴う資料提供のため	出版
7	安田憲司資料 護摩札	2	個人	研究誌への掲載のため	出版
8	農具資料（唐箕）	2	個人	研究誌への掲載のため	出版
9	安田憲司資料ほか 護摩札	87	個人	研究誌への掲載のため	出版
10	阿野郡北坂出村阿河家文書 「未之歳日記」・「嘉永二年正月」	2	坂出市史編さん所	『坂出市史 通史下』への掲載のため	出版
11	瀬戸内海歴史民俗資料館職員撮影写真	175	瀬戸内全誌準備委員会	紫雲山遺跡発掘調査報告書への掲載のため	出版
12	瀬戸内海歴史民俗資料館職員撮影写真	63	坂出市史編さん所	文化史さかいでシリーズVI『さかいでの民俗』に掲載のため	出版
13	「四国辺路道指南」	4	個人	研究誌への掲載のため	出版
14	網屋神棚・御祓大麻	2	個人	研究誌への掲載のため	出版
15	販女の道具の写真	1	個人	研究誌への掲載のため	出版
16	『東讃新報』	1	東かがわ市歴史民俗資料館	特別展図録への掲載のため	出版
17	有柄磨製石剣の写真	1	兵庫県立考古博物館	特別展図録への掲載のため	出版

分館 香川県文化会館

1 展示事業

会期	展示名・内容	入場者数
R2.2.8(土)～2.24(月)	香川県文化芸術新人賞展 主催：県立ミュージアム	832人

2 貸館事業

(1) 県民ギャラリー

場 所	内 容	件 数	日 数
全 展 示 室	美術展、書道展など	6件	40日
2階展示室	書道展、写真展、絵画展など	12件	84日
3階展示室	書道展など	1件	9日
合 計		19件	133日

(2) 芸能ホール

場 所	内 容	件 数	日 数
芸能ホール	邦楽演奏会、日本舞踊、寄席など	25件	31日
合 計		25件	31日

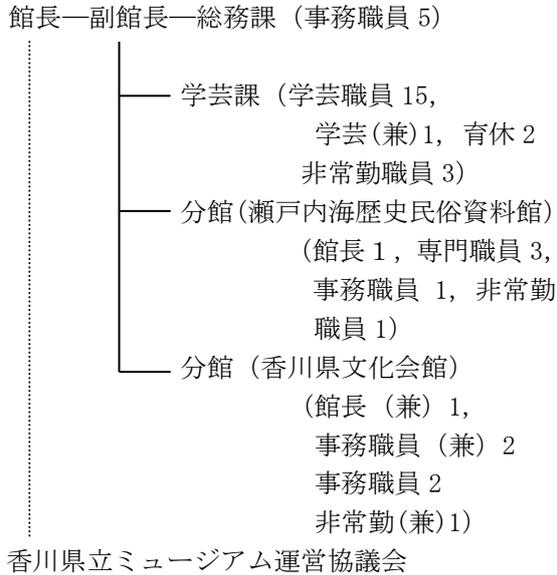
(3) 和室

場 所	内 容	件 数	日 数
和 室	茶会など	54件	57日
合 計		54件	57日

III 組織と運営

1 組織・職員

(1) 組織図 (令和2年3月31日現在)



(2) 職員名簿

館長	窪保彦
副館長	森格也
<総務課>	
総務課長	田邊敬子
主任	生西妙歌子
主任	河田敏寿
主任主事	谷卓憲
主事	鳥山真維
<学芸課>	
学芸課長	佐藤竜馬
主任専門学芸員	野村美紀[企画]
主任専門学芸員	渋谷啓一[収集管理]
主任専門学芸員	御厨義道[地域連携]
主任文化財専門員	信里芳紀[企画]
主任専門職員	櫻木拓 [地域連携]
主任専門職員	藤田順也[地域連携]
主任専門職員	谷川洋朗[収集管理]
専門学芸員	上野進[地域連携]
専門学芸員	高木敬子[地域連携] (育休)
専門職員	酒井将年[企画]
主任主事	岡本由貴子[企画] (育休)
主任学芸員	一柳友子[収集管理]

主任学芸員	鹿間里奈[地域連携]
学芸員	日置瑤子[収集管理]
学芸員	高嶋良子[企画]
学芸員	佐々木麻衣[企画]
嘱託	田口慶太
	[美術コーディネーター]
嘱託	芳地智子
嘱託	松村祥志
<分館(瀬戸内海歴史民俗資料館)>	
館長	田井静明
主任専門職員	芳澤直起
主任専門職員	織野智子
専門職員	真鍋篤行
主任	川西敦
臨時職員	楠憲明
<分館(香川県文化会館)>	
館長(兼)	古川京司
次長(兼)	高橋克寿
副主任(兼)	松井智子
主任	嶋則行
主任	小山文良
嘱託	上島美香

2 予算

予算は管理運営費と事業費からなる。
令和元年度当初予算 (単位：千円)

管理運営費	事業費	計
438,717 ※1、※2	104,104	542,821

※1 職員給与費を含む

※2 文化芸術振興基金事業を含む

3 香川県立ミュージアム運営協議会

県立ミュージアムの事業をはじめとする運営全般について意見を求める香川県立ミュージアム運営協議会の会議について次のとおり開催した。

- ・第1回運営協議会
日時：令和元年8月23日
会場：香川県立ミュージアム 会議室
議事：平成30年度事業評価について 他
- ・第2回運営協議会
日時：令和2年3月25日
会場：瀬戸内海歴史民俗資料館 研修室
報告事項：令和元年度の利用状況について 他

議 事：令和2年度の事業計画について 他

**香川県立ミュージアム運営協議会委員
(五十音順)**

氏 名	所 属 等
有賀 修	NHK高松放送局放送部長
生田真理子	おいでまい町家プロジェクト in 香川 TADOTU (代表) 多度津町まねきねこ課推進員
梅木眞由美	香川県小・中学校文化連盟事務局長
胡 光	愛媛大学法文学部教授
大西由子	香川県立ミュージアムパスポート会員
笠井伯昭	四国新聞社編集局生活文化部長
藏本秀彦	高松工芸高校教諭
後藤憲子	公益財団法人福武財団
中村光幸	香川県美術家協会副会長
守田逸人	香川大学教育学部准教授
横井鈴代	香川県PTA連絡協議会 母親代表委員会委員

香川県立ミュージアム運営協議会設置要綱

(設置)

第1条 香川県立ミュージアムの運営について意見を求めるため、香川県立ミュージアム運営協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(組織)

第2条 協議会は、15人以内の委員で組織する。

2 委員は、学識経験者、文化芸術団体、学校教育、家庭教育、利用者団体等の関係者から、館長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年とし、再任されることを妨げない。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長および副会長)

第3条 協議会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、それぞれ委員が互選する。

3 会長は、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 協議会の会議は、館長が招集し、会長がその議長となる。

(庶務)

第5条 協議会の庶務は、香川県立ミュージアムにおいて行う。

附 則

- 1 この要綱は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 協議会設置当初の委員の任期は、第2条第3項本文の規定にかかわらず、平成22年3月31日までとする。
- 3 香川県歴史博物館事業懇談会設置要綱(平成19年4月1日施行)は、廃止する。

4 利用状況

(単位：人)

令和元年度(令和2年3月31日現在)		
特別展	自然に挑む 江戸の ^{スーパー} 超グラフィック —高松松平家博物図譜	18,892
	香川県美術展覧会Ⅰ期	2,346
	香川県美術展覧会Ⅱ期	5,565
	祭礼百態—香川・瀬戸内の「 ^{ふりゅう} 風流」	5,108
	日本建築の自画像：探求者たちのもの語り	8,842
	第66回日本伝統工芸展	6,232
	計	46,985
常設展（歴史展示＋企画展示）		51,492
教育普及活動等利用者		7,669
貸館		5,937
本館 合計		112,083
分館瀬戸内海歴史民俗資料館		10,833
分館文化会館		
主催展	香川県文化芸術新人賞展	858
貸館		22,618
分館文化会館 合計		23,476
県立ミュージアム 総計		146,392

※「国際博物館の日」(5月18日)の記念行事として5月18日(土)は観覧料を無料として1,593人の入館があった。

IV 施設の概要

(平成31年4月1日現在)

本館

1 建築等の概要

● 建設の概要

敷地面積	5,016.77 m ²
建築面積	3,419.60 m ²
延床面積	19,656.99 m ²
塔屋1階	86.70 m ²
6階	811.57 m ²
5階	1,273.69 m ²
4階	1,782.11 m ²
3階	3,702.19 m ²
M2階	3,150.68 m ²
2階	980.84 m ²
1階	2,606.37 m ²
B1階	2,600.64 m ²
B2階	2,734.20 m ²
階数	地上7階、地下2階、塔屋1階
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造・鉄筋コンクリート造
高さ	GL+44.19m

● 設備の概要

空気調和設備

■空調設備 ・一般系統 ・収蔵庫系統 ・展示室系統	室の用途に応じて次のように対応 単一ダクト方式+FCU 単一ダクト方式 直接空調、間接空調併用 単一ダクト方式 展示ケースはケース周囲空調による間接空調
■自動制御設備	デジタル方式による空調設備温湿度制御及び省エネルギー制御。中央監視盤による各動力機器の自動・遠隔発停、状態監視、記録、温湿度の監視、記録、電力設備のデマンド制御、状態監視、記録を行う。
■燻蒸設備	固定設備

電気設備

■照明器具設備	
・展示室 (特別、企画) ・展示室 (歴史)	一般照明はミニハロゲンランプ、展示ケースは美術館、博物館用AAA蛍光灯 メタルハライドランプによる間接照明
■音声ガイド	ポータブル ROM プレーヤーによる音声ガイドシステム。1台で4ヶ国語の解説が聞ける設定。33項目の解説で、所要時間約47分
■監視 中央監視室・警備員室で次の監視を行う。	
・中央監視室	受電盤及び発電機の操作状況監視 照明副制御盤 自動火災報知機副受信盤 親時計
・警備員室	非常放送 監視カメラ 自動火災報知機副受信盤 防犯監視 照明主制御盤 身障者呼出し

■監視設備 (ITV)	
・展示室系統	展示室にカメラ16台
・駐車場系統	地下1、2階にカメラ16台
	それぞれ警備員室、管理事務室にモニター設置
■防犯設備 赤外線センサー、シャッター、ドアセンサー、カードリーダー、テンキー、電気錠	
■自動火災設備 (防排煙含む)	中央監視室にGR型複合受信盤
■講堂設備	
・おもな機器	ハイビジョン対応プロジェクター1式、音響機器架3架、映像送出架1架、固定式調整卓1式、移動調整ワゴン1式、マイクコンセント、インカム子機、オーバーヘッドカメラ、ワイヤレスアンテナ、メインスピーカー、ステージスピーカー、ハネカエリスピーカー
■研修室設備	
・おもな機器	ハイビジョン対応プロジェクター1式、音響・映像機器架1架、移動式調整卓1式、マイクコンセント、ワイヤレスアンテナ、メインスピーカー

給排水衛生設備

■中水設備	引込管、副受水槽を経由し、地中梁内利用受水槽 (200m ³ 2槽式) 高架水槽 (5m ³ 2槽式)
■雨水利用設備	屋上雨水管より雨水槽へ (50m ³)、ろ過装置経由後中水槽へ

消火設備

■イナージェンガス設備	展示室、収蔵庫、電気室、中央監視室、ビデオ編集室、薬品庫など20区画、ボンベ125本
■スプリンクラー消火設備	歴史展示室にブリアクションタイプ。地下階各居室ゾーンに設置
■屋内消火栓設備	イナージェンガス設備範囲外のすべての部分

昇降機設備

■エレベーター	
No.1、2号機	来館者用乗用エレベーター (地下2階～3階) 11人乗り 積載量750kg
No.3号機	乗用エレベーター (地下2階～6階) 17人乗り 積載量1,150kg
No.4号機	荷物用エレベーター (1階～5階) 積載量3000kg 開口4,000mm×奥行3,000mm
No.5号機	乗用エレベーター (地下2階～1階) 11人乗り 積載量750kg

設計・施工

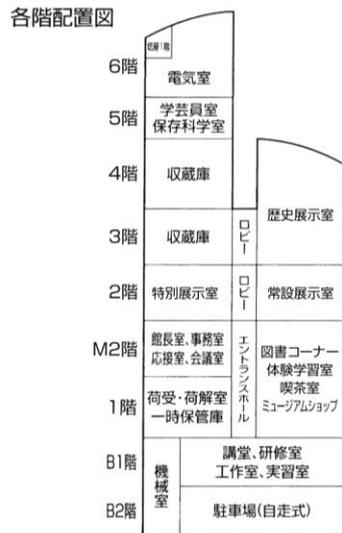
設計	建築設計 展示設計	(株)日建設計 (株)丹青社
施工	建築 電気 空調 給排水 昇降機 展示	清水・フジタ建設共同企業体 住友電設・久保電気建設企業体 大気社・新英工業建設共同企業体 大気社・新英工業建設共同企業体 (株)東芝 (株)丹青社

2 面積

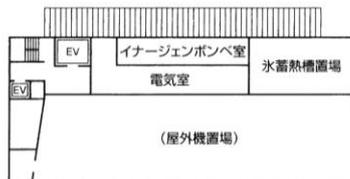
部門名	おもな諸室	階数	面積 (㎡)	
展示部門	歴史展示室	3	1,188.65	
	常設展示室-1	2	332.76	
	常設展示室-2	2	78.57	
	常設展示室-3	2	139.23	
	常設展示室-4	2	150.73	
	常設展示室-5	2	130.19	
	常設展示室ロビー	2	293.96	
	特別展示室	2	726.13	
	展示準備室	2	78.06	
	パネル庫	2	77.30	
	その他		92.11	
	小計		3,287.69	
学習支援部門	図書コーナー	1	274.58	
	体験学習室	1	113.33	
	準備室	1	18.53	
	準備室	1	58.68	
	講堂	B1	285.98	
	準備室	B1	84.72	
	研修室	B1	114.96	
	工作室	B1	64.84	
	実習室	B1	68.05	
	準備室1	B1	26.46	
	準備室2	B1	18.86	
	ボランティア室	B1	28.80	
	その他		4.33	
	小計		1,162.12	
調査・研究部門	学芸員室	5	260.04	
	整理作業室	5	36.17	
	整理分析室1	5	49.45	
	整理分析室2	5	122.47	
	保存科学室	5	143.73	
	薬品庫	5	20.60	
	資料鑑定室	5	35.42	
	書庫	5	164.36	
	資料閲覧室	5	12.77	
	情報処理室	5	21.56	
	資料保管庫	5	44.75	
	写真撮影室	4	81.32	
	暗室	4	17.14	
	ビデオ編集室	4	28.96	
	その他		286.50	
		小計		1,325.24
	収蔵部門	特別収蔵庫	3	200.12
		低湿収蔵庫	3	106.45
		高湿収蔵庫	3	106.39
歴史収蔵庫		3	586.37	
考古収蔵庫		3	411.62	
前室		3	156.19	
フィルム庫		4	193.87	
美術工芸収蔵庫		4	389.82	
民俗生活収蔵庫		4	593.82	
前室		4	88.48	
資材庫		1	33.46	
梱包資材庫		1	34.97	
修復室		1	30.11	
燻蒸庫		1	23.36	
一時保管庫		1	62.95	
荷受・荷解室		1	163.82	
トラックヤード		1	121.32	
その他			511.07	
		小計		3,814.19

部門名	おもな諸室	階数	面積 (㎡)	
管理部門	館長室	M2	56.25	
	応接室	M2	37.17	
	事務室	M2	110.31	
	印刷室	M2	13.44	
	書類庫	M2	30.42	
	展示案内員室	2	30.20	
	警備員室	1	22.86	
	救護室	1	17.32	
	授乳室	1	9.25	
	会議室	M2	110.34	
	休憩室	M2	34.28	
	更衣室	M2	54.09	
	器具庫	M2	15.13	
	物品庫	M2	17.55	
	清掃員控室	B1	32.95	
	中央監視室	B1	68.69	
	その他		384.04	
	小計		1,044.29	
機械関係	機械室	B2	215.13	
	熱源機械室	6	91.62	
	ポンプ室	B2	44.07	
	電気室	6	102.08	
	イナージェンボンベ室	6	83.09	
	排気ファン室	B2	27.12	
	氷蓄熱槽置場	6	138.79	
	その他		1,188.24	
		小計		1,890.14
	共用部分	エントランスホール (1階)	1	427.81
ロビー (2階)		2	388.68	
ロビー (3階)		3	433.73	
ゴミ庫		B1	40.77	
その他			2,616.55	
	小計		3,907.54	
喫茶・売店	喫茶室	1	113.84	
	ミュージアムショップ	1	42.11	
	その他		5.27	
	小計		161.22	
駐車場	駐車場	B2	1,961.04	
	業務用駐車場	B1	413.19	
	車路スロープ	B1・	137.66	
	その他	2	552.67	
	小計		3,064.56	
総計			19,656.99	

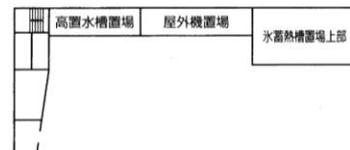
3 各階配置図・平面図



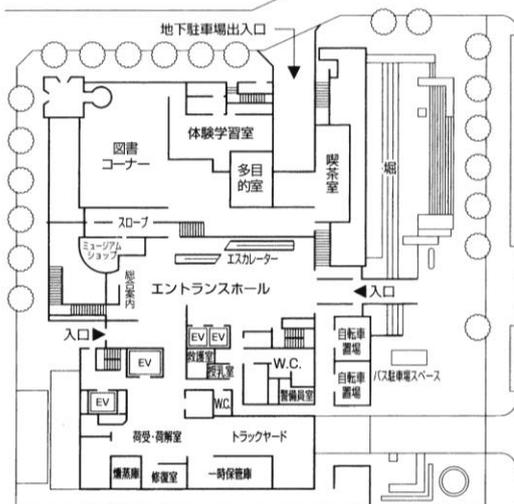
6階平面図



塔屋1階平面図



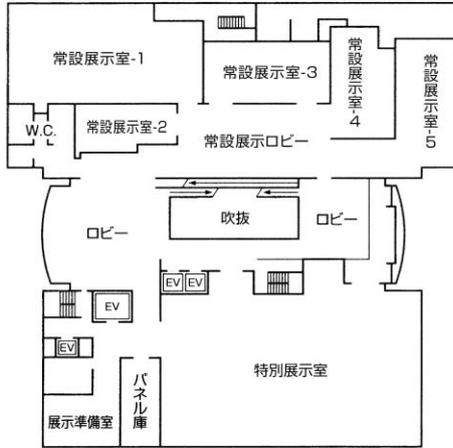
1階平面図



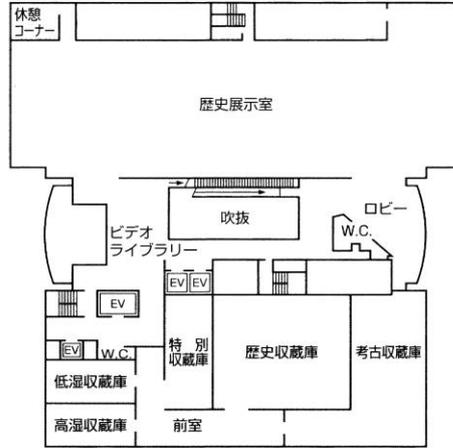
M2階平面図



2階平面図



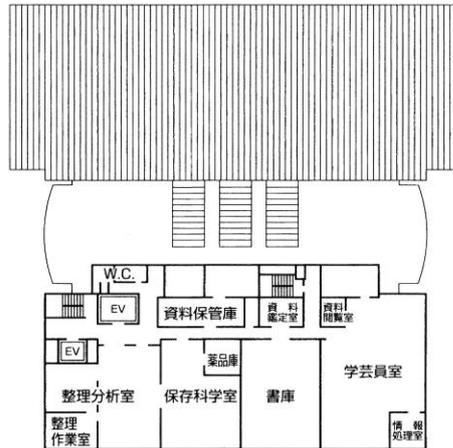
3階平面図



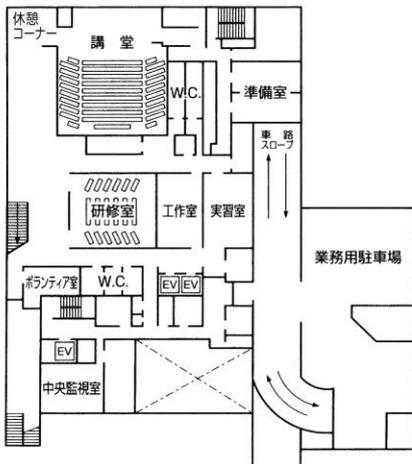
4階平面図



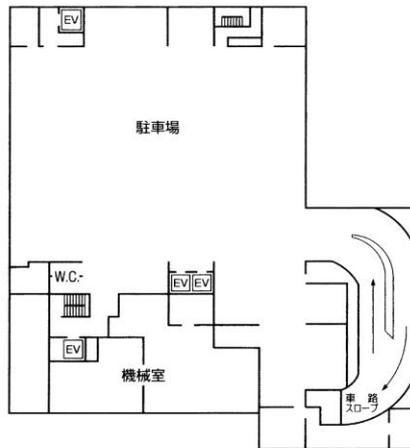
5階平面図



地下1階平面図



地下2階平面図



分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

1 建築概要

設計 建築：香川県建築課
 協働：山本坦設計事務所
 構造：木村俊彦構造設計事務所
 設備：香川県建築課

監修 文化庁建造物課
 監理 香川県建築課

施行 建築：(株)高岸工務店
 電気：近畿電気工事(株)高松営業所
 給水・衛生・空調：第一設備工業(株)
 四国出張所

石壁：和泉政敏
 造園：(株)桂組

鉄筋コンクリート造
 平屋建（一部中2階）

外部 コンクリート打放し及び石積み

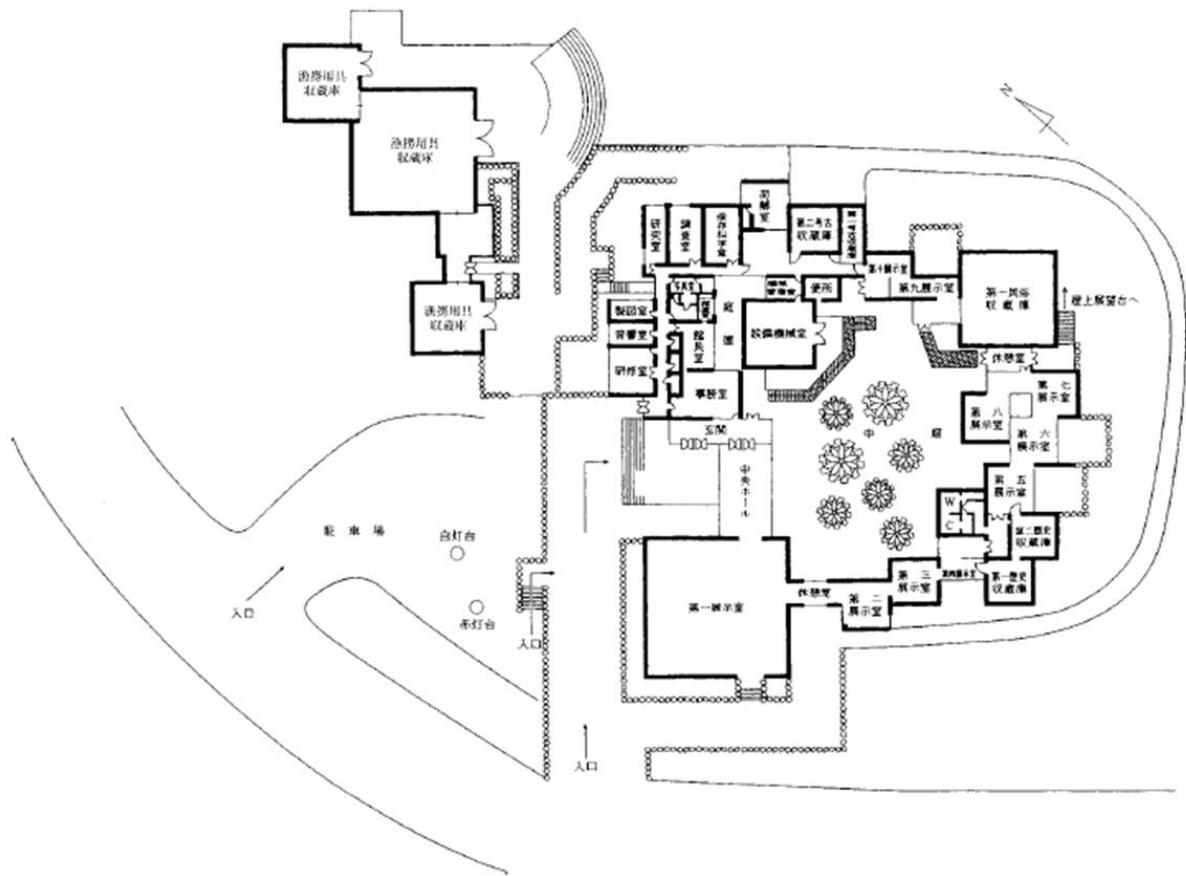
内部 床：れんがタイル及びビニタイル張り
 天井：プラスターボード張りボイルキン
 吹付け及びOPローラ引き

2 面積

室名	面積 (㎡)
玄関	68.00
事務室	88.00
館長室	48.00
倉庫	15.00
宿直室	40.00
写真室	24.00
研修室	64.00
音響室	32.00
製図室	32.00
研究室	44.00
調査室	60.00
保存科学室	60.00
荷解室	88.00
機械管理室	24.00
設備機械室	132.25
中央ホール	134.12
第一展示室	705.60
機械室	207.36
休憩室	32.00
第二展示室（歴史）	64.00
第三展示室（歴史）	64.00
第四展示室（歴史）	64.00
第一歴史収蔵庫	64.00
第二歴史収蔵庫	118.18
第五展示室（考古）	64.00
第六展示室（考古）	64.00
第七展示室（考古）	64.00
第八展示室（考古）	64.00
休憩室	32.00
第一民俗収蔵庫	256.00
第九展示室（特別展示室）	64.00
第十展示室（特別展示室）	64.00
第一考古収蔵庫	40.00
第二考古収蔵庫	117.60
地下収蔵庫（民俗）	94.00
地下収蔵庫（民俗）	120.00
漁撈用具収蔵庫	952.00
その他	173.00
計	4441.11

延床面積 4,441.11 ㎡
 （展示部門 1,281.60 ㎡ 収蔵部門 1,761.78 ㎡
 管理部門 1,397.73 ㎡）

3 平面图



分館 香川県文化会館

1 建築概要

構造規模 鉄筋コンクリート造、地下1階、
地上7階建て

建築面積：923.91 m²、延べ面積：4628.02 m²

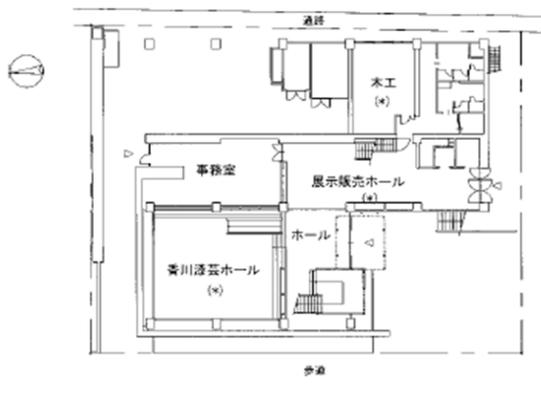
設置年月 昭和41年5月

2 面積

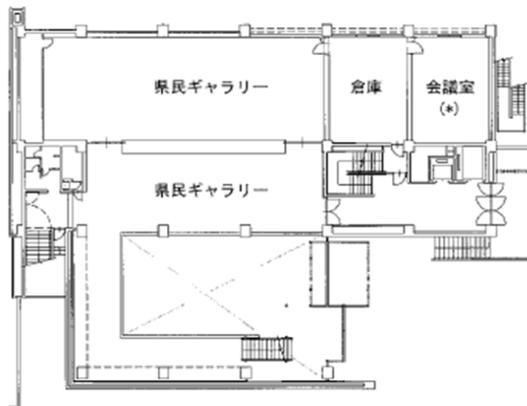
階	室名	床面積	階別面積
地階	機械室ほか	774.56	774.56
1階	香川漆芸ホール	152.10	844.16
	その他	692.06	
2階	県民ギャラリー	387.89	637.20
	その他	249.31	
3階	客席舞台	300.23	972.12
	県民ギャラリー	357.12	
	その他	314.77	
4階	和室	135.37	421.43
	その他	286.06	
5階	存清実習室ほか	301.78	301.78
6階	彫漆実習室ほか	301.78	301.78
7階	蒔醬実習室ほか	301.78	301.78
塔屋	その他	73.21	73.21
延べ面積			4,628.02

3 平面図

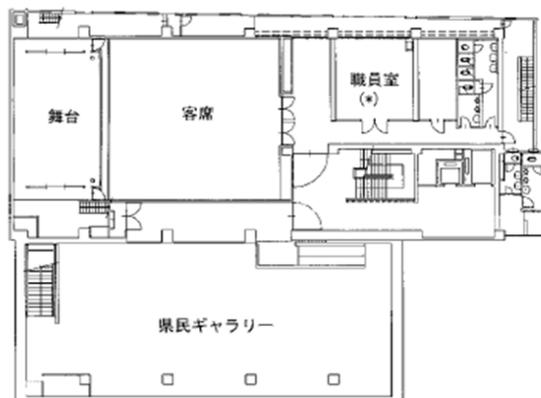
1階平面図



2階平面図



3階平面図



4階平面図



5階平面図(*)



6階平面図(*)



7階平面図(*)



図(*)は漆芸研究所

地階平面図



V 条例・規則等

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

香川県立ミュージアム条例

(平成 11 年 3 月 19 日条例第 6 号)

(設置)

第 1 条 歴史、芸術及び民俗に関する県民の理解を深めるとともに、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 2 条第 1 項に規定する博物館として、香川県立ミュージアム（以下「ミュージアム」という。）を高松市に設置する。

2 ミュージアムの分館として、瀬戸内海歴史民俗資料館及び香川県文化会館を置く。

(職員)

第 2 条 ミュージアムに、館長、学芸員その他の職員を置く。

(使用料の納入)

第 3 条 ミュージアムを利用する者は、香川県使用料、手数料条例（昭和 27 年香川県条例第 2 号）の定めるところにより、使用料を納入しなければならない。

(利用の許可)

第 4 条 ミュージアムを利用しようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

(委任)

第 5 条 この条例に定めるもののほか、ミュージアムの管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成 11 年 11 月 16 日から施行する。

(香川県使用料、手数料条例の一部改正)

2 香川県使用料、手数料条例の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則（平成 16 年 3 月 26 日条例第 28 号）

この条例は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 19 年 3 月 20 日条例第 39 号）

(施行期日)

1 この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

(香川県使用料、手数料条例の一部改正)

2 香川県使用料、手数料条例（昭和 27 年香川県条例第 2 号）の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則（平成 19 年 12 月 21 日条例第 72 号）

(施行期日)

1 この条例は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

(香川県使用料、手数料条例の一部改正)

2 香川県使用料、手数料条例（昭和 27 年香川県条例第 2 号）の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

(附属機関を構成する委員その他の構成員の報酬等に関する条例の一部改正)

3 附属機関を構成する委員その他の構成員の報酬等に関する条例（昭和 32 年香川県条例第 43 号）の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

(議会の議決に付すべき公の施設の長期かつ独占的な利用の許可に関する条例の一部改正)

4 議会の議決に付すべき公の施設の長期かつ独占的な利用の許可に関する条例（昭和 39 年香川県条例第 28 号）の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

香川県立ミュージアム規則

(平成 11 年 4 月 23 日教育委員会規則第 16 号)

(趣旨)

第 1 条 この規則は、香川県立ミュージアム条例（平成 11 年香川県条例第 6 号。以下「条例」という。）第 4 条及び第 5 条の規定に基づき、香川県立ミュージアム（以下「ミュージアム」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(業務)

第 2 条 ミュージアムは、次の業務を行う。

(1) 歴史、芸術及び民俗に関する資料（以下「資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。

(2) 資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行うこと。

(3) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。

(4) 歴史、芸術及び民俗についての講演会、講習会等を開催すること。

(5) 前各号に掲げるもののほか、ミュージアムの目的を達成するために必要なこと。

(開館時間)

第3条 ミュージアム(瀬戸内海歴史民俗資料館(以下「資料館」という。))及び香川県文化会館(以下「文化会館」という。)を除く。次条第1項において同じ。)の開館時間は、次に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定める時間とする。

(1) 駐車場以外の施設 午前9時から午後5時まで

(2) 駐車場 午前9時から午後10時まで

2 資料館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

3 文化会館の開館時間は、次に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定める時間とする。

(1) 県民ギャラリー 午前9時から午後5時まで

(2) 芸能ホール及び和室 午前9時から午後10時まで

4 教育委員会は、特別展示室又は県民ギャラリーで展覧会を開催する場合その他必要があると認める場合は、前3項の規定にかかわらず、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第4条 ミュージアムの休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日)

(2) 12月29日から翌年1月3日までの日

2 資料館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(その日が休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日)

(2) 12月29日から翌年1月3日までの日

3 文化会館の休館日は、12月29日から翌年1月3

日までの日とする。

4 教育委員会は、特別展示室で展覧会を開催する場合その他必要があると認める場合は、前3項の規定にかかわらず、休館日を変更し、又は休館日を設けることができる。

(利用の許可を要する施設)

第5条 ミュージアムのうち条例第4条の許可を受けなければならない施設は、特別展示室(常設展示室、ロビー又はエントランスホールのうち特別展示室と併せて展示の用に供される部分を含む。)講堂及び研修室並びに芸能ホール、県民ギャラリー及び和室(以下「特別展示室等」という。)とする。

(利用の許可)

第6条 特別展示室等に係る条例第4条前段の規定による利用の許可(以下「利用許可」という。)を受けようとする者は、香川県立ミュージアム利用許可申請書(第1号様式)又は香川県立ミュージアム香川県文化会館利用許可申請書(第1号様式の2)(以下「利用許可申請書」という。)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の利用許可申請書は、利用しようとする日(2日以上継続して利用しようとする場合は、その初日)の1年前から7日前までに提出しなければならない。ただし、教育委員会が特に必要があると認める場合は、この限りでない。

3 教育委員会は、利用許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可をしないことができる。

(1) ミュージアムの秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。

(2) ミュージアムの施設又は設備を損傷するおそれがあると認められるとき。

(3) ミュージアムの利用により暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団を利するおそれがあると認められるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、ミュージアムの管理上支障があると認められるとき。

4 利用許可には、ミュージアムの管理上必要な範囲

内で条件を付することができる。

(利用の許可の変更)

第7条 利用許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、条例第4条後段の規定による変更の許可(以下「変更許可」という。)を受けようとするときは、香川県立ミュージアム利用許可変更申請書(第2号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前条第3項及び第4項の規定は、変更許可について準用する。

(利用の中止の届出)

第8条 利用者は、施設の利用を中止しようとするときは、香川県立ミュージアム利用中止届(第3号様式)により、教育委員会に届け出なければならない。

(資料画像等の利用の許可)

第9条 ミュージアム(文化会館を除く。)の保管に係る資料画像等の利用をしようとする者は、資料画像等利用許可申請書(第4号様式)を教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

2 第6条第3項及び第4項の規定は、前項の許可について準用する。この場合において、同条第3項第3号中「ミュージアムの利用」とあるのは、「ミュージアムの利用又は資料画像等の利用」と読み替えるものとする。

第10条から第12条まで 削除

(利用の許可の取消し等)

第13条 教育委員会は、利用者又は第9条第1項の許可を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可若しくは変更許可若しくは同項の許可を取り消し、又はミュージアムの利用若しくは資料画像等の利用の停止を命ずることができる。

(1) この規則の規定に違反し、又は教育委員会の指示に従わなかったとき。

(2) 偽りその他不正の手段により利用許可若しくは変更許可又は第9条第1項の許可を受けたとき。

(3) 第6条第3項各号(第9条第2項において準用する場合を含む。)のいずれかに該当することとなったとき。

(4) 第6条第4項(第7条第2項及び第9条第2項において準用する場合を含む。)の規定により付された

許可の条件に違反したとき。

(5) 納期限までに使用料を納付しないとき。

(入館の拒否等)

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、ミュージアムへの入館を拒否し、又はミュージアムからの退館を命ずることができる。

(1) 他人に迷惑を及ぼした者

(2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑となるおそれのある物品を携帯する者

(3) 前2号に掲げるもののほか、ミュージアムの管理上支障があると認められる者

(損害賠償の責任)

第15条 利用者又は第9条第1項の許可を受けた者は、その責めに帰すべき理由により利用許可若しくは変更許可若しくは同項の許可を取り消され、又はミュージアムの利用若しくは資料画像等の利用を停止されたために損害を被る場合においても、その損害の賠償を請求することができない。

2 ミュージアムの施設、設備、器具、展示品等を損傷させ、又は滅失させた者は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。

3 ミュージアムに保管を委託された資料が、災害その他の不可抗力によって損傷し、又は滅失した場合は、損害賠償の責任を負わない。

(補則)

第16条 この規則に定めるもののほか、ミュージアムの管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成11年11月16日から施行する。

附 則(平成12年3月31日教育委員会規則第23号)

1 この規則は、平成12年4月1日から施行する。

2 改正前の第1号様式による用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則(平成13年3月27日教育委員会規則第11号)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成13年5月8日教育委員会規則第16号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成13年7月24日教育委員会規則第18号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成 14 年 3 月 29 日教育委員会規則第 21 号)

この規則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 15 年 3 月 31 日教育委員会規則第 7 号抄)
(施行期日)

1 この規則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

(香川県歴史博物館規則の一部改正に伴う経過措置)

3 この規則の施行の際現に交付されている第 3 条の規定による改正前の香川県歴史博物館規則第 11 条第 1 項第 1 号又は第 2 号に規定する証票は、それぞれ第 3 条の規定による改正後の同規則第 11 条第 1 項第 1 号又は第 2 号に規定する証票とみなす。

4 この規則の施行の際現に香川県歴史博物館の駐車場を第 3 条の規定による改正前の香川県歴史博物館規則別表第 5 号の表に規定する 5,590 円券により利用している者の当該利用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成 16 年 3 月 29 日教育委員会規則第 4 号抄)

1 この規則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 18 年 3 月 31 日教育委員会規則第 4 号)
この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 18 年 7 月 28 日教育委員会規則第 28 号)
この規則は、平成 18 年 8 月 1 日から施行する。ただし、別表第 5 号の表の改正規定中「7,800 円券」を「6,000 円券」に、「6,500 円」を「5,000 円」に、「13,000 円券」を「1 万円券」に、「10,500 円」を「8,000 円」に改める部分は、同年 9 月 1 日から施行する。

附 則(平成 18 年 9 月 29 日教育委員会規則第 29 号)

1 この規則は、平成 18 年 10 月 1 日から施行する。

2 障害者自立支援法(平成 17 年法律第 123 号)附則第 41 条第 1 項の規定によりなお従前の例により運営されている身体障害者更生援護施設、同法附則第 58 条第 1 項の規定によりなお従前の例により運営されている知的障害者援護施設又は同法附則第 48 条の規定によりなお従前の例により運営されている精神障害者社会復帰施設の在籍者で、当該施設の職員が引率の上入室するものについては、第 3 条の規定による改正後の香川県立ミュージアム規則第 11 条第 1 項の規定にかかわらず、同法附則第 1 条第 3 号に掲げる規定の施行の日の前日までの間は、なお従前の例により観覧料

を免除する。

附 則(平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 5 号抄)
(施行期日)

1 この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

3 第 3 条の規定による改正前の香川県歴史博物館規則第 1 号様式から第 4 号様式までによる用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則(平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 6 号)
この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 20 年 3 月 25 日教育委員会規則第 5 号)
(施行期日)

1 この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日の前日までに香川県歴史博物館の利用の申請を行った者の当該利用の許可に係る使用料の額については、なお従前の例による。

3 改正前の第 1 号様式から第 4 号様式までによる用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則(平成 20 年 3 月 25 日教育委員会規則第 6 号)
この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 20 年 10 月 31 日教育委員会規則第 19 号)

この規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 5 条及び第 6 条の改正規定並びに第 1 号様式の次に 1 様式を加える改正規定は、公布の日から施行する。

附 則(平成 20 年 11 月 21 日教育委員会規則第 20 号抄)

(施行期日)

1 この規則は、平成 20 年 12 月 1 日から施行する。

附 則(平成 21 年 2 月 10 日教育委員会規則第 2 号)
この規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 22 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号)

1 この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

2 この規則の施行の日の前日までに香川県立ミュージアムの利用の申請を行った者の当該利用の許可に係る使用料の額については、なお従前の例による。

附 則(平成 23 年 3 月 31 日教育委員会規則第 9 号)

この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
 附 則(平成 23 年 3 月 31 日教育委員会規則第 11 号)
 この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
 附 則 (平成 24 年 3 月 30 日教育委員会規則第 8 号)
 この規則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
 附 則 (平成 25 年 3 月 29 日教育委員会規則第 10 号)

この規則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
 附 則(平成 27 年 3 月 27 日教育委員会規則第 2 号)
 1 この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
 2 改正前の第 1 号様式による用紙は、当分の間、修正して使用することができる。

教育委員会の権限に属する事務の委任

(平成 19 年 4 月 6 日教育委員会告示第 7 号)

地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 180 条の 7 の規定により、平成 19 年 4 月 1 日から次の表の左欄に掲げる者に当該右欄に掲げる香川県教育委員会の権限に属する事務を委任した。

左 欄	右 欄
政策部 文化芸 術局長	1 香川県立ミュージアムの管理運営に関する事務(重要なものに限る。)
香川県 立ミュー ジウム館長	1 香川県立ミュージアム条例(平成 11 年香川県条例第 6 号)第 4 条に規定する利用の許可及び利用の許可の変更に関する事 こと。 2 香川県立ミュージアム規則(平成 11 年香川県教育委員会規則第 16 号。以下「ミュージアム規則」という。)第 3 条第 4 項に規定する開館時間の変更 3 ミュージアム規則第 4 条第 4 項に規定する休館

日の変更及び設定
4 ミュージアム規則第 8 条に規定する利用の中止の届出の受理
5 ミュージアム規則第 9 条に規定する資料画像等の利用の許可に関する事 こと。
6 ミュージアム規則第 13 条に規定する利用許可若しくは変更許可若しくは資料画像等の利用の許可の取消し又は香川県立ミュージアムの利用若しくは資料画像等の利用の停止の命令に関する事 こと。
7 ミュージアム規則第 14 条に規定する入館の拒否及び退館の命令に関する事 こと。
8 地方自治法第 238 条の 4 第 7 項に規定する行政財産の使用の許可に関する事 こと。
9 ミュージアム規則に定めるもののほか、香川県立ミュージアムの管理運営に必要な事項を定める事 こと(政策部文化芸術局長の項に定めるものを除く。)

前 文(抄)(平成 20 年 3 月 28 日教育委員会告示第 1 号)

平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

前 文(抄)(平成 23 年 3 月 31 日教育委員会告示第 4 号)

平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

前 文(抄)(平成 25 年 3 月 29 日教育委員会告示第

2号)

平成25年4月1日から施行する。

前文(抄)(平成27年3月31日教育委員会告示第1号)

平成27年4月1日から施行する。

香川県立ミュージアムの管理運営のための組織規則

(平成19年3月30日規則第29号)

(趣旨)

第1条 この規則は、香川県立ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)の管理運営を行うための組織について定めるものとする。

(組織)

第2条 ミュージアムに、総務課、学芸課、瀬戸内海歴史民俗資料館(以下「資料館」という。)及び香川県文化会館(以下「文化会館」という。)を置く。

(分掌事項)

第3条 総務課は、次の事務を処理する。

- (1) 職員の人事、給与及び服務に関すること。
- (2) 予算、決算及び会計に関すること。
- (3) 施設及び設備の利用及び管理に関すること。
- (4) 公印の管理に関すること。
- (5) 文書の收受、発送及び保存に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、学芸課、資料館及び文化会館の所掌に属しない事項に関すること。

2 学芸課は、次の事務を処理する。

- (1) 歴史、芸術及び民俗に関する資料(以下「資料」という。)の収集及び保管に関すること。
- (2) 資料の展示に関すること。
- (3) 資料の利用についての説明、助言、指導等に関すること。
- (4) 資料の専門的又は技術的な調査研究に関すること。
- (5) 歴史、芸術及び民俗についての講演会、講習会等の開催に関すること。

3 資料館は、次の事務を処理する。

- (1) 瀬戸内地方の資料の収集及び保管に関すること。
- (2) 瀬戸内地方の資料の展示に関すること。

(3) 瀬戸内地方の資料の利用についての説明、助言、指導等に関すること。

(4) 瀬戸内地方の資料の専門的又は技術的な調査研究に関すること。

(5) 瀬戸内地方の歴史及び民俗についての講演会、講習会等の開催に関すること。

(6) 前各号に掲げるもののほか、館長が資料館に処理させることが適当と認めた事務に関すること。

4 文化会館は、次の事務を処理する。

- (1) 文化会館の施設、附属設備、器具等の利用及び管理に関すること。
- (2) 公印の管理に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、館長が文化会館に処理させることが適当と認めた事務に関すること。

(職員)

第4条 ミュージアムに、次の職員を置く。

- (1) 館長
- (2) 副館長
- (3) 課長
- (4) 瀬戸内海歴史民俗資料館長
- (5) 香川県文化会館長
- (6) 香川県文化会館次長
- (7) 副主幹
- (8) 主任専門職員
- (9) 主任専門学芸員
- (10) 主任文化財専門員
- (11) 主任
- (12) 専門職員
- (13) 専門学芸員
- (14) 文化財専門員
- (15) 主任学芸員
- (16) 学芸員
- (17) その他の職員

(職務)

第5条 館長は、上司の命を受けて、ミュージアムの業務を掌理し、所属の職員を指揮監督する。

2 副館長は、館長を補佐する。

3 課長は、上司の命を受けて、課の事務を処理する。

4 瀬戸内海歴史民俗資料館長は、上司の命を受けて、

資料館の事務を処理する。

5 香川県文化会館長は、上司の命を受けて、文化会館の事務を処理する。

6 香川県文化会館次長は、香川県文化会館長を補佐する。

7 副主幹及び主任は、上司の命を受けて、事務を処理する。

8 主任専門職員、主任専門学芸員、主任文化財専門員、専門職員、専門学芸員、文化財専門員、主任学芸員及び学芸員は、上司の命を受けて、ミュージアムの専門的事務を処理する。

9 その他の職員は、上司の命を受けて、事務に従事する。

(補則)

第6条 この規則に定めるもののほか、ミュージアムの組織に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年3月28日規則第25号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年3月27日規則第28号)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

香川県立ミュージアム使用料規則

(平成25年3月29日規則第16号)

(趣旨)

第1条 この規則は、香川県立ミュージアム条例(平成11年香川県条例第6号)第1条第1項の香川県立ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)の使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

(使用料)

第2条 香川県使用料、手数料条例(昭和27年香川県条例第2号)別表第1第1表使用料の部2公の施設の使用料香川県立ミュージアムの項に規定する規則で定める額並びに特別展示室を分割して利用する場合の使用料、利用時間を分割して利用する場合の使用料、午後5時後の時間において利用する場合の使用料並びに冷暖房使用料及び電気特別使用料並びに駐車場を回数券により利用する場合の使用料、同表使用

料の部2公の施設の使用料香川県立ミュージアム瀬戸内海歴史民俗資料館の項に規定する規則で定める額並びに同表使用料の部2公の施設の使用料香川県立ミュージアム香川県文化会館の項に規定する規則で定める額並びに芸能ホールを準備又は練習のために利用する場合の使用料、県民ギャラリー又は和室を分割して利用する場合の使用料、芸能ホール又は和室を利用時間を分割して利用する場合の使用料、午後9時後(県民ギャラリーにあっては、午後5時後)の時間において利用する場合の使用料並びに冷暖房使用料及び電気特別使用料は、別表第1のとおりとする。

2 香川県使用料、手数料条例別表第1第1表使用料の部2公の施設の使用料香川県立ミュージアムの項に規定する歴史展示室、常設展示室及び特別展示室を香川県立ミュージアム年間観覧券(以下「年間観覧券」という。)により観覧する場合の観覧料並びに同表使用料の部2公の施設の使用料香川県立ミュージアム香川県文化会館の項に規定する県民ギャラリーを年間観覧券により観覧する場合の観覧料は、別表第2のとおりとする。

(使用料の還付)

第3条 次の各号のいずれかに該当するときは、当該各号に定める額の使用料を還付する。

(1) 天災地変その他香川県立ミュージアム規則(平成11年香川県教育委員会規則第16号。以下「ミュージアム規則」という。)第7条第1項に規定する利用者(以下「利用者」という。)の責めに帰することができない理由により利用できなくなったとき。 全額

(2) ミュージアム規則第7条第1項に規定する変更許可により過納額が生じたとき。 当該過納額

(3) ミュージアム規則第5条に規定する特別展示室等を利用する日(2日以上継続して利用する場合は、その初日)の1月前までにミュージアム規則第8条の規定による届出があったとき。 半額

(観覧料の免除)

第4条 第1号から第7号までのいずれかに該当する者については歴史展示室、常設展示室及び特別展示室並びに県民ギャラリーの観覧料を、第8号に該当する者については歴史展示室及び常設展示室の観覧料を、

第9号に該当する者については特別展示室又は県民ギャラリーを観覧する日に限り歴史展示室及び常設展示室の観覧料を、第10号に該当する者については知事が定める観覧料を免除する。

(1) 65歳以上の者

(2) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により交付を受けた身体障害者手帳に身体上の障害がある者として記載されている者

(3) 都道府県知事又は地方自治法(昭和22年法律第67号)第252条の19第1項に規定する指定都市の市長が交付した療育手帳に本人として記載されている者

(4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により交付を受けた精神障害者保健福祉手帳に精神障害の状態にある者として記載されている者

(5) 保護施設、児童福祉施設及び老人福祉施設の在籍者で、当該施設の職員が引率の上入室するもの

(6) 学校等における教育活動として、学齢に達しない者、児童、中学校生徒、高等学校生徒及びこれらに準ずる者を引率の上入室する者

(7) 国際博物館の日(5月18日(その日がミュージアム規則第4条に規定するミュージアムの休館日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休館日でない日))に入室する者

(8) 法人等会員証(県が法人等(法人その他の団体及び事業を行う個人をいう。以下同じ。))に対し交付するミュージアムの利用に係る証票をいう。以下同じ。)の交付を受けている法人等の関係者であって当該法人等会員証を利用する権利を有する者

(9) 特別展示室又は県民ギャラリーを観覧する者

(10) 前各号に掲げる者のほか、知事が特に必要があると認めたる者

2 前項第1号に掲げる者は、入室の際、同号に該当することを証明するに足りる書類を提示しなければならない。

3 第1項第2号に掲げる者は、入室の際、身体障害者手帳を提示しなければならない。

4 第1項第3号に掲げる者は、入室の際、療育手帳を提示しなければならない。

5 第1項第4号に掲げる者は、入室の際、精神障害者保健福祉手帳を提示しなければならない。

6 第1項第5号に掲げる者は、入室の際、当該施設に在籍していることを証明するに足りる書類を提示しなければならない。

7 第1項第6号に掲げる者は、あらかじめ、観覧料免除申請書(別記様式)を知事に提出し、その許可を受けなければならない。

8 第1項第8号に掲げる者は、入室の際、法人等会員証を提示しなければならない。

9 第1項第9号に掲げる者は、入室の際、特別展示室観覧券又は県民ギャラリー観覧券を提示しなければならない。

(観覧料の減額)

第5条 次の各号のいずれかに該当する者については、歴史展示室、常設展示室及び特別展示室並びに県民ギャラリーの観覧料を、団体で利用する場合における歴史展示室、常設展示室及び特別展示室並びに県民ギャラリーの観覧料に相当する額に減額する。

(1) かがわウェルカムカード(公益社団法人香川県観光協会が外国人に対し交付する証票で、当該外国人が県内の観光に関する施設等を利用する際に提示することにより当該利用に係る料金の割引等を受けることができるものをいう。以下同じ。)の交付を受けている者

(2) 文化観光施設入場割引券(公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローが県内で開催される大会等の参加者に対し交付する証票で、当該参加者が県内の観光に関する施設等を利用する際に提出することにより当該利用に係る料金の割引を受けることができるものをいう。以下同じ。)の交付を受けている者

(3) 前2号に掲げる者のほか、知事が特に必要があると認めたる者

2 前項第1号に掲げる者は、入室の際、かがわウェルカムカードを提示しなければならない。

3 第1項第2号に掲げる者は、入室の際、文化観光施設入場割引券を提出しなければならない。

4 次の各号のいずれかに該当する者については、特別展示室及び県民ギャラリーの観覧料を、その2分の

1に相当する額に減額する。この場合において、10円未満の端数は切り捨てるものとする。

(1) 年間観覧券の交付を受けている者（以下「パスポート会員」という。）（年間観覧券により観覧する場合を除く。）

(2) パスポート会員に同行して観覧する者（観覧1回につき1人に限る。）

5 前項第1号に掲げる者は、入室の際、年間観覧券を提示しなければならない。

6 学齢に達しない者、児童、中学校生徒、高等学校生徒及びこれらに準ずる者並びに前条第1項第1号から第4号までのいずれかに該当する者については、第2条第2項に規定する観覧料を、その3分の1に相当する額に減額する。この場合において、10円未満の端数は、切り捨てるものとする。

（資料画像等使用料の免除）

第6条 次の各号のいずれかに該当する者については、資料画像等使用料を免除する。

(1) 歴史、芸術及び民俗に関する教育、学術上の調査研究又は啓発を目的として資料画像等の利用をする者

(2) ミュージアムの広報に資する用途に供することを目的として資料画像等の利用をする者

(3) 前2号に掲げる者のほか、知事が特に必要があると認めた者

（補則）

第7条 この規則に定めるもののほか、ミュージアムの使用料に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成26年3月31日規則第30号）

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成27年3月27日規則第14号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月31日規則第22号）

この規則は平成28年4月1日から施行する。

付 則（平成29年3月14日規則第9号）

この規則は平成29年4月1日から施行する。

付 則（平成31年3月19日規則第7号）

この規則は平成31年10月1日から施行する。

（別表省略）

香川県立ミュージアムの歴史、 美術及び民俗に関する資料収集要綱

（趣旨）

第1条 この要綱は、香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗に関する資料（以下「資料」という。）の収集に関し、必要な事項を定める。

（収集する資料）

第2条 収集は、歴史、美術及び民俗に関する実物のほか、標本、複写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード、電磁的記録その他の資料について行い、以下の収集方針に沿って行う。

(1) 歴史資料

香川県の歴史の解明に役立つ資料および資料群

展示公開、調査研究、教育普及活動において活用できる資料および資料群

(2) 美術資料

香川県ゆかりの作家で美術史上特筆される活躍をした作家の代表的作品および資料

香川の工芸史を展観する上で必要な作家の作品および資料

近代以降わが国及び世界の美術分野で活躍した作家の作品および資料

展示公開、調査研究、教育普及活動において活用できる作品および資料

(3) 民俗資料

香川県および瀬戸内地方の文化的価値の解明に役立つ有形・無形の資料および資料群

展示公開、調査研究、教育普及活動において活用できる資料および資料群

（資料収集の方法）

第3条 資料の収集は、次の各号に掲げる方法により行う。

(1) 購入

(2) 寄贈

(3) 寄託

(4) 発掘・採集

(5) 製作

(資料の調査研究・鑑定評価・意見聴取)

第4条 館長は、資料を収集しようとするときは、あらかじめ当該資料について調査研究及び鑑定評価を行うものとする。

2 購入価格が1件100万円を超える資料を購入しようとするときは、館長が別に定めるところにより意見聴取を行うものとする。

(申込書の提出)

第5条 館長は、寄贈又は寄託の申込みがあった資料を収集しようとするときは、速やかに当該資料の所有者に対し、寄贈申込書(様式1)又は寄託申込書(様式2)の提出を求めるものとする。ただし、寄贈申込書又は寄託申込書により難いときは、その都度別に定めるところによるものとする。

(寄託契約)

第6条 寄託資料は、歴史、美術及び民俗に関する資料寄託契約書(様式3)に目録を添付し、受託するものとする。

(寄託期間)

第7条 寄託契約の期間は、原則として2年とし、期間満了の2ヶ月前までにいずれか一方から文書による別段の意思表示がないときは、自動的に契約期間を更新したものとする。ただし、契約期間中において、特別な事情が生じたときは、寄託者と協議のうえ寄託資料を返還するものとする。

(受領書の交付)

第8条 寄贈資料又は寄託資料を受領した場合は、速やかに受領書(様式4)を寄贈申込者又は寄託申込者に交付する。

(感謝状の贈呈)

第9条 資料の寄贈申込者に対しては、資料の寄贈に伴う感謝状贈呈基準(別記)に基づいて感謝状の贈呈を行うものとする。ただし、特別な事情がある場合は、その都度別に定めるものとする。

(補則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、資料の収集に関し必要な事項は、館長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 香川県歴史博物館の歴史、民俗資料収集に関する要綱(次項において「旧要綱」という。)は、廃止する。
- 3 この要綱の施行日前に旧要綱の規定に基づいてなされた寄附申込、寄託契約その他の手続であって、この要綱に相当の規定があるものは、この要綱の規定に基づいてなされた手続とみなす。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年11月1日から施行する。

香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗に関する資料利用要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、「財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例」(昭和39年3月31日条例第29号)第7条に基づき、香川県立ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)が管理する歴史、美術及び民俗に関する資料(以下「資料」という。)の利用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 資料とは、ミュージアムにおいて特別な管理がされている実物資料(以下「一次資料」という。)のほか、一次資料に関する写真原板、画像データ、複製品、調査資料等(以下「二次資料」という。)をいう。

2 資料の利用とは、資料の館外貸出し、資料の閲覧をいう。

(資料貸出しの手続)

第3条 資料の館外貸出しを希望する者は、資料貸出申込書(様式第1号)に必要事項を記載し、貸出しを受けようとする期間の初日の30日前までに館長に提出して、承諾を受けなければならない。

2 資料の貸出しを承諾する場合は、館長が資料貸出承諾書(様式第2号)を交付する。

3 資料の貸出しの承諾を受けた者(以下「借受者」と

いう。)は、当該資料の引渡しに際し、資料預りを示す書面を館長に提出しなければならない。本書面は資料返却後に借受者へ返却する。

(資料貸出しの承諾と条件)

第4条 資料の館外貸出しを受けることができる者は、次のとおりとする。

(1) 国立の博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定する博物館に相当する施設

(2) その他館長が適当と認めた者

2 資料の貸出し承諾は、次にかかげる場合に承諾することができる。

(1) 歴史、美術及び民俗に関する普及、啓発及び学術研究に資する。

(2) 資料が良好な状態で管理・利用される。

(3) 貸出し期間が原則として60日以内で、そのうち展示期間が30日以内である。ただし、資料の材質・状態によってはこの限りではない。

(4) 資料の内、歴史資料や古美術資料等、館長が指定する資料については、原則としてケース内展示とする。

(5) 資料が寄託されたものであるときは、所有者の同意が得られている。

3 借受者は、資料の貸出しに際し次にかかげる事項を遵守しなければならない。

(1) 資料貸出承諾書に記載した目的以外に資料を使用しないこと。

(2) 資料の取り扱い、輸送及び保管については、係員の指示に従うこと。

(3) 資料の貸出し、返却及び貸出し期間中の保管等に要する経費をすべて借受者が負担すること。

(4) その他必要に応じた条件に従うこと。

4 借受者に、前項に違反する行為があるとき、若しくは違反するおそれがあるとき、又は特別の理由が生じたときは、館長は貸出しの承諾を取り消すことができる。この場合において、ミュージアムは、この際生じた借受者の損害について、その責を負わないものとする。

(資料閲覧等の手続)

第5条 資料の閲覧等を希望する者は、資料閲覧申込書(様式第3号)に、閲覧目的その他必要事項を記載し、原則として資料を閲覧しようとする期日の初日の14日前までに館長に提出して、承諾を受けなければならない。

2 閲覧の利用を承諾する場合は、館長が資料閲覧承諾書(様式第4号)を交付する。

(資料閲覧等の承諾と条件)

第6条 資料の閲覧等は、次にかかげる場合に承諾することができる。

(1) 歴史、美術及び民俗に関する普及、啓発及び学術研究に資すると認められる。

(2) 人権やプライバシー等を侵害するおそれがないと認められる。

(3) 資料の保存に悪影響を及ぼさないと認められる。

(4) ミュージアムの事業運営に支障をきたさないと認められる。

(5) 資料が寄託されたものであるときは、所有者の同意が得られている。

2 資料の閲覧等の承諾を受けた者(以下「閲覧者」という。)は、次にかかげる事項を遵守しなければならない。

(1) 資料は、資料閲覧承諾書に記載した目的以外に使用しないこと。

(2) 資料の閲覧等は、館長の指定した日時、場所で行うこと。

(3) 資料の取扱いは、係員の指示に従うこと。

(4) 資料の閲覧等に要する経費は、すべて閲覧者の負担とすること。

(5) その他必要に応じた条件に従うこと。

3 閲覧者に、前項に違反する行為があるとき、又は違反するおそれがあるときは、館長はその承諾を取り消すことができる。この場合において、ミュージアムは、この際生じた閲覧者の損害について、その責を負わないものとする。

(損害賠償)

第7条 資料を損傷させ、又は滅失させた者は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は館長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この要綱の施行日前に旧要綱に基づいてなされた貸出申込、貸出承諾その他の手続であつて、この要綱に相当の規定があるものは、この要綱の規定に基づいてなされた手続とみなす。

附 則

- 1 この要綱は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この要綱の施行日前に旧要綱に基づいてなされた貸出申込、貸出承諾その他の手続であつて、この要綱に相当の規定があるものは、この要綱の規定に基づいてなされた手続とみなす。

利用案内（平成31年4月1日現在）

◆本館

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
特別展開催時は夜間開館（午後8時まで開館、入館は午後7時30分まで）を行う場合があります。

休館日 ・毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、原則として翌火曜日）
・年末年始（12月24日～1月1日）

観覧料 ただし、ゴールデンウィークの期間は無休
常設展（歴史展示室・常設展示室）

一般個人	410円
一般団体（20人以上）	330円
高校生以下	無料

- ・特別展は展覧会により異なります。
- ・特別展観覧券で常設展もご覧いただけます。（一部の特別展を除く）
- ・次の方は観覧料が免除されます。当館受付にて証明するものをご提示ください。
 - *高校生以下の方
 - *65歳以上の方
 - *身体障害者手帳等をお持ちの方
 - *学校教育活動の一環として児童生徒と入室する引率者
 - *このほかにも無料もしくは免除になる場合があります。

交通案内 J R 高松駅から東へ900m
ことடன்高松築港駅から東へ800m
ことடன்片原町駅から北へ500m

- ・岡山・愛媛・高知方面から
高松自動車道高松西 I C より車で約30分
- ・徳島方面から
高松自動車道高松中央 I C より車で約25分
- ・高松空港から
J R 高松駅までリムジンバスで35分

駐車場 地下駐車場（普通乗用車50台）

- ・使用料：25分あたり100円
- ・使用時間：午前9時～午後10時

別に、大型バス3台駐車可能（事前申込が必要です。）
近くに香川県玉藻町駐車場（有料）があります。



〒760-0030 高松市玉藻町5番5号
TEL. 087-822-0002 (代)
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum>

◆分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

- 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
 休館日 ・毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、原則として翌火曜日）
 ・年末年始（12月29日～1月3日）
 観覧料 無料
 交通案内 五色台北端部に立地
 ・R高松駅、坂出駅から車で25分程度
 ・坂出ICから車で30分程度
 （いずれも県道大越線の大崎の鼻経由）
 駐車場 普通車30台、大型バス可（無料）



〒761-8001 高松市亀水町 1412-2
 TEL. 087-881-4707
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/setorekishi/>

◆分館 香川県文化会館

- 利用時間 県民ギャラリー 午前9時～午後5時（金曜日は午後7時30分まで）
 芸能ホール・和室 午前9時～午後10時
 休館日 年末年始（12月29日～1月3日）
 交通案内 JR高松駅から南へ1.5km
 ことでん瓦町駅から西へ1.2km
 駐車場 香川県番町地下駐車場（有料）
 高松市立中央駐車場（有料）



〒760-0017 高松市番町1-10-39
 TEL. 087-831-1806
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/>

香川県立ミュージアム年報 第12号（令和元年度）

発行日 令和2年7月15日

編集発行 香川県立ミュージアム

香川県高松市玉藻町5番5号

TEL (087) 822-0002 (代) FAX (087) 822-0043

URL <https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/>